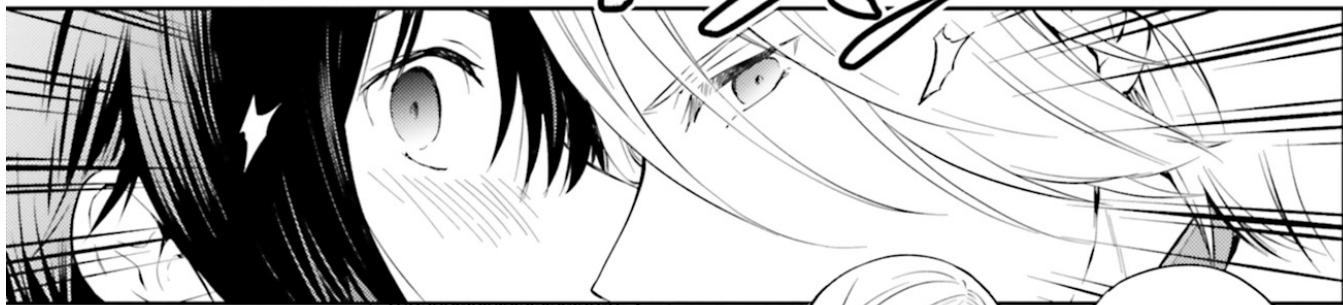
私は
ご都合主義な
解決担当の
王女である
1
米田和佐
Yoneda Kazusa
原作／まめちょろ
Mamecyoro
キャラクター原案／藤 未都也
Fuji Mitsuya

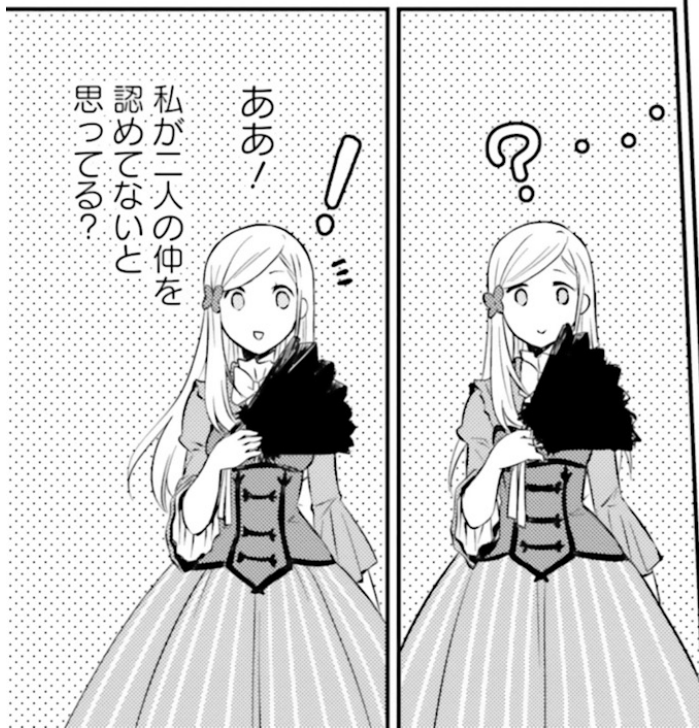
ああ これが他人事なら
ちゅっ
はっ
ちゅ
第1話
…そう
せめてここが王城という名の私の家でなく
お忍びで出た城下町でみかけたラブシーンとかなら
今の私でも萌えられるのに
悲しいかなここはお城の廊下であり
ちゅっ
ちゅっ
なにより
なにより

身内と恋人のラブシーンなんて見たくないってのー!!
んっん
ちゅ
くちゅ

第1話

contents

人影がないからおかしいとは思ったけど
はーー
兵や侍女たちは気を遣ったのね
パシッ
兄上…シル様と仲がよろしいのは結構ですが
こんなとこでイチャイチャしてんなー!!
場所は考えていただかなくては
オクタヴィア…
オクタヴィア様!

…悪かった
クッソイケメンだな！
さすが登場人物人気投票第一位のセリウス！
いえ…第一王子として自覚を持っていただければ…
そ…
ぺしっ
オクタヴィア様…

はいはい
ラブラブ
ですね――
…お
オクタヴィア様は
どうすれば
おれを認めて
くださいますか？
？
！
ああ！
私が二人の仲を
認めてないと
思ってる？

認めるも
何も
だって
この国…
この世界は――
シル様は兄上の
愛する方…
それで充分では
ありませんか
男同士の
恋愛と結婚が
認められている
どうあっても
あなたと兄は
結ばれる運命
――だから
そんな悲しそうな
顔しないで
シル様――
今はこんな
態度だけど
前世じゃ大ファン
だったの――!!
ごめんね――!!

そう…私には前世の記憶がある
前世の私は男同士の恋愛ものが大好物のいわゆる腐女子だった
セリウス様×シル様尊いー♡
当時の愛読書が
『高潔の王』
高潔の王
異世界を舞台にした大人気BL小説
出生の秘密を持った男爵家の少年シルとエスフィア国第一王子のセリウスが運命的に出会い
恋に落ち数々の困難に立ち向かっていく物語
──未完

というのも
完結する前に
私が死んだから
田澤麻紀(たざわまき)
享年十八歳
死因は―
クソ忌々しい
記憶と直結してるから
どーでもいい！
とにかく
死んで
色々あって
運よく生まれ
変わった
超好きだった
小説『高潔(こうけつ)の王(おう)』
の世界に
セリウス王子の
妹ちゃん…
オクタヴィアとして！

ーーけど
いやもう
がっかり！

なにせ ここはBLの世界

がっつりと関わるキャラに…しかも妹に生まれたら地獄

次の騎士も
格好良かった
その次もその次も…
みんな男作って
いなくなる

バカな私は
五回目で
やっと学習
護衛の騎士に
恋をしては
いけない!!

それだけじゃ
ないけどね
王城内や貴族間は
右見ても左見ても
男男カップル…
さすがBLの世界

良縁を探しに
王城勤めを
希望したのに…
地方へ
行った方が
正解だったわね

はぁ―――…

更に最悪なことに
『高潔の王』の
主人公シルと
結ばれるセリウスは
私の兄であり
この国の第一王子
つまり次期国王

子どもは…お世継ぎはどーするの!?
この世界 男が子どもを産む手段はないんですよ?
俺はシル一筋だ!
そうだよ! 女に浮気なんてダメ!!
でもそれだと王家の血が途絶えるわけで
そんな世界の不都合合を解決するご都合キャラが元々の小説でのオクタヴィア
お任せください お兄様!
いずれ産まれるわたくしの子をお兄様とシル様の子としてお育てくださいな!
ああーなんていい子! これで王家は安心! シル様安心! 読者も安心!
ほっ

私だって王女に
生まれたのだから
嫌でも義務を
果たす覚悟は
一応あるよ？

?

政略結婚

でも

そばで堂々と
自由に恋愛している
姿を見てると
思っちゃうわけです

イラ
イラ

次期国王の兄も
義務を果たせよ！

ってできるかー!!
今や「私」が
オクタヴィア!!

そんなわけで
前世でファンでも
今はいい感情
持てないんです

ごめんねシル様

お前はどうあっても
俺たちを
祝福しないと？

そんなこと
ないですよ？

兄がちゃんと
子作りさえ
してくれれば

…いっそここで
聞いてしまおうか？

シル様に会うことも
なかなかないしね

お世継ぎはどのようになさるおつもりで？

他に妃を娶れと言うのか!?

どちらでも…子に関してのことですわ

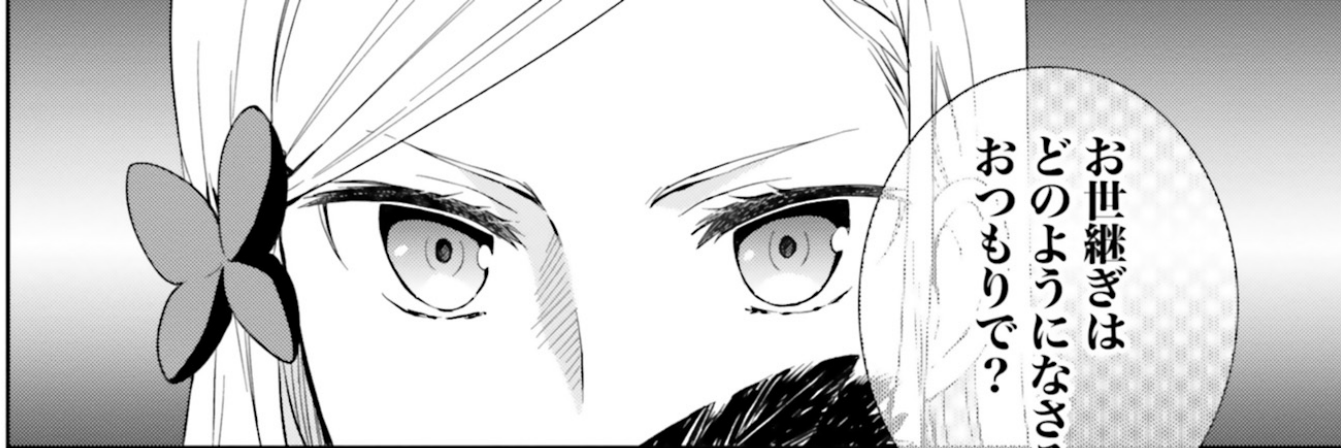
シル様に子は産めないでしょう？

おれ…は…

シル様！切ないよね！ごめんね！

あなたのことが嫌いなわけじゃないんです!!

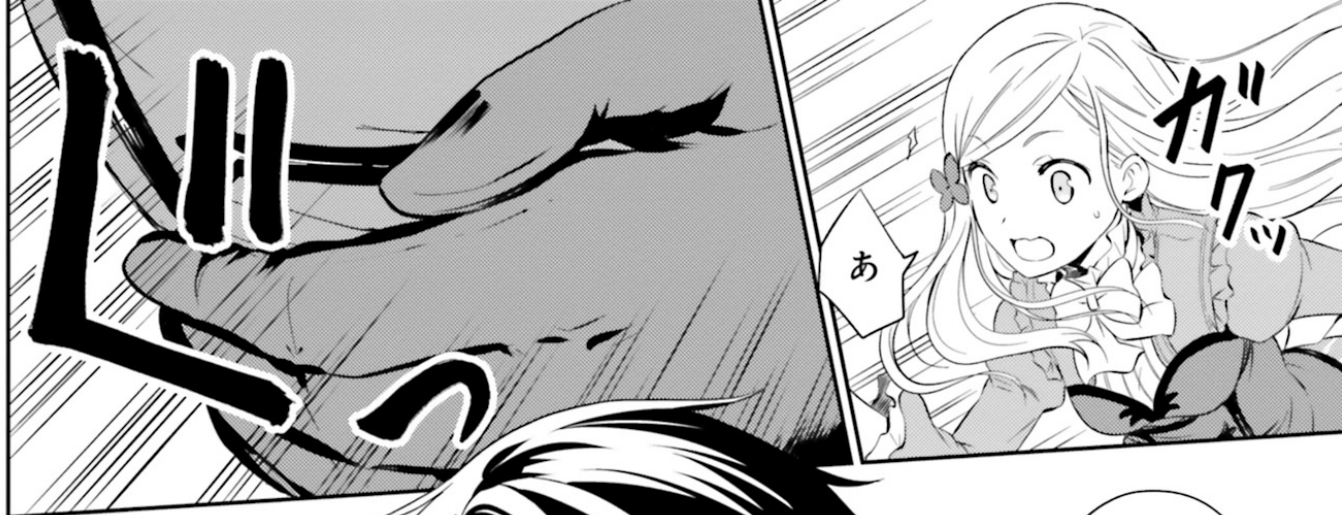
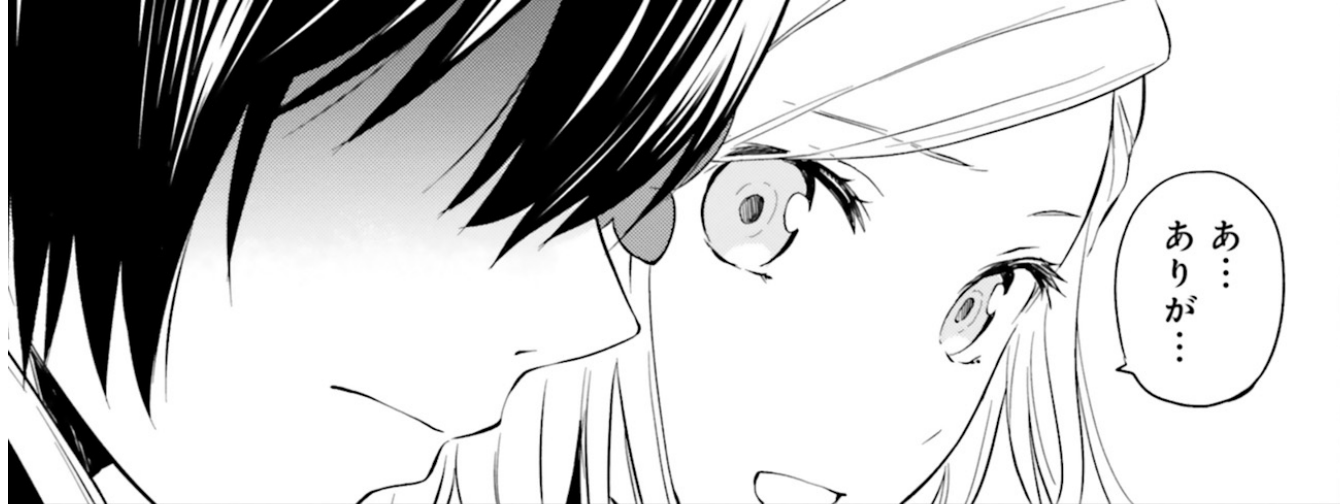
きゅっ

俺が愛しているのはシルだけだ!!

愛する者のいないお前にはわかるまい！
な
そ…それをあなたが言う？
この世界の主人公の一人であるあなたが…

この世界の脇役である私に!!
わたくしにだって愛し合っている方はいますわ!
ばっ
何!?
近いうちにご紹介いたしましょう
それではごきげんよう

――って
カッとしてとんでもないこと口走っちゃったー!!
カタ
カタ
カタ
カタ
どどどどーしよ～愛する人なんていないのに!
それどころか口裏合わせてくれそうな男の知り合いも…
ううっ
嘘でしたーって今からでも謝る?
ーいや前向きに考えよう
今までは結局小説通りだろうと諦めていたけど
私は小説のオクタヴィアとは違うのだと
知らしめるいい機会だ!
ドドーン
幸い近いうちにと言ったからひと月は猶予があるハズ
それまでに適当な男を探して…
カッ

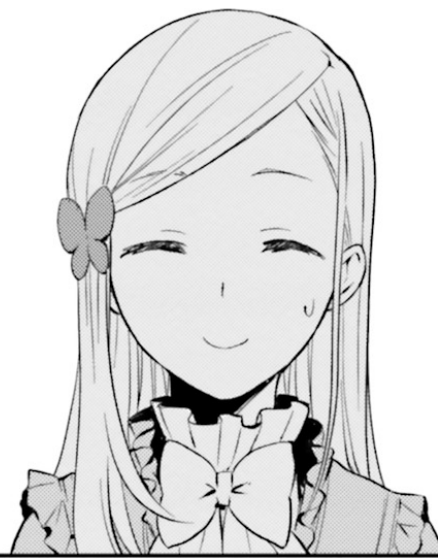
ガクッ
あ
ぐっ
お気をつけください

あ…
ありが…
…助かったわ
ありがとう
今の護衛の
騎士か…
適当な男…
そういえば
名前も知らない…
ねえ
あなた
は

あーームリだわ
こんな超優良物件
背高い
顔良し
声良し
鍛えた肉体
たぶん良家の出
二十代前半
すぐ男作っていなくなるに違いない!!
忘れたの?オクタヴィア
護衛の騎士は
恋愛対象外!!
いえなんでもないいわ

今のように
わたくしをしっかり
守りなさい
承りました
鍛錬場へ
行きます
は

この時間なら弟のアレクがいるかもしれないし♪
どギィィン
うっ
情けないぞ!!立て!!
は!申し訳ありませんアレクシス殿下!
よし!もう一度だ!

アレクー

姉上！

男を漁りに！
なんて純粋な弟には言えない…
兵士…男がたくさんいると思ってきたけど…
ちら
みんな
カップルに見える…
姉上？
あ〜〜〜アレクはできたら可愛い女の子のお嫁さん迎えてねー!!
でもアレクが望むならかわいい同性でも
…いや でも…でも〜〜
もんもん
？
？

鍛錬中の兵がいます
危険ですのでもう少しお下がりください

あ
そうね

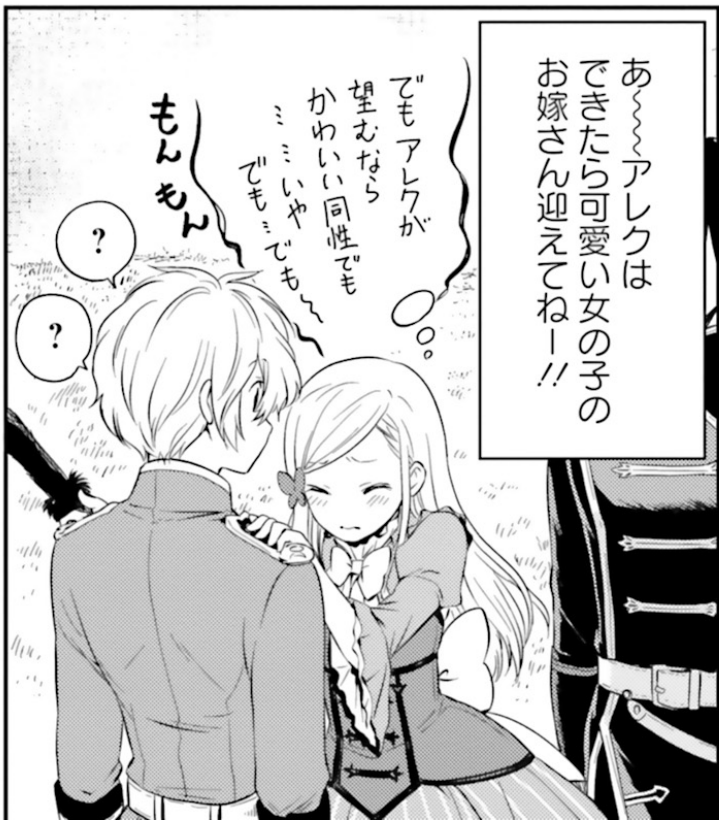
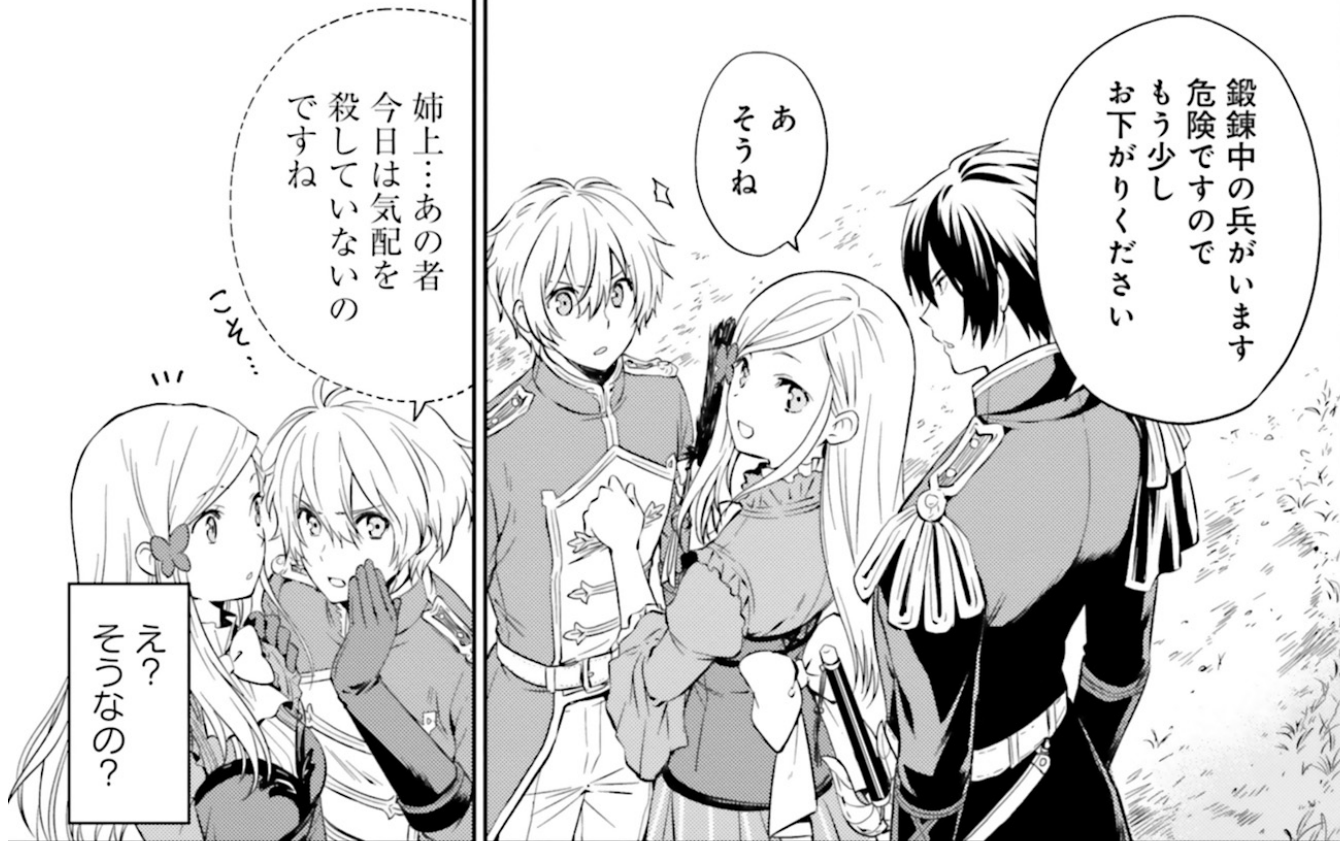
姉上…あの者今日は気配を殺していないのですね

こそ…

え？
そうなの？

姉上の護衛としては長い方ですよね？

ええ…三カ月くらい？

え？
何？
何？

何この熱い視線！
ええええ
まさかアレク彼に一目惚れ!!?
そんな！アレクまで!? ダメよダメ!!
弟が好きな相手なら同性でもって一応は考えたけど！
今回の騎士もどうせすぐ男作るだろうとは予想してたけど！
あぁああぁあ
その相手がアレクだってのはダメ!!
主に私の心理的ダメージが―!!

ダメよ！
彼はわたくしの騎士なのだから!!
別の人（できたら女の子）にしなさい!!
ばっ

…おや?

おい!お前!

あなたきちんと返事をなさい

失礼よ

は

しかし私の主はオクタヴィア殿下ですので

殿下の許可なくばたとえ弟君でもお答えできません

それが名であればなおさら

真面目ね

……って私も知らないの!!
すぐいなくなると思ってたから!
ギギギ
くっ
でもここで知らないなんて言ったらアレクに幻滅されちゃう…
笑ってる!?
ええぇ〜
まさか私が答えられないの知ってて!?
性格悪い!?
あそーだ!
ではあなたの主たるわたくしが許すわ
アレクに名を教えなさい
これならどーよ!?

は！殿下
ご命令通りに
よっしゃ
勝った!!
WIN!
クリフォード・
アルダートンと
申します
なっ⁉
へー
アルダートン
伯爵家出身かー
…あれ？
あそこって子どもは
女の子だけだった
気が…

クリフォード・アルダートンだと!? 貴様が!?

なぜ貴様のような者が姉上の護衛に!?

アレク言葉が悪いわよ

こんなに怒るなんて珍しい

ですが姉上! この者は…

——殿下が許可されましたので

わたくしが彼を選んだのよ
次の護衛かー…どーせすぐやめるし
どーれーにーしーよーうーかーなーー
これでいいや
ぴら〜
彼はとても良い仕事をしてくれているわ
だからアルダートンは諦めて!!
…姉上がそうおっしゃるなら
私がとやかく言うことでは…
すっ

ありがとう！アレクシス大好きよ！
ぎゅ
諦めさせちゃってごめんね！
あ 姉上!? やめてください！

…癖になりそうですね
さらさらで
そう？アレクの髪には負けるわよ
…見ろよあれ癒されるな
オクタヴィア殿下って理想のお姫様って感じでさ
優しそうで儚げでいいよな
アレクシス殿下も嬉しそーにまぁ…普段とは別人みたいだ
まぁ男嫌いなのに毎日あんな感情向けられちゃな…
アレクシス様…
いつもかわいらしい
オクタヴィア殿下…うらやましい……
ゴゴゴゴゴ
はっはっはっ
平民出の女好きな俺らには厳しい世界だ…
ところであれさぁ

あの戦場にいた奴と同一人物だよな？
一年前のサザ神教との戦争で
敵味方問わず殺した姿からこう呼ばれた

地獄(オンガルヌ)の使者

ひいっ

やめろよ！他人のそら似だろ！

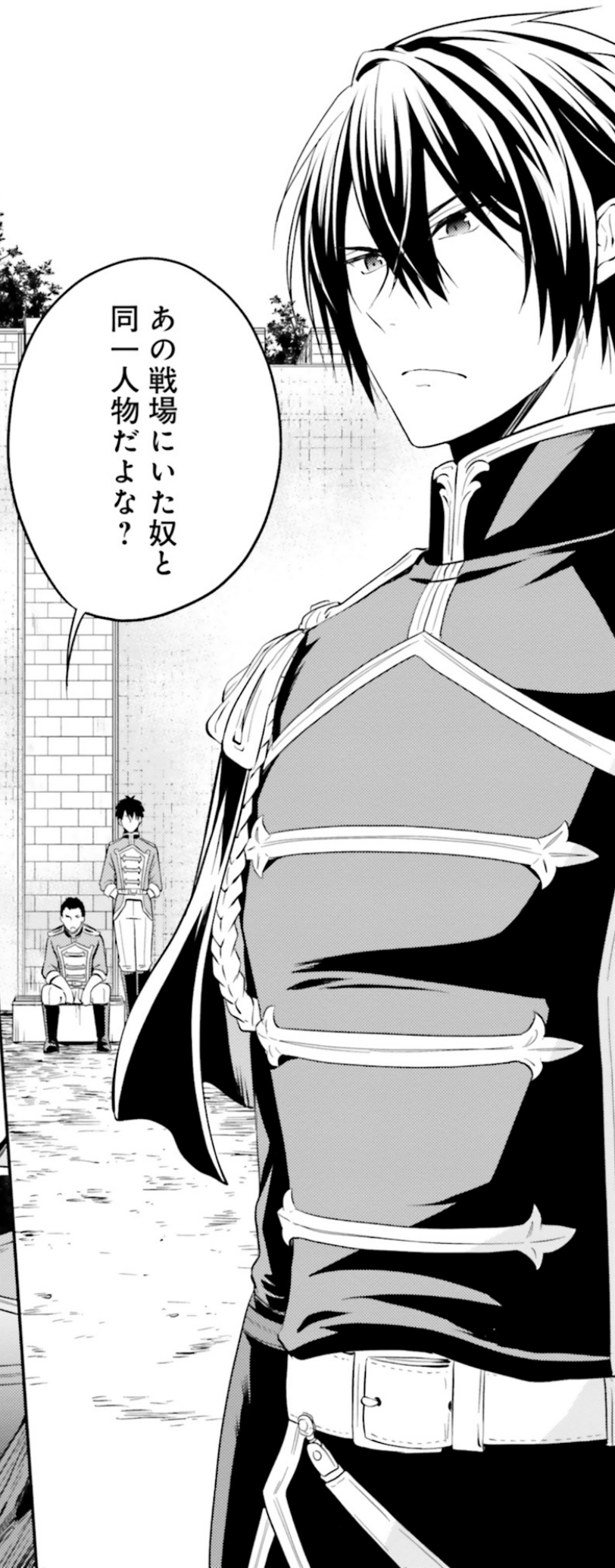
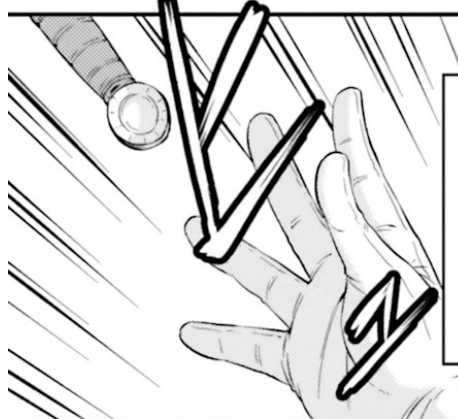
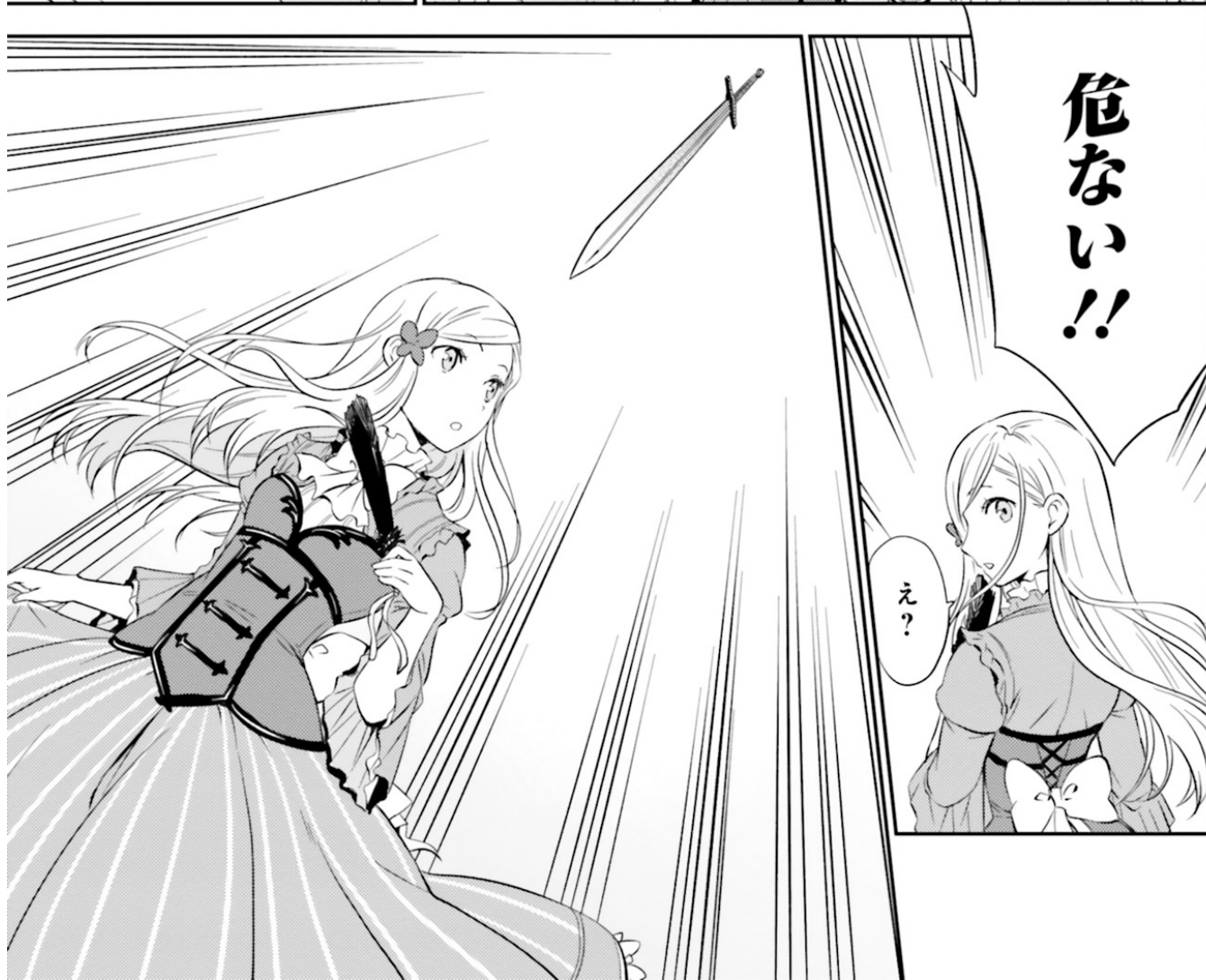
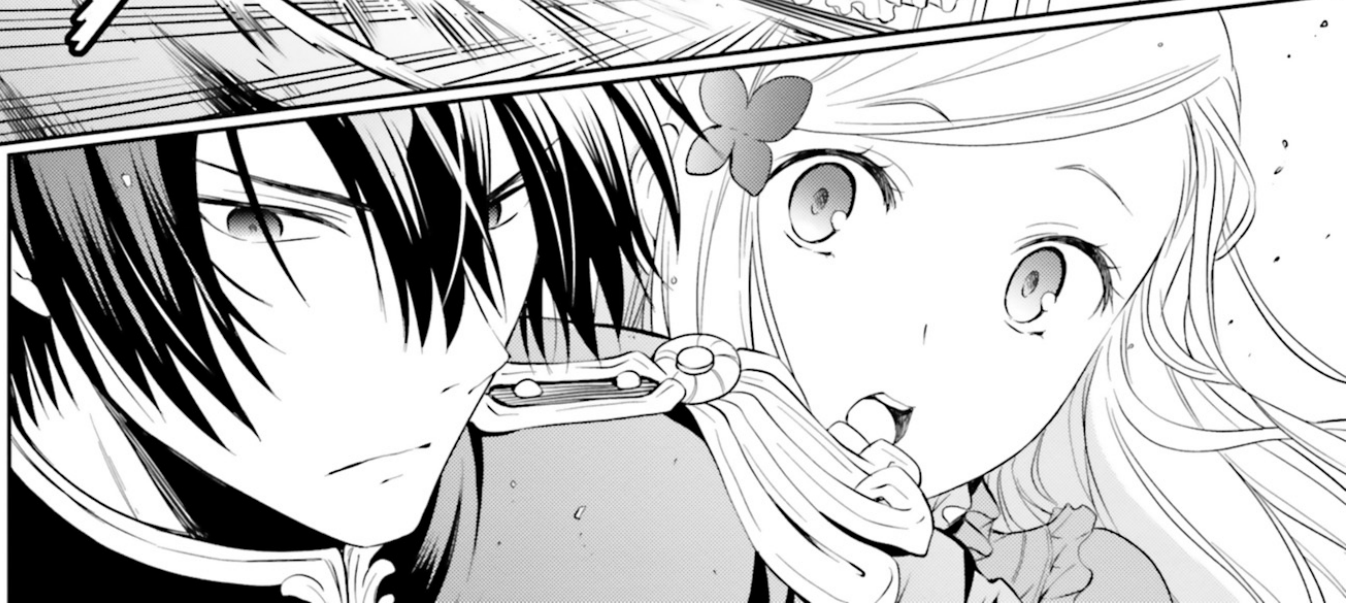
ガクガク

いやー本人だろ俺たちもはっきり見たじゃな

やめろって!!

じゃあなんでオクタヴィア殿下の護衛やってんだよ？危険だろ!?

…オクタヴィア殿下って見た目はおしとやかだが

色々と黒い噂もあるじゃないか

姉上！お体が冷えましたか？
大丈夫よアレク少し歩くわ
やっぱーアレクに癒されすぎて
目的を忘れるところだったよ
現実逃避してました
偽の恋人でもいいからやってくれそうな人を見つけなきゃ
そんな急には見つからないだろうけど…
危ない!!
え？

ガッ
キィィィン

ひっ
姉上！ご無事ですか⁉
ええアルダートンが守ってくれたわ
この剣を持っていた者名乗り出ろ‼
出なければ姉上の暗殺未遂と見なす‼

わっ
ザッ

わたし
エレイル・バーンの
剣でございます!
バーン?

て…手が滑り…
そのような
言い訳
ぱっ
まぁ では
事故だったの
ですね?
姉上!
ザワ
それは
仕方ないわ
失敗は誰にも
あるものよ

しかし姉上に
もしものことが
あったら…
看過できません！
処罰を！
処罰するなとは
言わないけど
鍛錬中に訪れた
わたくしも悪いのよ

おっ 恩情のお言葉
ありがたく――

いいのよ

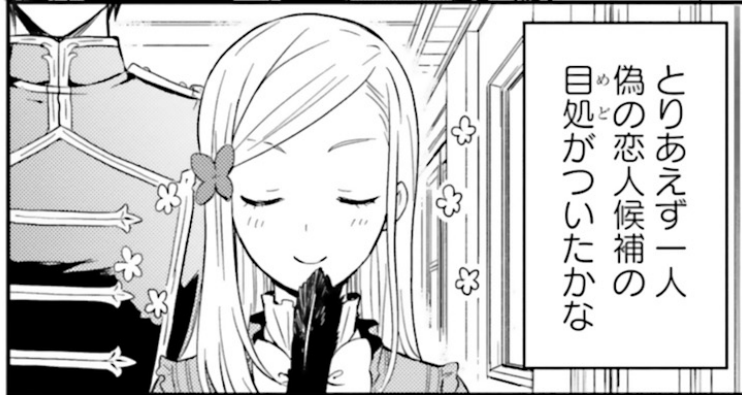
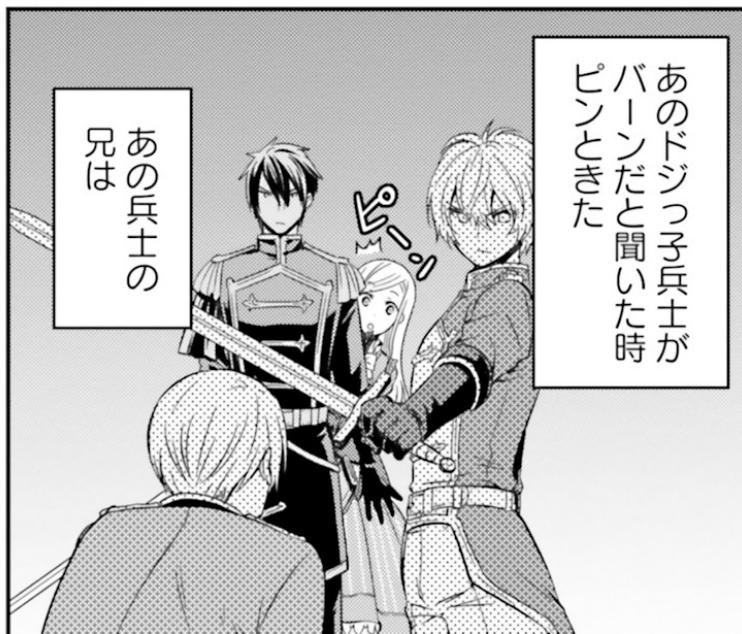
あなた
バーン子爵家の
人間でしょう？
すっ
姉上！
は！ 父は現在
バーン子爵位に
ついておりますが…

兄君も
いらっしゃる
な!?
なぜ…

では よろしく
お願いするわね
はい…
姉上…
あのような
者に…
彼に害意は
なかったわ
でもお詫びをして
くれると言うから
一つお願い事をしたの
願い事？
どのような…

心配してくれるのは嬉しいけれど重い処罰など与えないでちょうだいね
お願いよ
は—
——わかりました
みなにも言い含めます
そうだわ
アルダートン

守ってくれてありがとう
——は

部屋へ戻ります
は
あいつ命拾いしたな
ああ
あなたの兄君に会わせてほしいの
──なぜオクタヴィア様が
反王家派である兄上と──？
とりあえず一人偽の恋人候補の目処がついたかな
あのドジっ子兵士がバーンだと聞いた時ピンときた
あの兵士の兄は
ピーン

『高潔の王』の敵キャラ
ルスト・バーンだと!!

ビンゴで
よかった!!

この国の貴族は
大きく分けて
二つの派閥がある

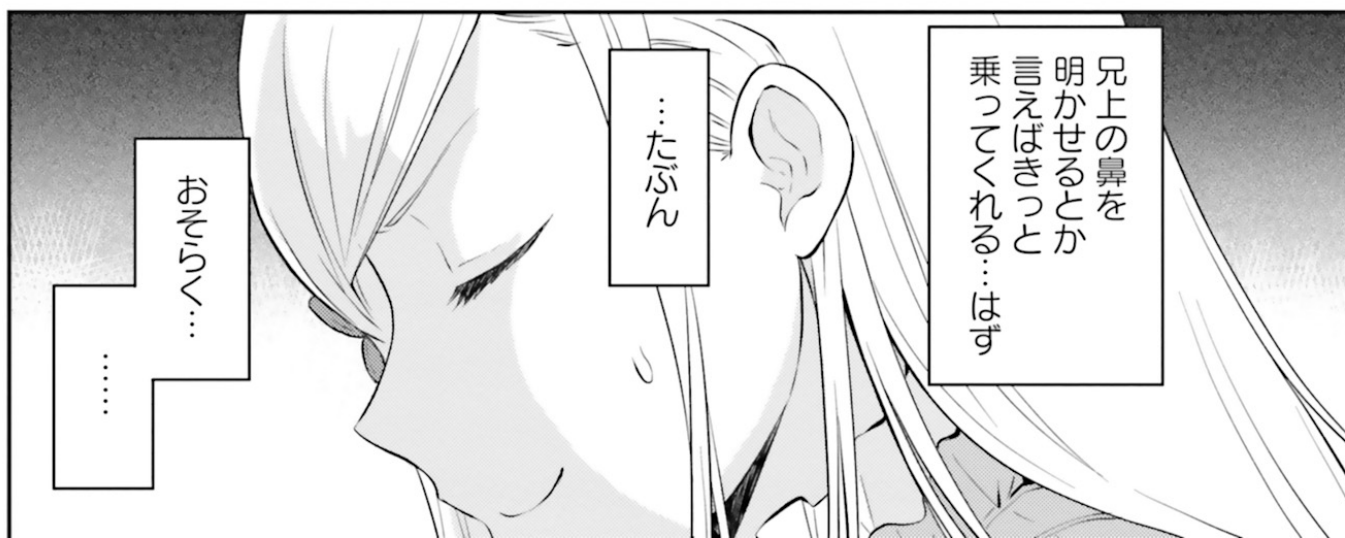
不倫貴族派

愛する男性を
愛人として囲い
結婚は女性とする

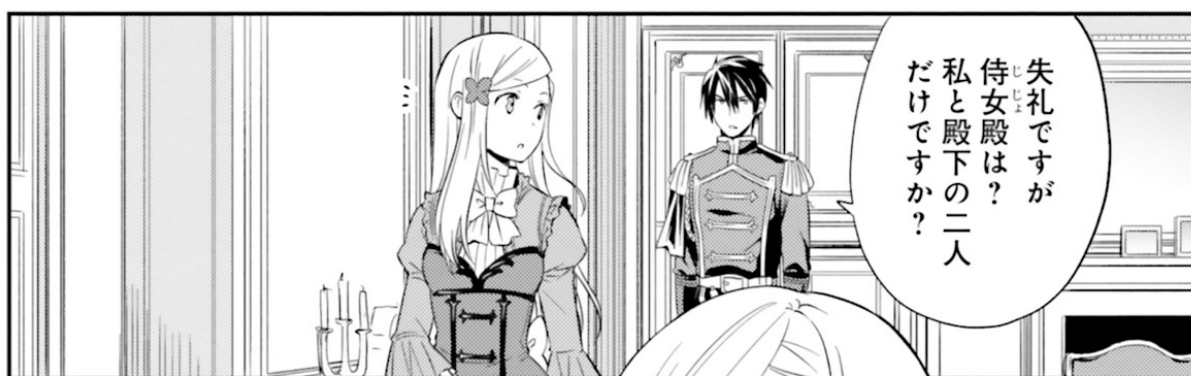
対立

純愛貴族派

愛する男性との愛を貫き
子どもは親戚や姉妹から
養子をもらう

冗談みたいだけど
本当…一夫多妻は
許されていない

…とにかく
ルストのことは
エレイルからの
返答待ちで
…殿下
他の候補探しに
集会や苦手で
断っていた準舞踏会
にも出席しなきゃ
殿下…
あー忙しく
なるぞ――
殿下!

…お部屋に
着きましたが
え…ええ
ありがとう
あれ?
ちょっと待って?
私が自由に
動けるのは
護衛の騎士(アルダートン)が
いるからで
今アルダートンが
男作っていなく
なったりしたら
やばい
気軽に外出
できなくなっちゃう!!

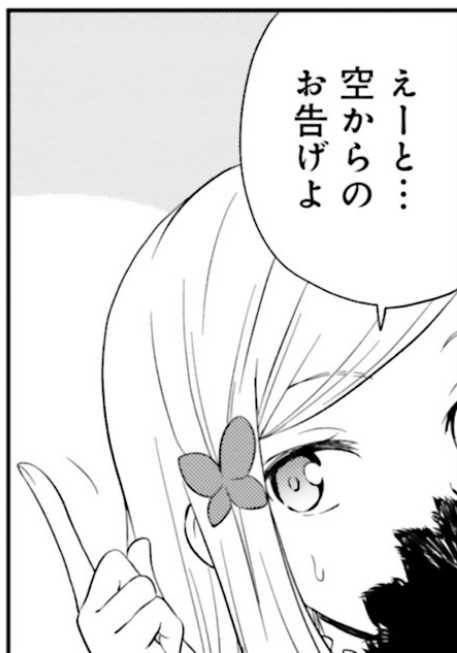
それは困る!!
アルダートン！
話があるので
あなたも入りなさい！
――は
失礼ですが
侍女殿は？
私と殿下の二人
だけですか？
問題ないわ
あなたを信用
しているから

なぜなら
さすがＢＬの世界
王子と騎士の
ラブ日記はたくさん
あるのに
なぜ王女のは
一つもないの
ご先祖様〜〜〜
王女より王子の方が
身の危険がある
っていうね…
歴史が語る
私を
信用…
殿下は実に
面白いことを
おっしゃる
そうかしら？
それより
あなた
辞める予定は
あるかしら？
好きな人
いたりする!?

――と
おっしゃいますと
ヅっ
何言ってんだ
こいつっていう
オーラを感じる

言葉通りよ！
ふと不安に
思ったの
ぱっ
あなたが辞めて
しまわないかと

……
殿下こそ

なぜ私を
護衛の騎士に
お選びに？

それは…
「どれにしようかな」
で決めたとは
言えない!!
えーと…
空からの
お告げよ

びくっ
え？ 何⁉ 禁句だった⁉
今のってただの この世界の神様と 空をかけた常套句 なんだけど
くっ
よりによって 空からのお告げ ですか…

なるほど…
殿下は答えて
くださらないと
いうことですね
すっ

ほっ
気のせいか…
辞める予定を
尋ねた理由は
答えるわ
わたくしの護衛は
頻繁に替わるのだけど
この三カ月のあなたの
働きぶりを見て思ったの
わたくしの
護衛の騎士は
あなたで
最後にしたいわ
今辞められ
ちゃったら
困るから！

…それは無期限で
殿下にお仕えしろと？
…私が？

そうよ

私に恋人ができるまででもいいけどね！

恐れながら
その言葉の重さを
ご理解していない
ように思えます

あなたを一生
重用するという
ことでしょう？

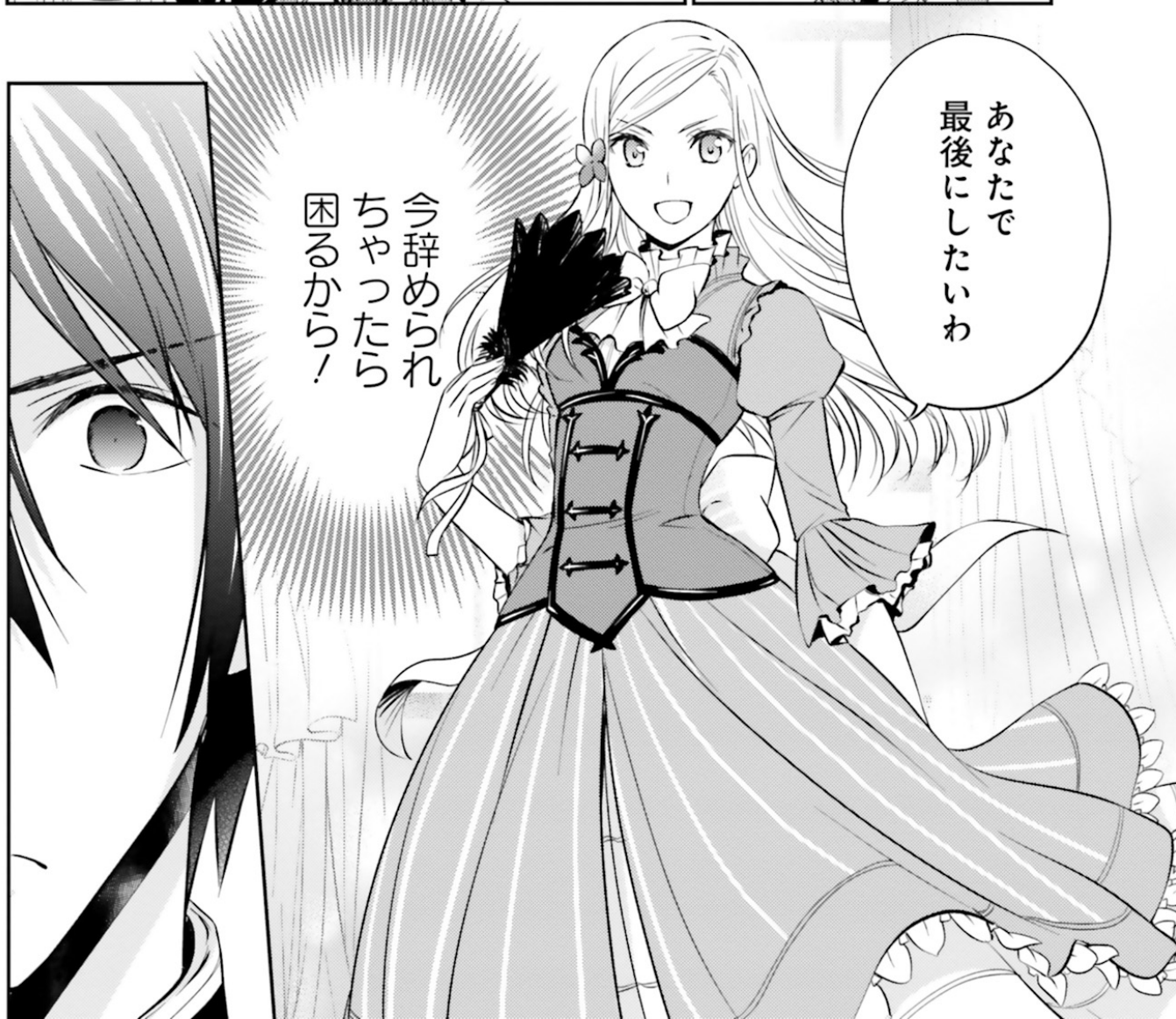
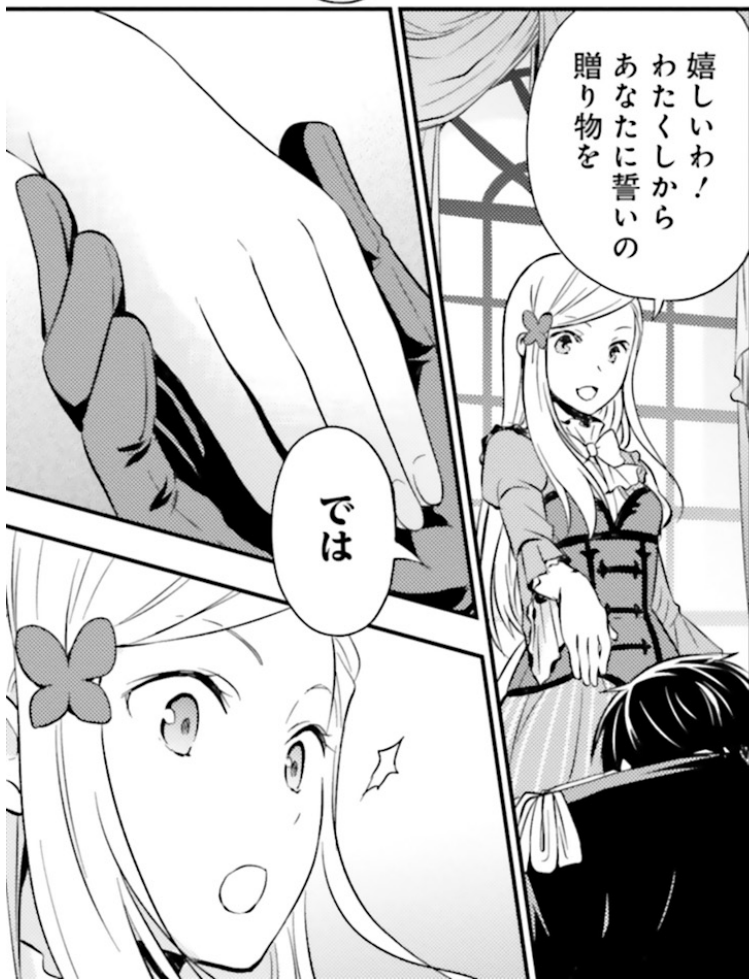
辞めなければ
それでいいわ

……

ならば

殿下に
徴を

ジジッ

なっ
なにこれー!!

この世界には
『従』という名の
少数戦闘民族がいる
第2話
彼らは身分に関係なく
生涯にたった一人の
仕えるべき『主』を選ぶ
そして互いの合意のもと
『主』と『徴』という
特別な繋がりを結び
どんなに離れていても
『主』の危険を察知し
陰に日向に一生
『主』を助ける

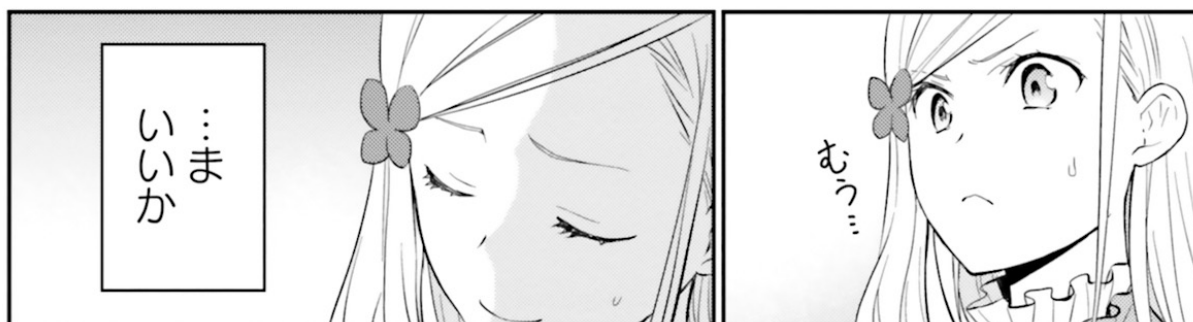
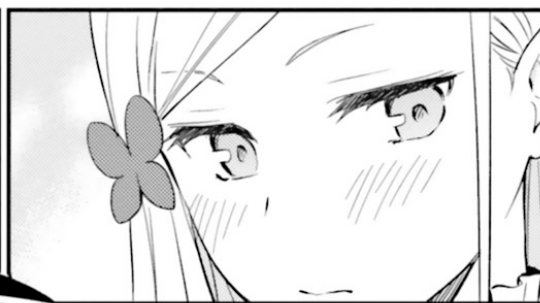
第2話
魔法要素のない『高潔の王』の世界で『従』は唯一の不思議議な力を持つ存在

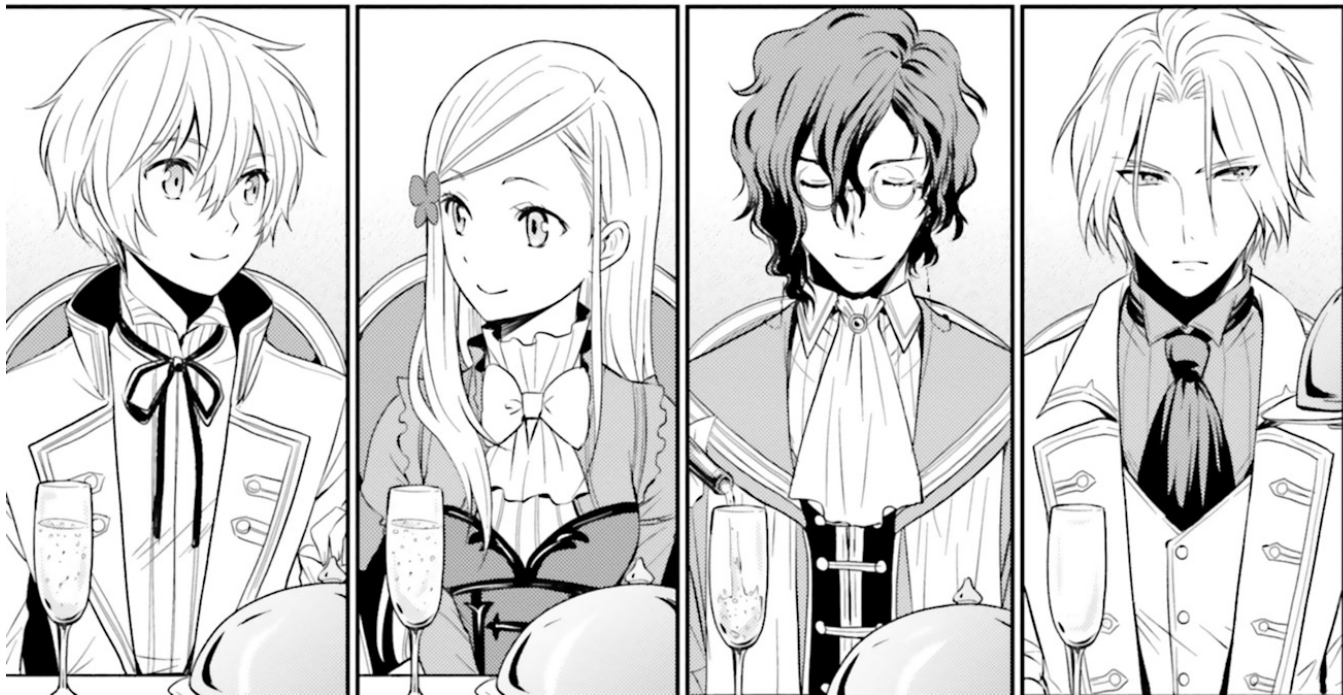
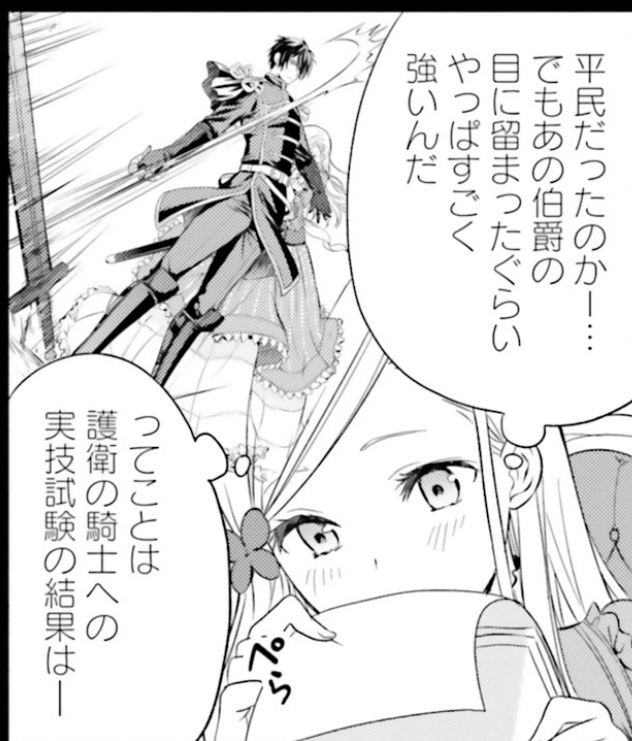
――って
王女教育で
学んだけど
だら
だら
『従』は絶滅危惧種
並に少ないんじゃ
なかったっけ!?
ででででも
『徴』とか
言ってたし
というかこれ
どーすれば
!?
消えた…
…あ
アルダートン
あなた…
『従』だったの？
は

殿下はご存じかと
いいえ
知るわけないじゃん!!
なんでそー思ったの!?
あっ
「護衛の騎士として生涯仕えよ」
私は殿下が私を『従』と知り忠誠を捧げよとおっしゃっているのかと
わっ
わたくしではなくあなたの問題よ!
『徴』は生涯で一人の『主』に捧げるものなのでしょう!?
それをこんなあっさり…
ご安心を
スッ

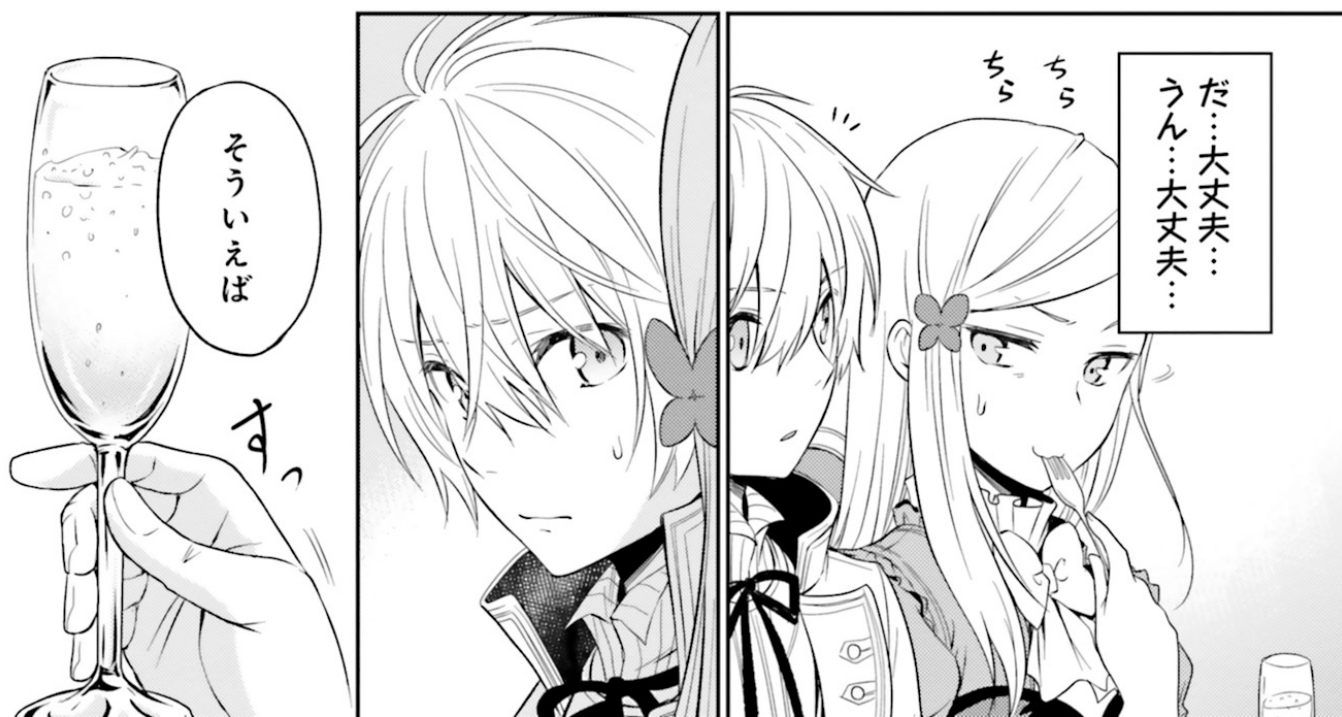
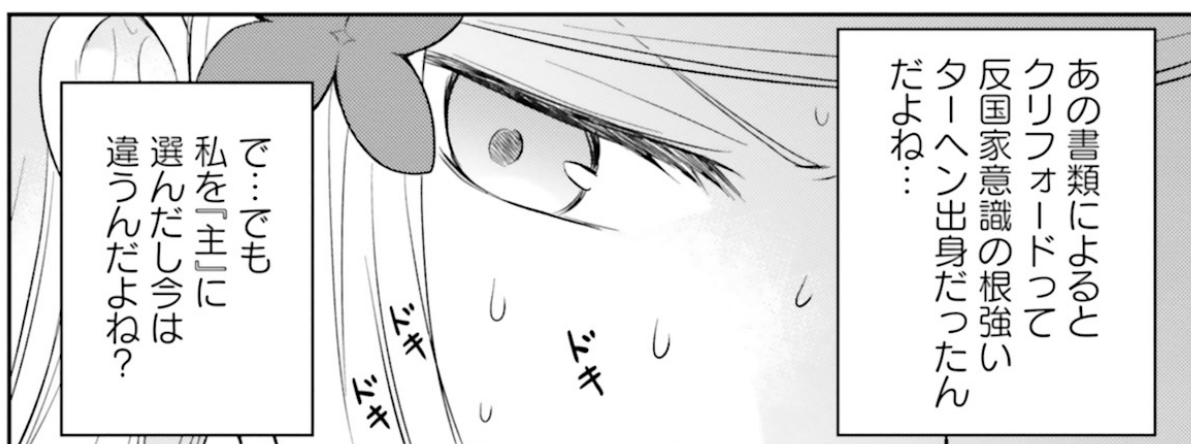
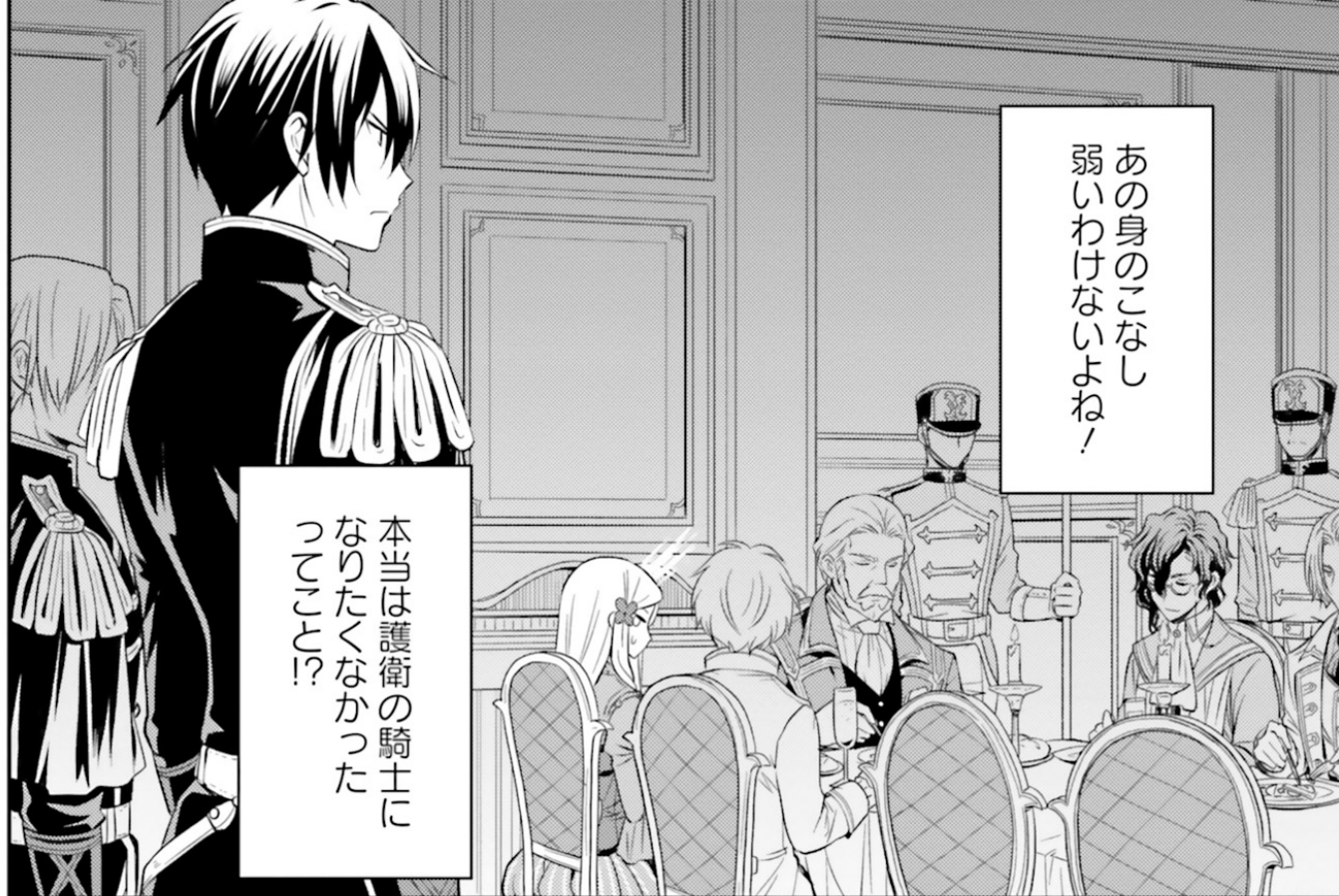
私は特殊な『従』
『主』は二人目で殿下です
へーそんな例外が
ほっ
それならまだ安心…
じゃないよ!!
でもわたくし『徴』に合意したかしら

殿下は私に欲しいものをくださろうとしていたのでしょう？
私は殿下を『主』にと欲しました
いけませんか？
ひく ひく
いけしゃあしゃあと

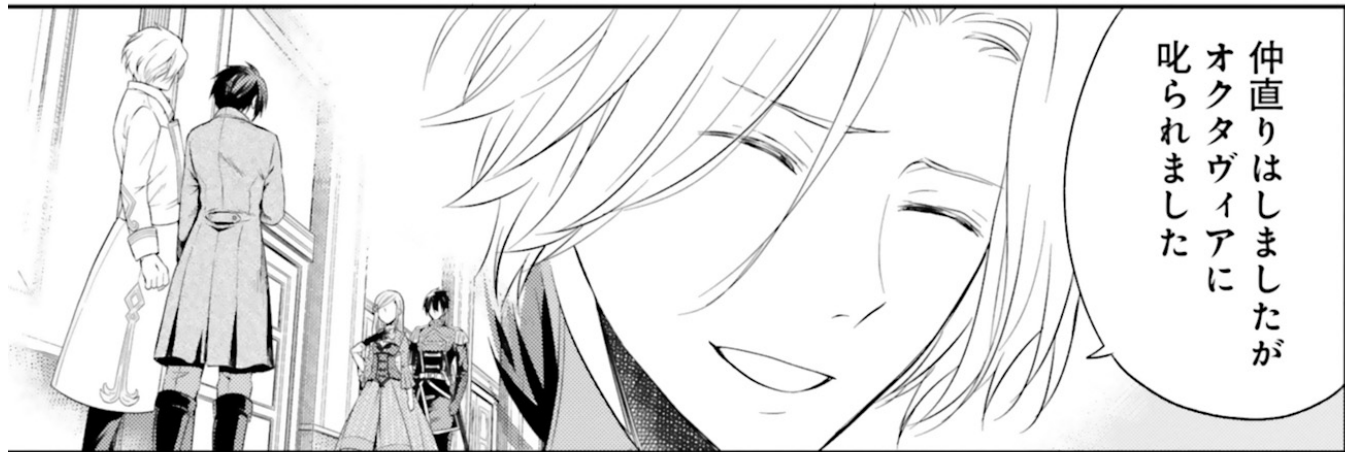
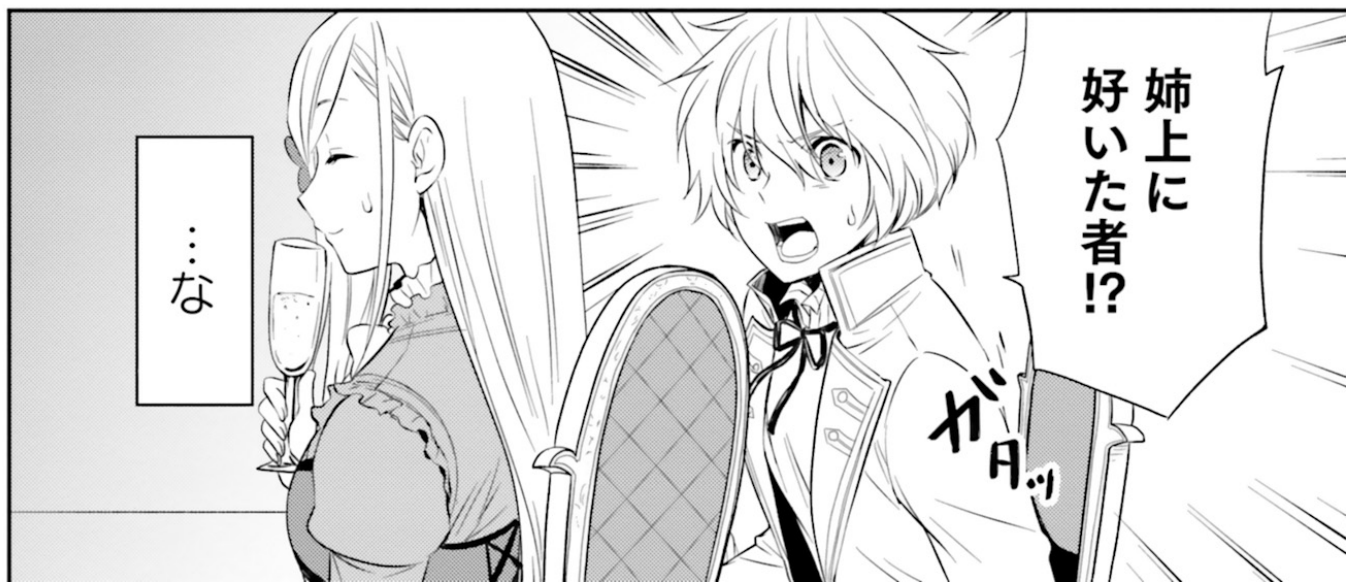
あとで文句
言われても
知らないよ！
わかったわ
許します
感謝
します
ちゅっ
『従』は
『主』を
守ります
――ただ一つ
ご注意を
私は特殊な
『従』です
どうぞ上手く
お使いください

わかったわ
アルダー…
ずっと仕えるって言ってくれてるんだし
私も腹を括って…
クリフォード
ぱっ
あなたを信じて
これからはクリフォードと
呼ぶわ
光栄です
我が『主』
姓じゃなくて
ちゃんと名前を
呼ぼう！
これからも
付き合いが
長くなることを
信じて！

全員揃ったようだな
――では
エスフィア王
イーノック・エスフィア
カチャ
カチャ
天空神(てんくうしん)よ
あなたに感謝し
食事をいただきます
いただきます
ふう…

姉上 何か心配事でも？
え？
なんでもないわ アレク
あのあと
クリフォードに関する書類を改めて読んだ
へー 25歳
約一年前 武門の名家の当主 アルダートン伯爵の希望により養子となる
平民だったのかー… でもあの伯爵の目に留まったぐらい やっぱすごく強いんだ
ってことは 護衛の騎士への実技試験の結果はー
ぺら
最下位!!?
え!?
がばっ
もぐ…

あの身のこなし
弱いわけないよね！

本当は護衛の騎士に
なりたくなかった
ってこと!?

セリウス

王の伴侶 エドガー
（もちろん男）

今日はシル君と喧嘩したんだって？

ご存じでしたか

仲直りはしましたがオクタヴィアに叱られました

俺の無神経な物言い…すまなかった
お前に好いた相手がいるとは知らなかったんだ
ブッ
!?
姉上に好いた者!?
ガタッ
…な

遠慮などしなくていい

俺はお前に協力したい

やめて兄上!恋人なんて本当はいないいんです!!

私のライフはもうゼロよ…

父上にも言えないでいたお前の代わりにこの場で伝えたかった

どういう
ことだ

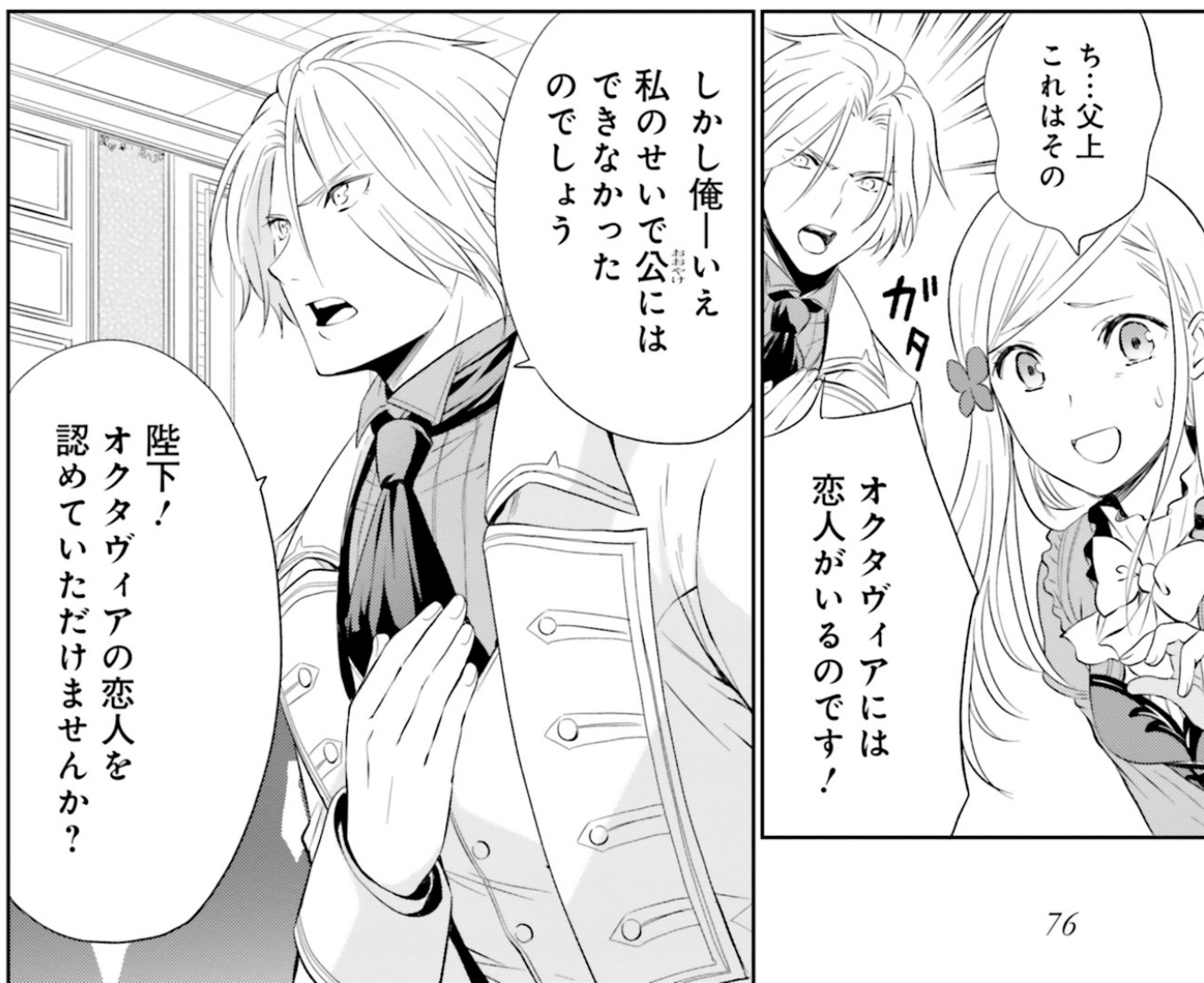
ビクッ

ち…父上
これはその

ガタ

オクタヴィアには
恋人がいるのです！

しかし俺―いえ
私のせいで公には
できなかった
のでしょう

陛下！
オクタヴィアの恋人を
認めていただけませんか？

息子としてじゃなく
第一王子として
王に直訴とか
そんな大事…

兄上まっ

愛する者がいるなら
その者と結ばれる
権利があります!!

まってー!!

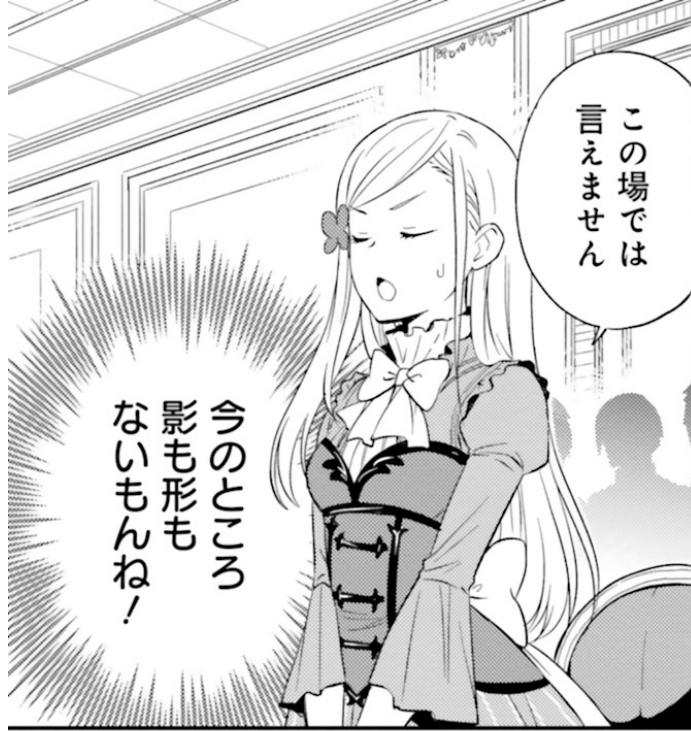
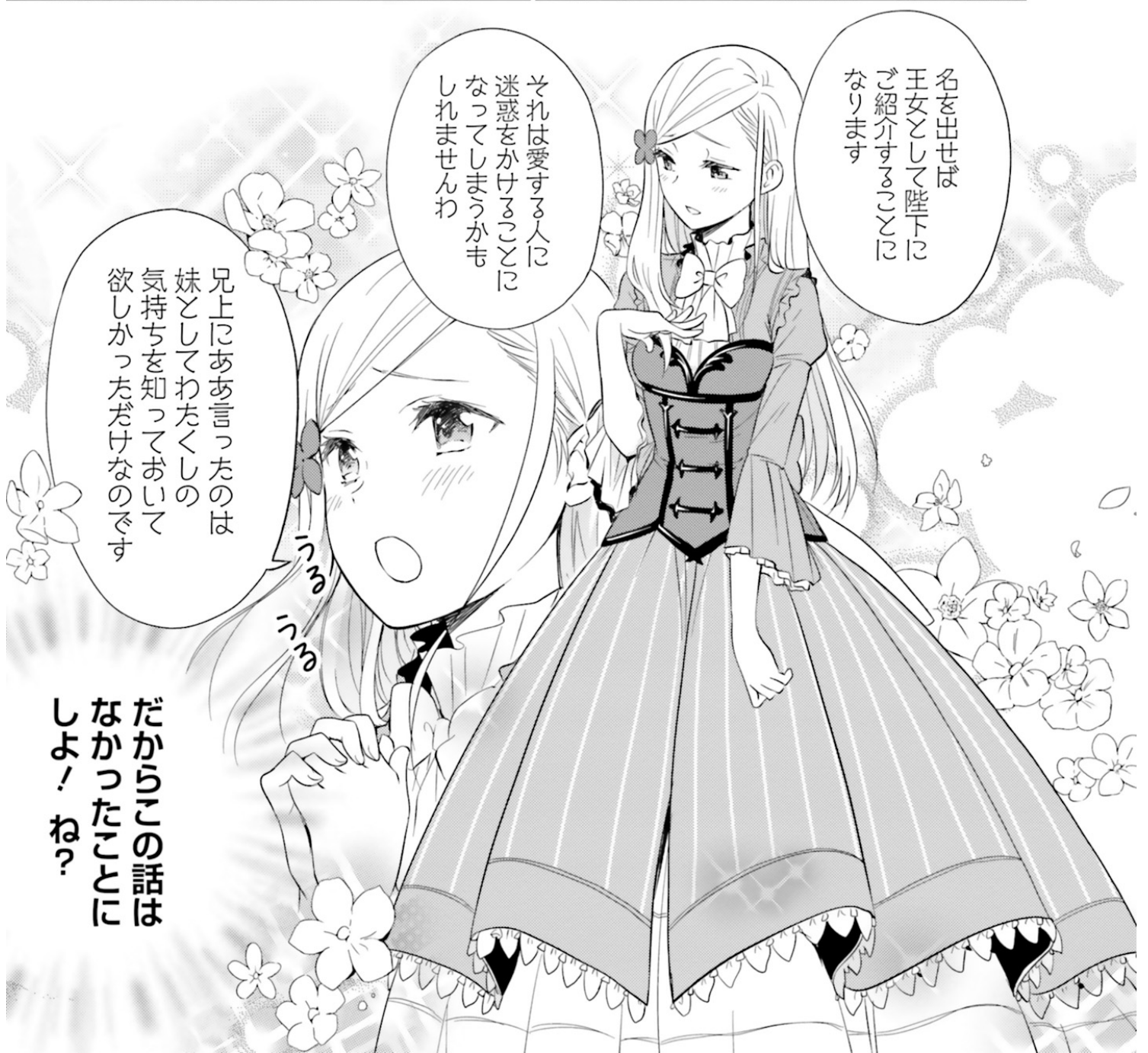
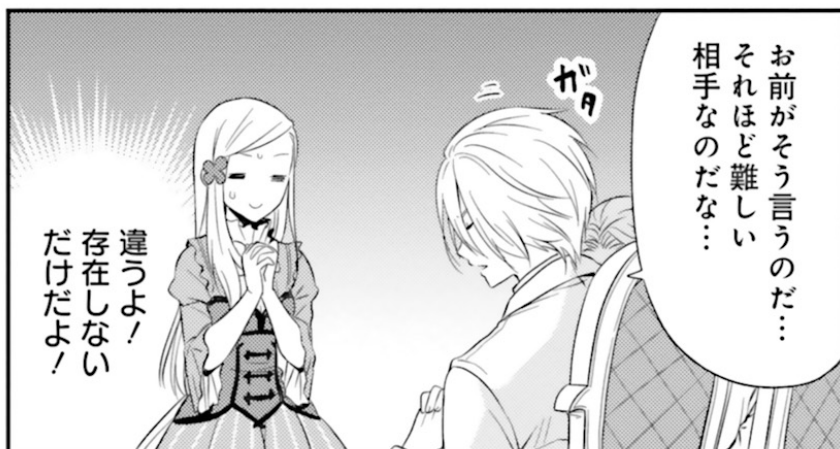
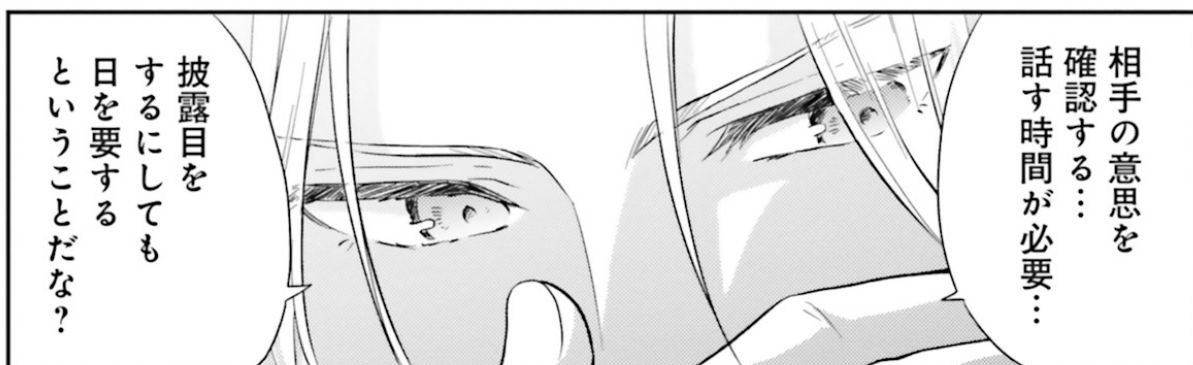
ひぃぃぃ

ガタ

披露目の場なんて
逃げ場がなくなる!!

必要ありませんわ!!

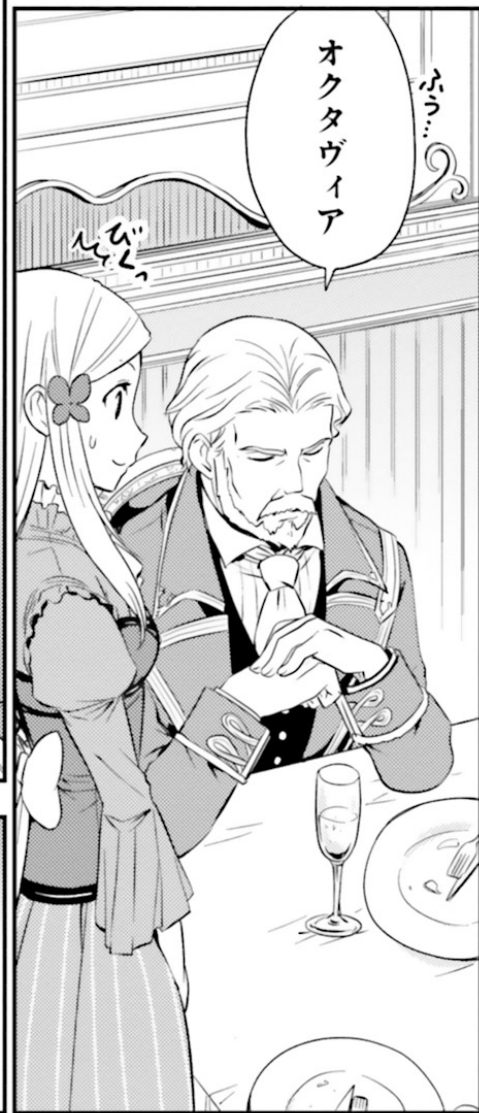
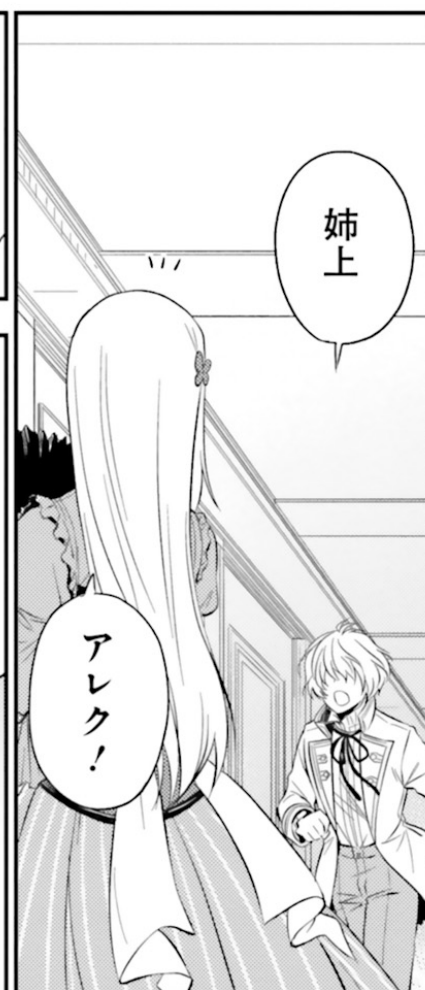
なぜだ？

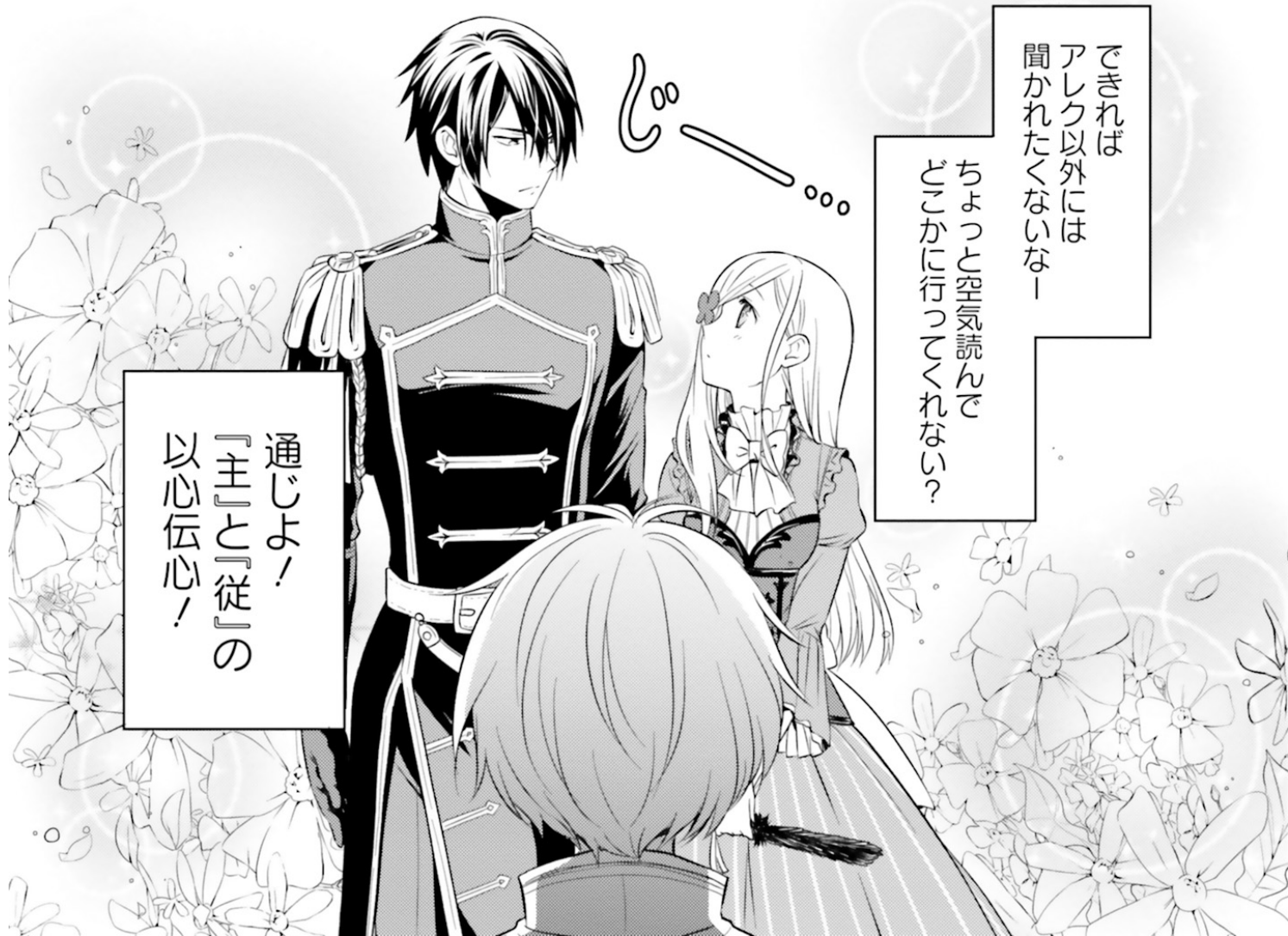
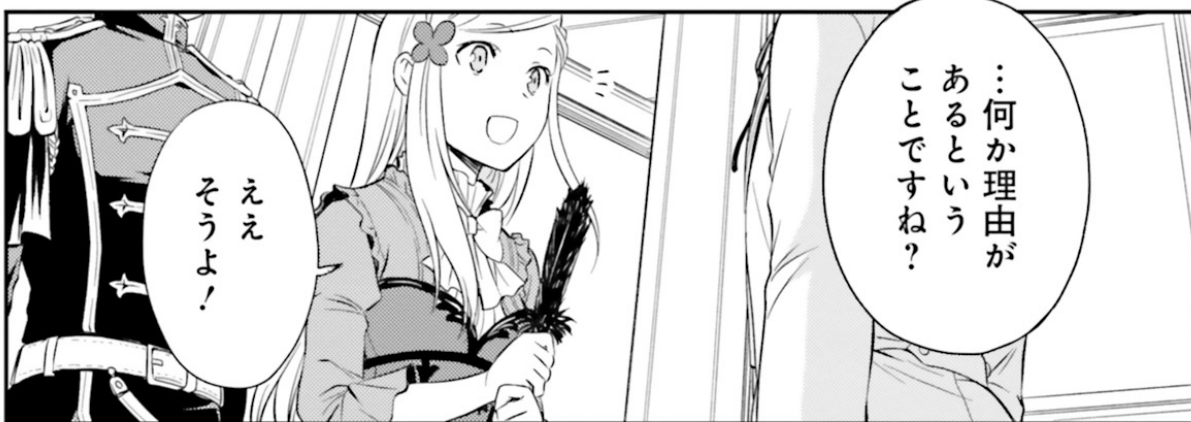
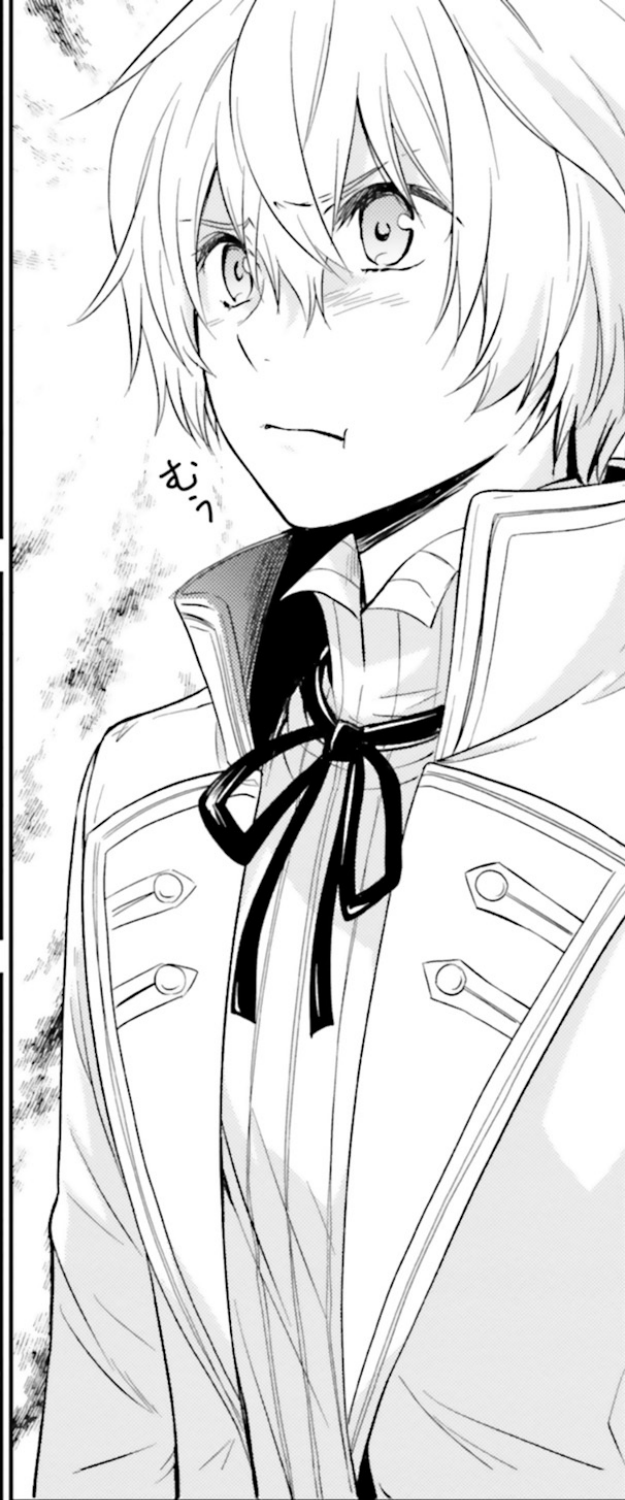
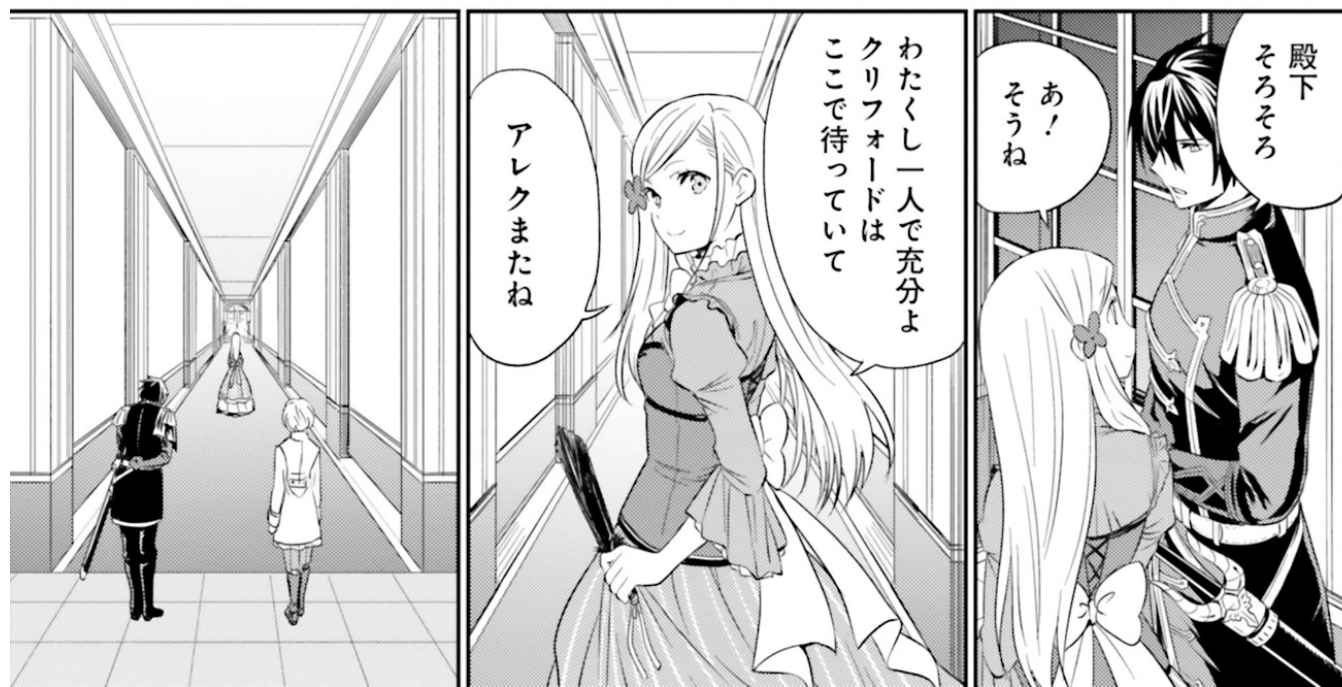
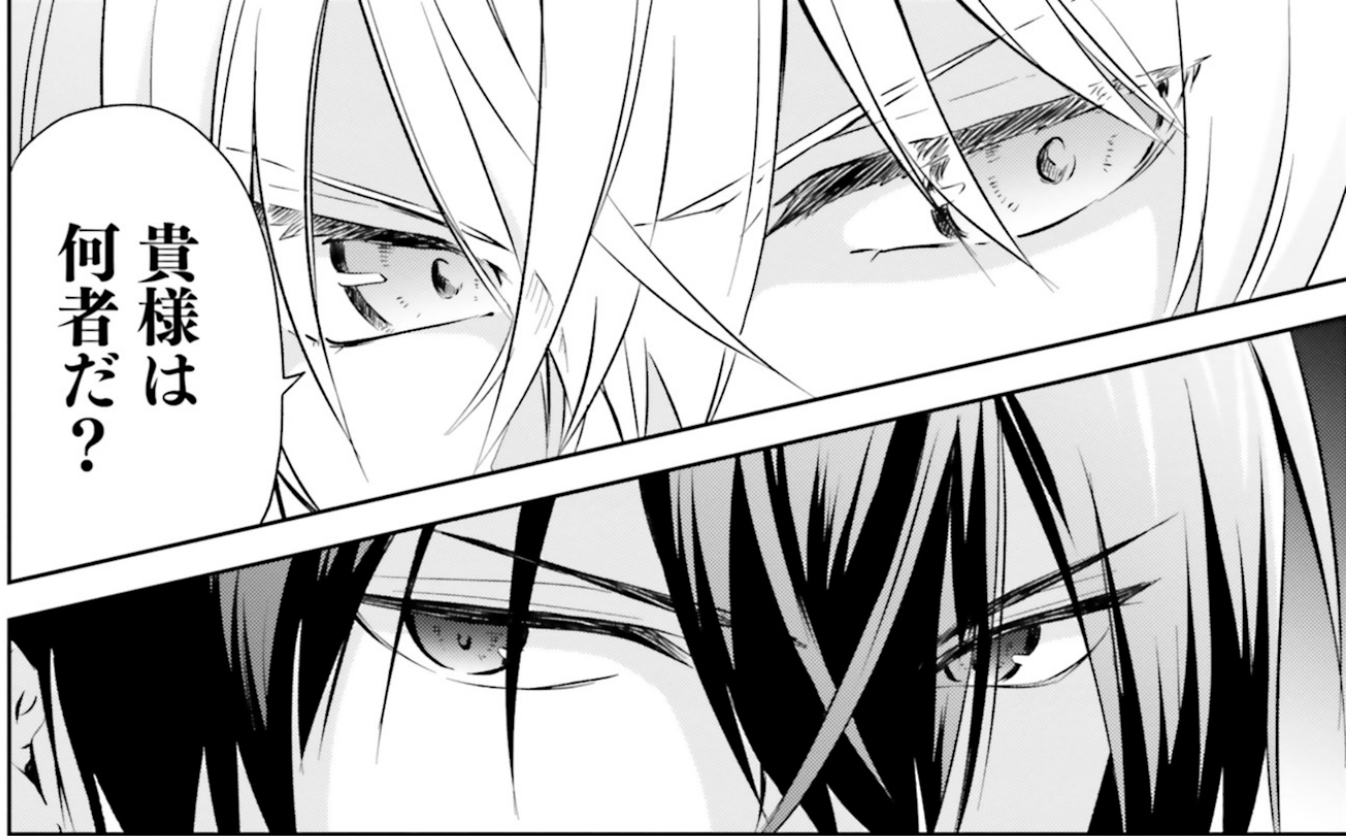
相手の方に
迷惑をかけたく
ないからです

なればこそ
その者の名を
申してみよ
オクタヴィア
この場では
言えません
今のところ
影も形も
ないもんね！
名を出せば
王女として陛下に
ご紹介することに
なります
それは愛する人に
迷惑をかけることに
なってしまうかも
しれませんわ
兄上にああ言ったのは
妹としてわたくしの
気持ちを知っておいて
欲しかっただけなのです
うる
うる
だからこの話は
なかったことに
しよ！ ね？

お前がそう言うのだ…
それほど難しい
相手なのだな…
ガタ
違うよ！
存在しない
だけだよ！
相手の意思を
確認する…
話す時間が必要…
披露目を
するにしても
日を要する
ということだな？
ううん
この話はこれで
終わってほしー
明日にでも
披露目をと
思っていたが…
兄上!?
二週間ほど
あればいいか？
よくないよ!!
セリウス
お前が決める
ことではないぞ
しかし父上
こうでも
しないと…

ふぅ…
オクタヴィア
びくっ
このあと執務室に来なさい
二人だけで話がしたい
はい…父上

この道を行けば陛下の執務室ですが…
い…行くわ…けれど少し休憩…
ドキドキ

姉上
アレク!

何かあった?
姉上にどうしてもお訊きしたいことが…

姉上の好きな者とは…
誰ですか?

――困った
鍛練場では
誤魔化したけど
あの時より状況が
悪化してる今
アレクには
本当のことを
言っちゃいたい
いっそ相談に
乗って欲しい!!
――でも
できれば
アレク以外には
聞かれたくないな―
ちょっと空気読んで
どこかに行ってくれない？
じ――…
通じよ！
『主』と『従』の
以心伝心！

むっ
…姉上…
はっ
ごめんなさい！
アレクを無視した
わけじゃないのよ
ただ
ここで
話すことでは
ないの
後日 機会を
設けましょう
…何か理由が
あるという
ことですね？
ええ
そうよ！

ふぅ…
では
そのように
…ただ
その時はそこの
姉上の騎士には
席を外させて
ください！
わかったわ
アレク
ラッキー♪
私としても
その方が
うれしい！
殿下
そろそろ
あ！
そうね
わたくし一人で充分よ
クリフォードは
ここで待っていて
アレクまたね

貴様は何者だ?
クリフォード・アルダートンと
そんなことは知っている!!
姉上の何だ!?
護衛の騎士であると答える他ありませんが
私は貴様が信用できない
姉上の騎士を降りろ!

だから何だと？

私に命令できるのはオクタヴィア殿下のみです

すっ

私を騎士にと望んだのはあの方なのですから

姉上が望んだ…
姉上を裏切ったら
貴様の息の根を止めてやる！

できるものなら

第3話
クリフォードとアレク何話してるんだろ?
?.
きこえない…
まいっか
今はそれより
ギギギギ

国王(ちちうえ)との対話を乗り越えなきゃ!!
第3話

ぱさ
よく来た オクタヴィア
あーやだよー 逃げたいよ～
ご命令通り お連れしました
ザッ
え？

クリフォード!?

お前も
入るが良い
え?
護衛の騎士に
何の用が?

って
入らないの!?
クリフォード
国王の
命令だよ!?

『主』の命令しか
聞かないってやつ!?
『従』らしい態度
ではあるんだけど…
仕方ない!

…入りなさい クリフォード
——は

ドキドキ

…お前の護衛は——
ドキ ドキ ドキ
怒った?

よく やっている ようだな
セーフ セーフ!!
うっはーい♪
はい

名を呼ぶほど 親しいのか?

彼がわたくしの護衛に就いて三カ月
名前くらい呼ぶでしょう
長く――続いているようだな
そうですわね
本当に！
とても嬉しいことです
ふ～…
そうか…
トン
トン
むぅっ
娘の笑顔にその反応ひどくない？

ならば
オクタヴィア

わたしがクリフォード・アルダートンを引き抜きたいと言ったら？

——な！

それが目的で呼んだの!?

ぎゅっ

——ご冗談を

…だけど
父上が国王としてわたくしに命令なさるなら別です従いましょう
ふっ…
父上には逆らえるけど最高権力者には逆らえないもんね！

命令せねばその騎士を手放す気はないと
はい父上

――と娘は言っているがお前はどうなのだアルダートン
オクタヴィアのためにも答えよ

答えてクリフォード！
ちらちら
今度こそ通じよ！以心伝心！
こく
通じたー!?

陛下のお言葉は有り難く存じますが
私はオクタヴィア殿下にお仕えすると決めております

回答も百点!!

当初はオクタヴィア次第だとお前は言っていたが？

私は元々ターヘン出身の平民
その素地が殿下の不興を買うかと危惧しておりました

……

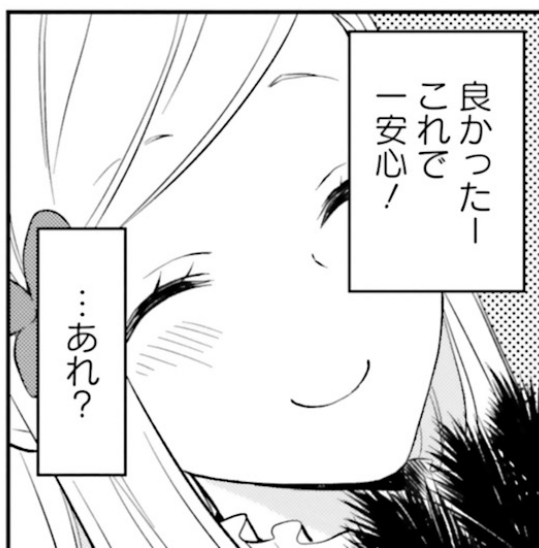
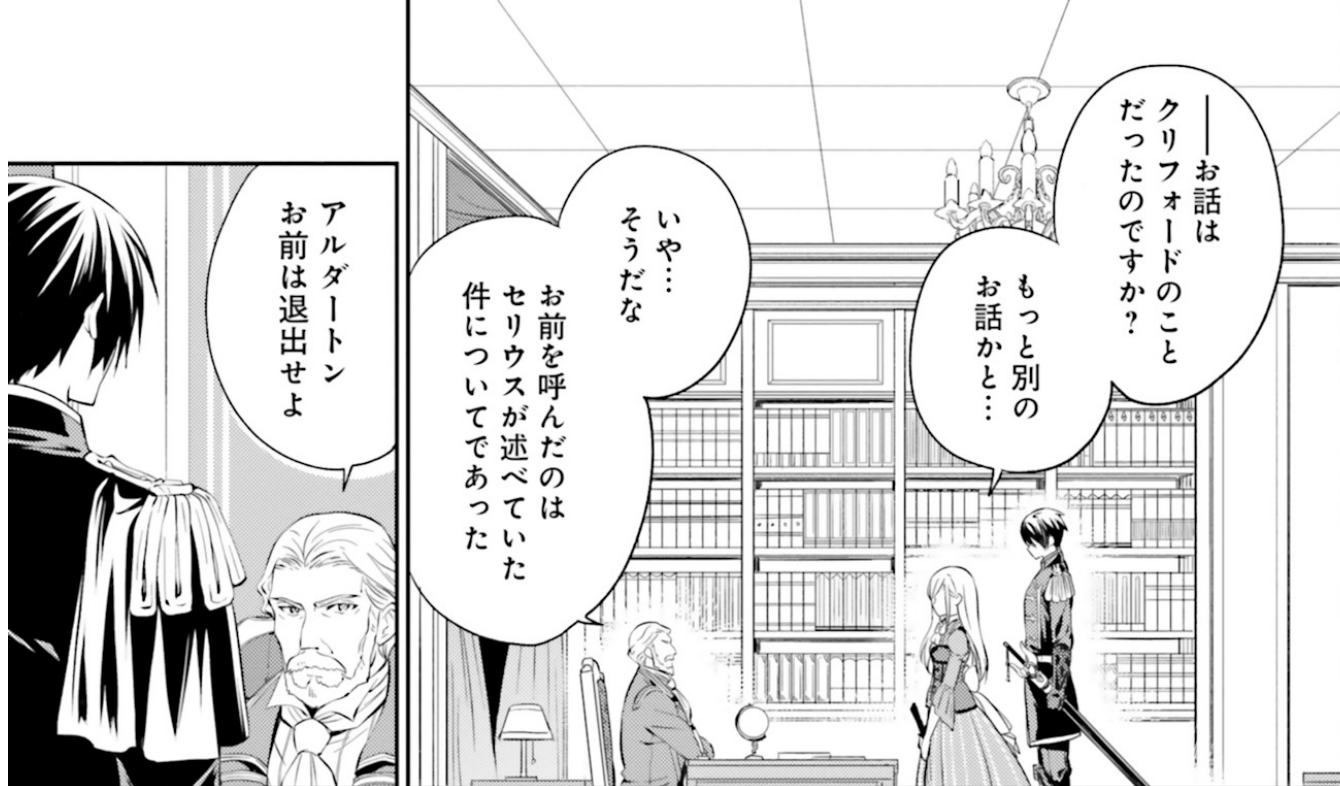
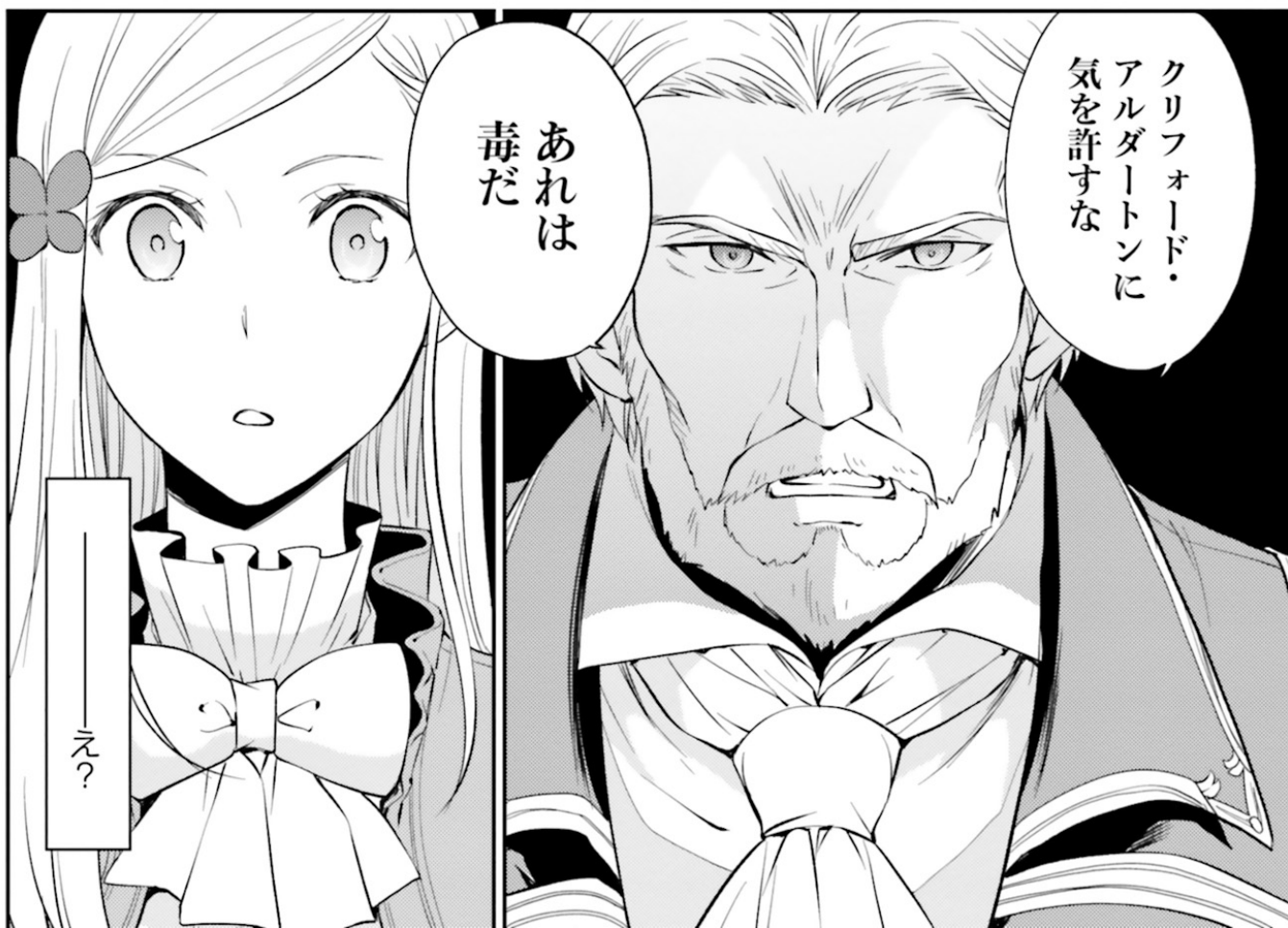
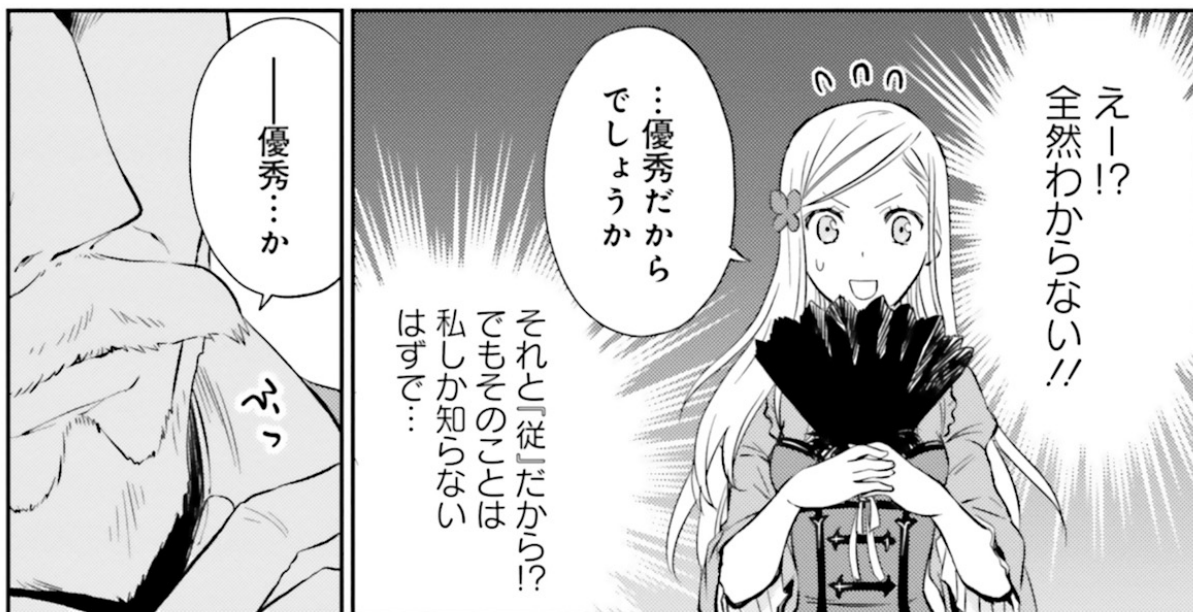
んん？

ふたりって
面識があるの?
娘の護衛のことを
父親が把握していても
おかしくはないんだけど
それだけじゃなさそうな…
どういう
ご関係!?
気になる…
ちら
ちら
…ふぅ…
もう良い
オクタヴィア
アルダートン
お前たちの
心積もりは
理解した
引き抜きはしない
安心せよ
ほっ…
良かったー
これで
一安心!
…あれ?

――お話はクリフォードのことだったのですか？
もっと別のお話かと…
いや…そうだな
お前を呼んだのはセリウスが述べていた件についてであった
アルダートン
お前は退出せよ
御意に
…なぜクリフォードを欲しがったのですか？
見当のつかぬお前ではあるまい？

クリフォード・
アルダートンに
気を許すな

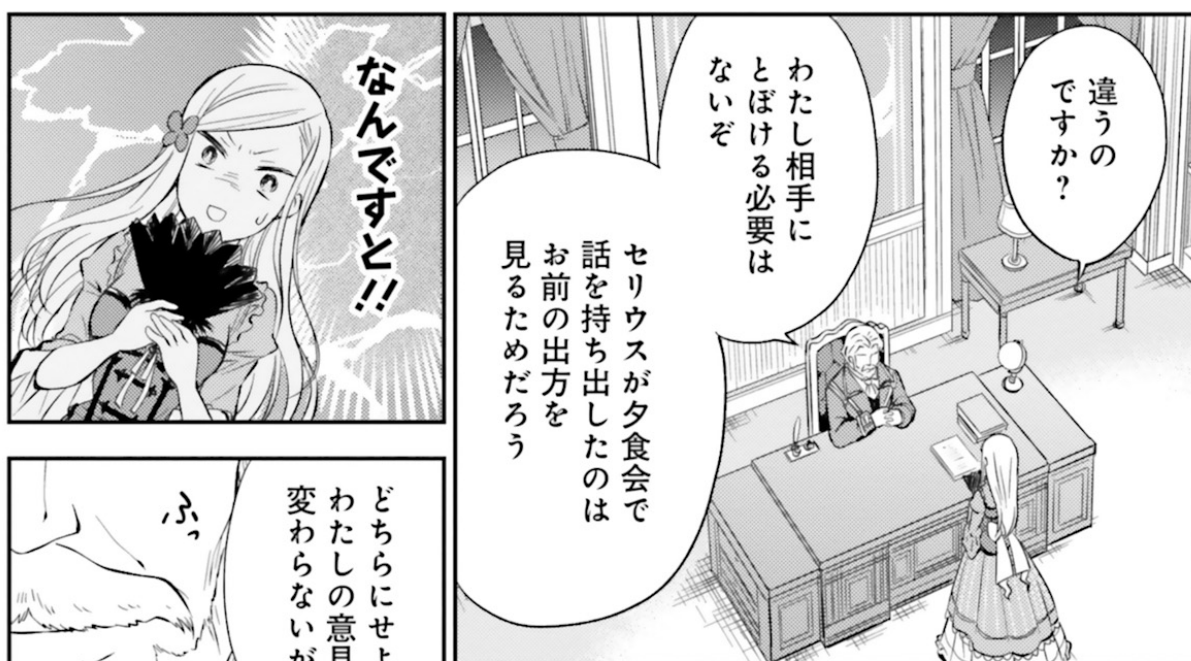
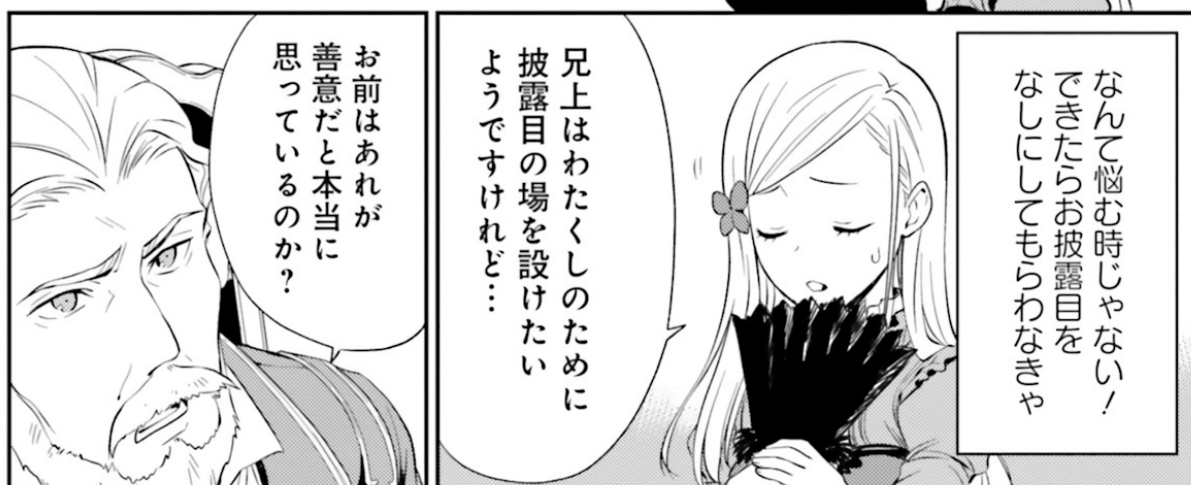
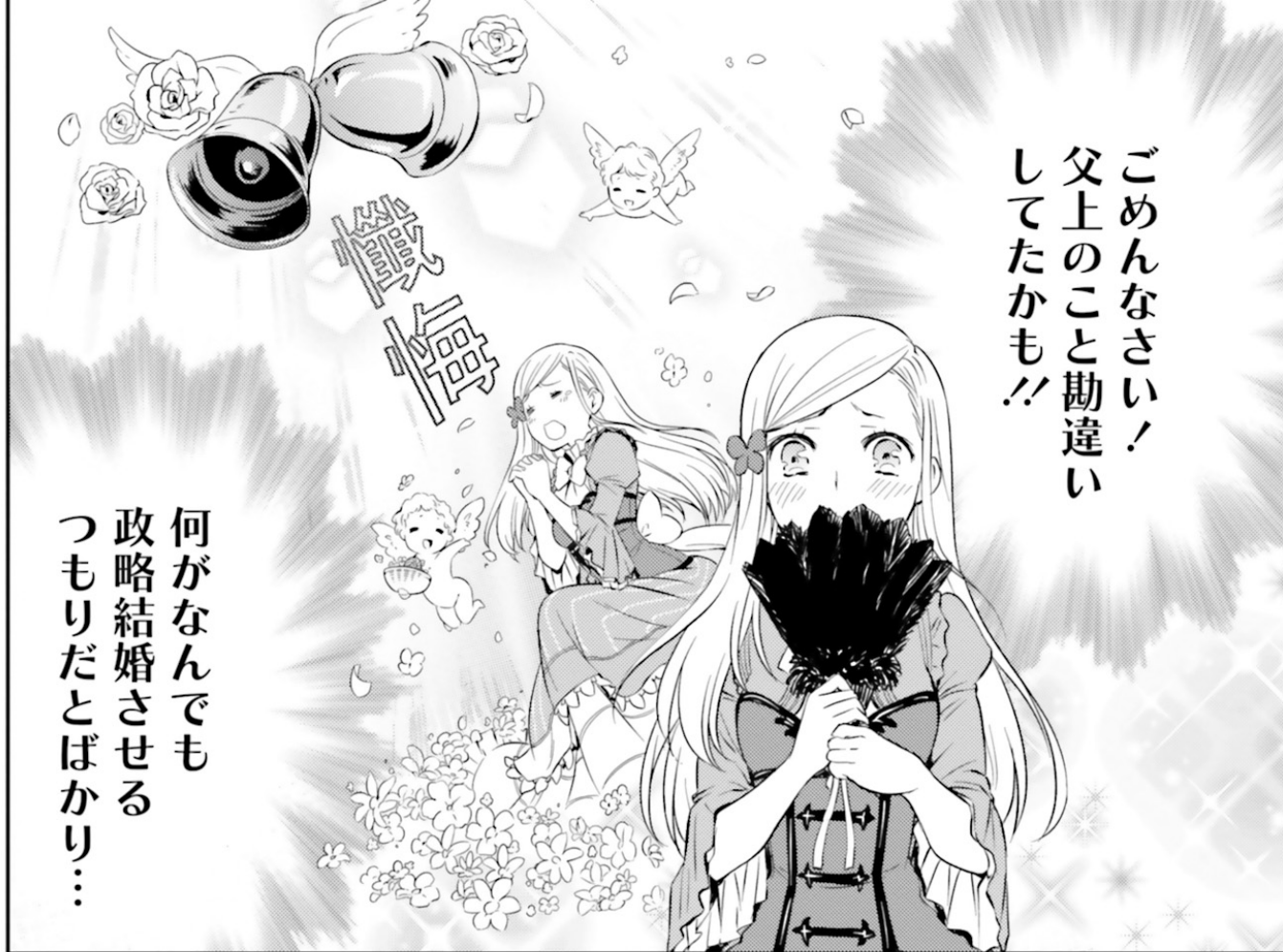
あれは
毒だ

——え?

ちょっちょっと父上！突っ込みどころ満載です！
ではなぜ毒を騎士候補に!?
あの中からあ奴を選んだのはお前だろう？
そーでした！どれにしようかなでしたー!!
毒も使い方次第で薬になるお前に任せよう
この話はこれで終わりだ良いな
…はい
ではお前の恋人の話をしよう
きた!!
…事実か？
ええいますわ！
いません！いつでも募集中です!!

前世はともかく今世は美少女だと思うのにロマンスのひとつもないのは

みた目は姫様
心は腐女子

中身のせい!?

いや…やっぱりシル様と兄のための世界だから…?

わたしは
お前の行動を
制限する
つもりはない
…はい？
お前に想い合う
相手がいるならば
別れさせるような
ことはしたくないと
思っている
……

ごめんなさい！
父上のこと勘違い
してたかも!!

懺悔

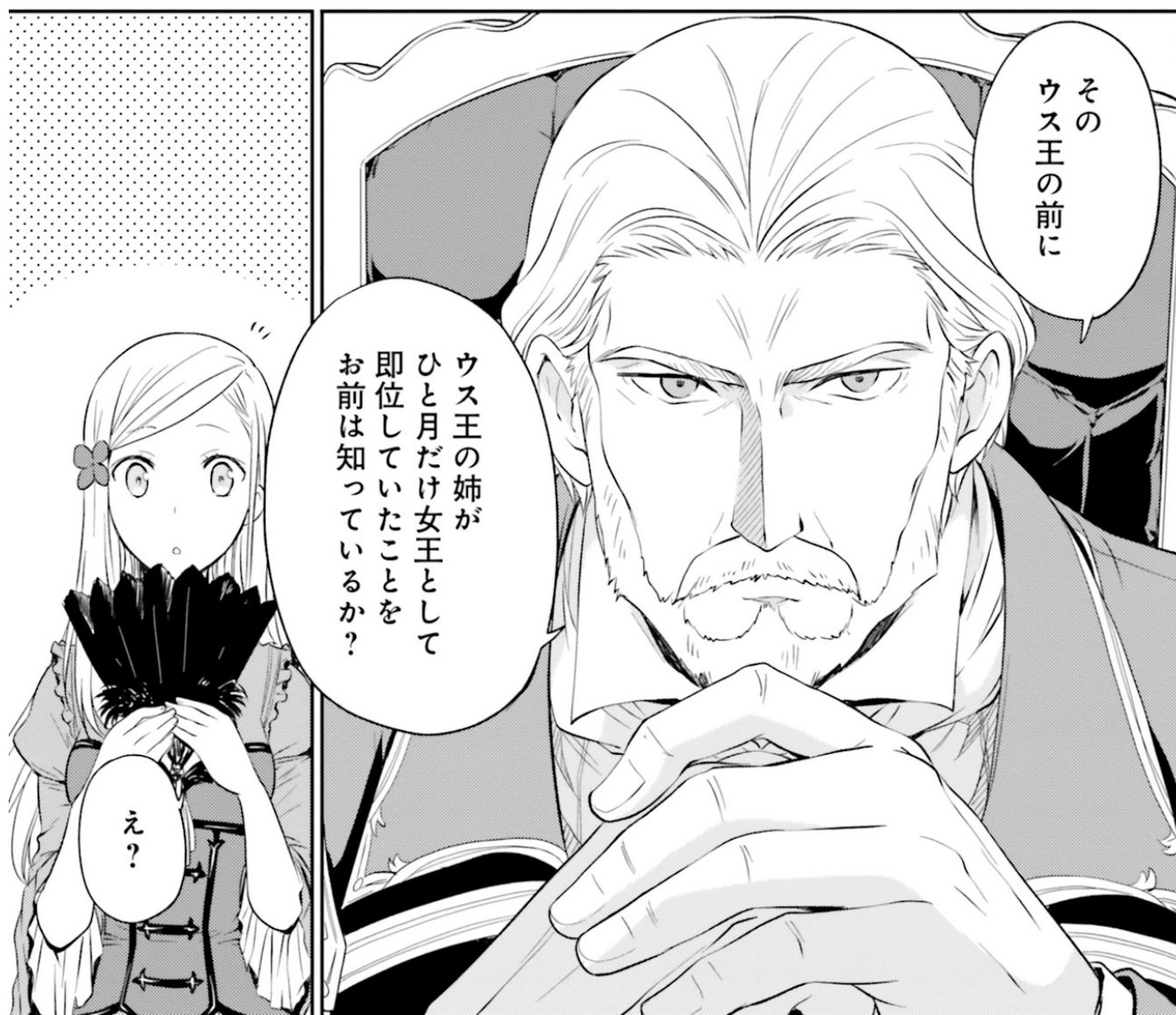
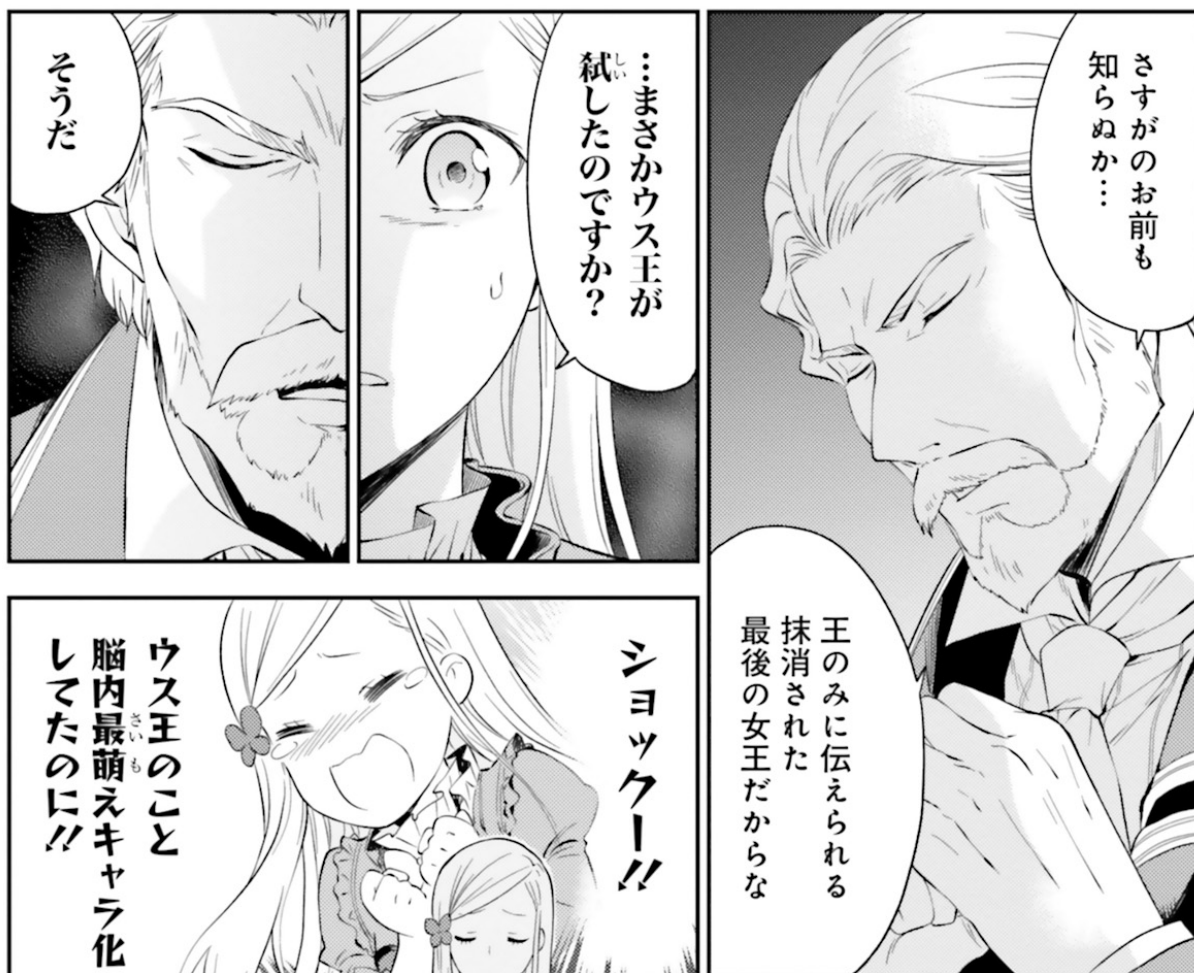
何がなんでも
政略結婚させる
つもりだとばかり…

よいしょして
ごまかそ
父上は名君と言われた
ウス王の再来と
謳われている方！
信用しておりますわ
ぴくっ
ウス王か…
その
ウス王の前に
ウス王の姉が
ひと月だけ
即位していたことを
女王として
お前は知っているか？
え？

おっかしいなー
初耳

BL小説を求めて
歴史書を読み漁った時
ウス王の伝記も読んだけど
姉なんてどこにも…

ウス王かっこいいー
男同士の熱い友情プライスレス
ひゃー

というかこの国って
女王いたんだ!
国王だけかと
思ってたよ

――だがウス王は心から姉を敬愛し即位を喜んでいた

これで忌まわしき過去の実例を打破できると

それまでにも女王の即位は三度あった

いずれも在位期間は短く国が荒れ…全員が非業の死を遂げた

その過去はウス王の姉により覆せるはずだった

天空神の怒りを買った
天空神…
空からのお告げよ
この世界の神様…
故に弑逆されたと王のみに伝えられている
神――
運が悪かったよね

運が悪かったよね

ダメ！
ダメだよ!!

それで君は死んだ

思い出しちゃ
ダメ!!

こんなクソ忌々しい記憶——

——て…

どうした
オクタヴィア

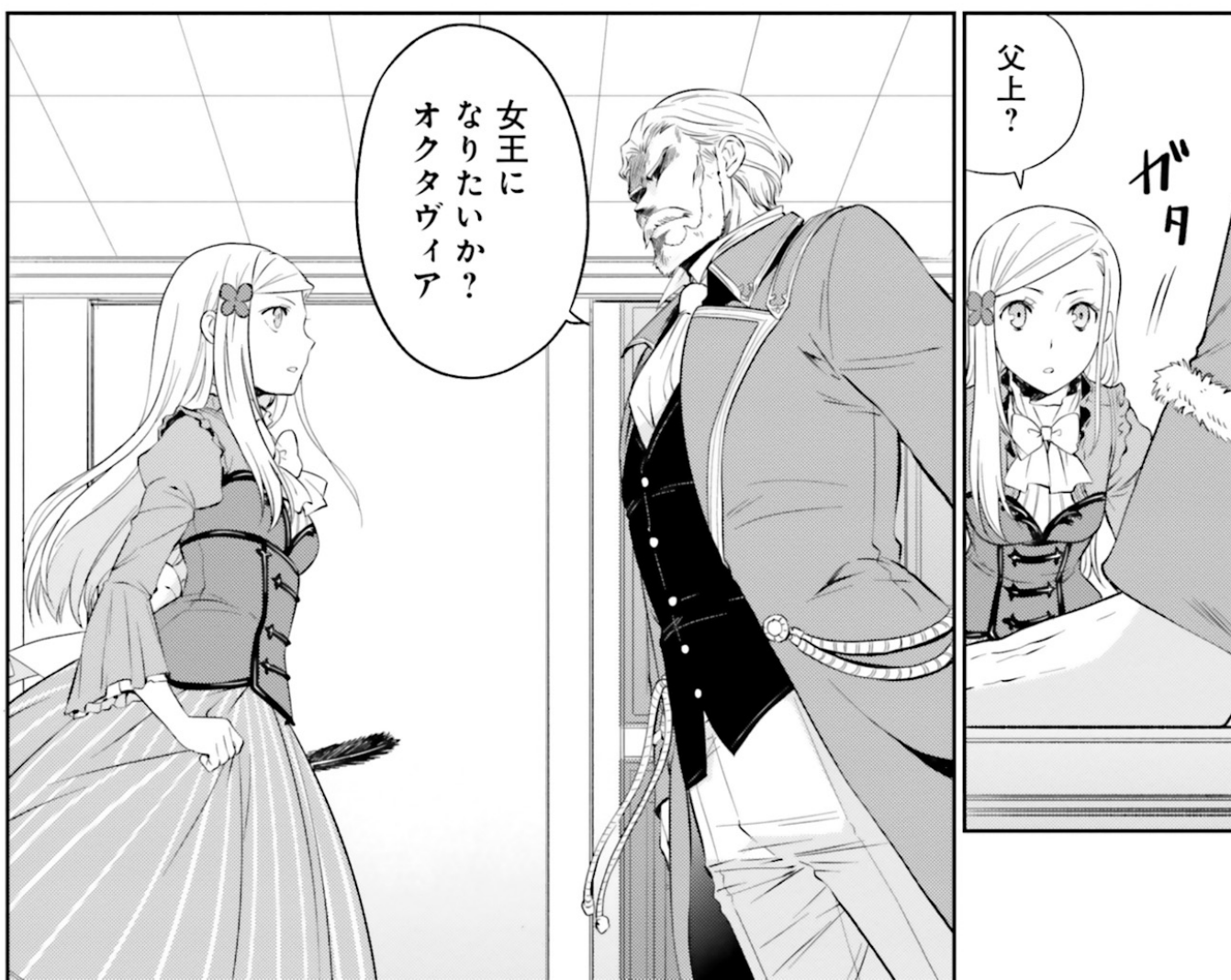
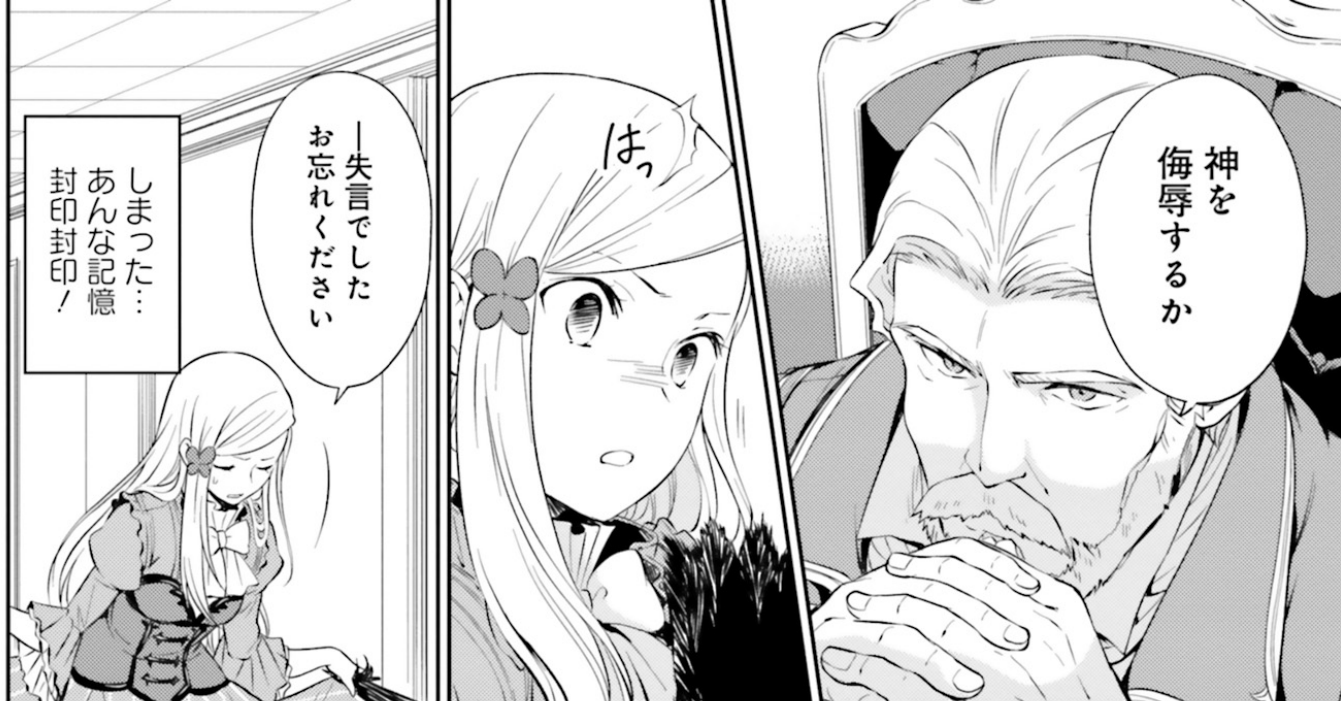
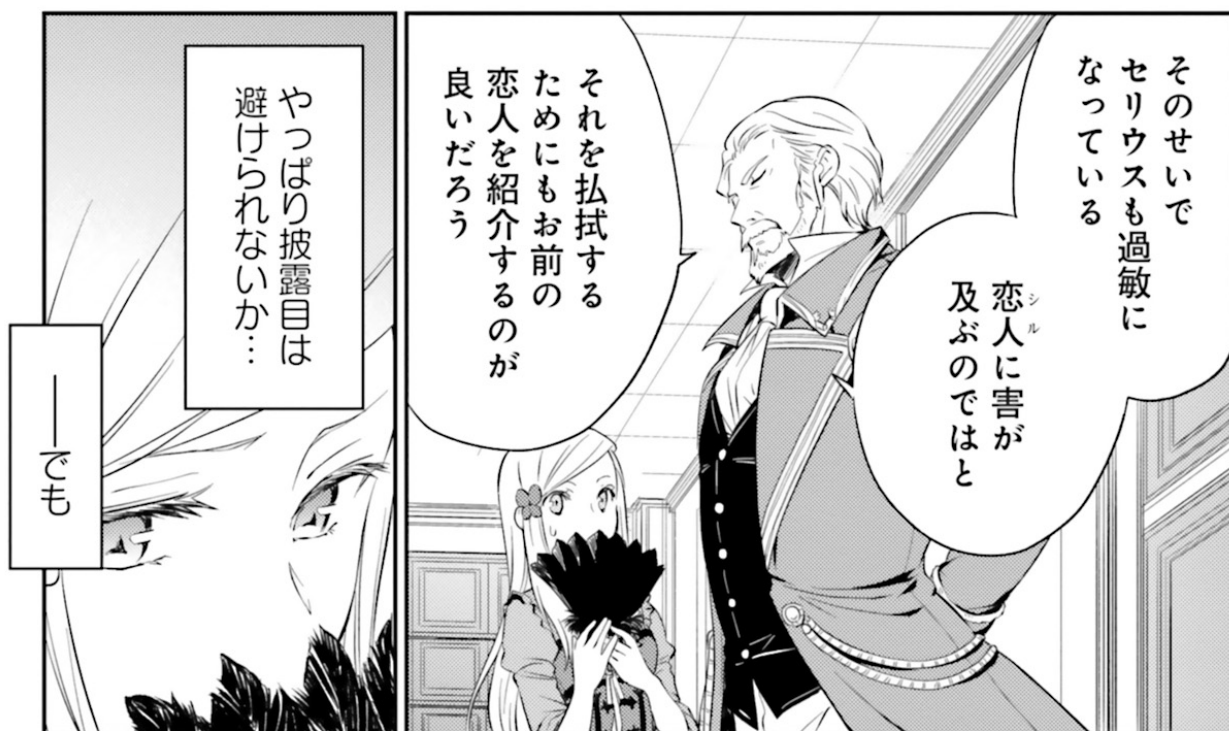
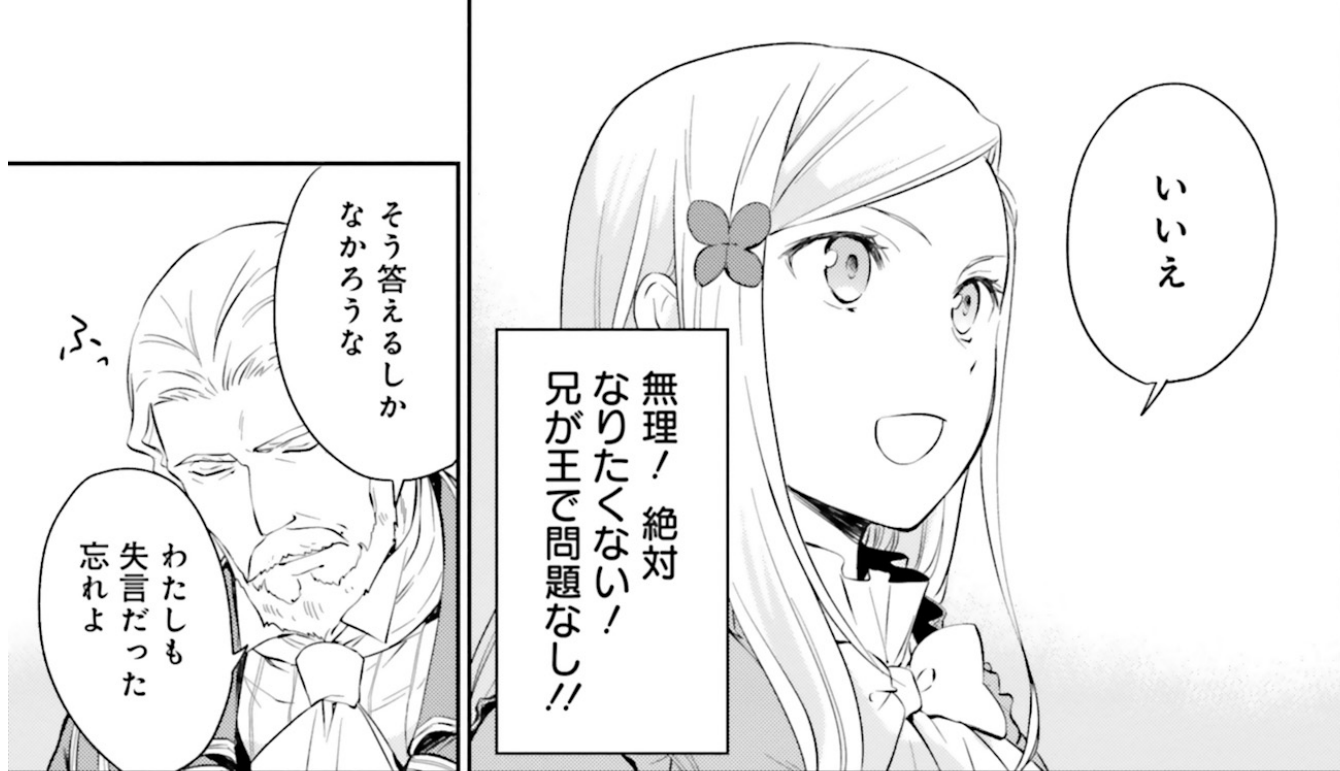
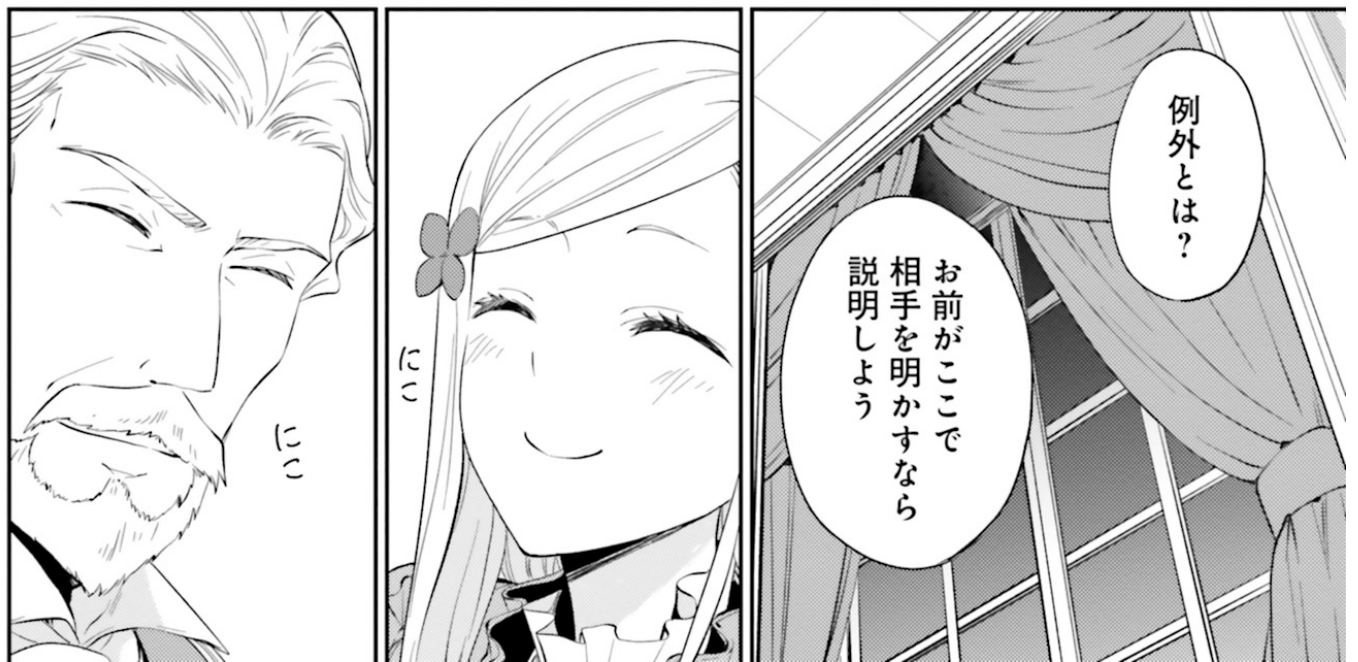
天空神が
正しいとは
限りませんわ!!

神を侮辱するか
はっ
—失言でしたお忘れください
しまった…あんな記憶封印封印！
…いやわたしはお前が羨ましい
わたしは屈したからな
ガタ
父上？
女王になりたいか？オクタヴィア

いいえ
無理！絶対なりたくない！兄が王で問題なし!!
そう答えるしかなかろうな
ふっ
わたしも失言だった忘れよ

だがお前が女王即位を狙っていると囁く声は多いぞ
なんですと!?
ば
えー待って!!ここに来てから新しい情報ばかりで頭が――

そのせいでセリウスも過敏になっている
恋人に害が及ぶのではと
それを払拭するためにもお前の恋人を紹介するのが良いだろう
やっぱり披露目は避けられないか…
――でも

父上は先ほど行動を制限しないとおっしゃいましたが
わたくしは望む殿方と添い遂げることが可能なのですか？
これが一番重要!!
相手を知らねば判断もできぬが
頭ごなしに否定はせぬ
例外はあるが
例外とは？
お前がここで相手を明かすなら説明しよう
にこ
にこ

兄上の提案通り二週間後に披露目の場を設けましょう

本当は一カ月欲しいけど

二週間で(偽装の)恋人をゲットしてみせる!!

…そうか
楽しみに
していいよう
最後に
なるが
レディントンから
準舞踏会の
招待状が届いて
いるぞ
レディントン
伯爵から？
彼女とは
親しい方だけど
舞踏会は苦手…
でも恋人探しの
ためには——…
はっ
出席名簿に
恋人候補(仮)の
ルスト・バーンが！
これこそ
チャンス♪
わたくし
準舞踏会に
出席いたし
ますわ!!

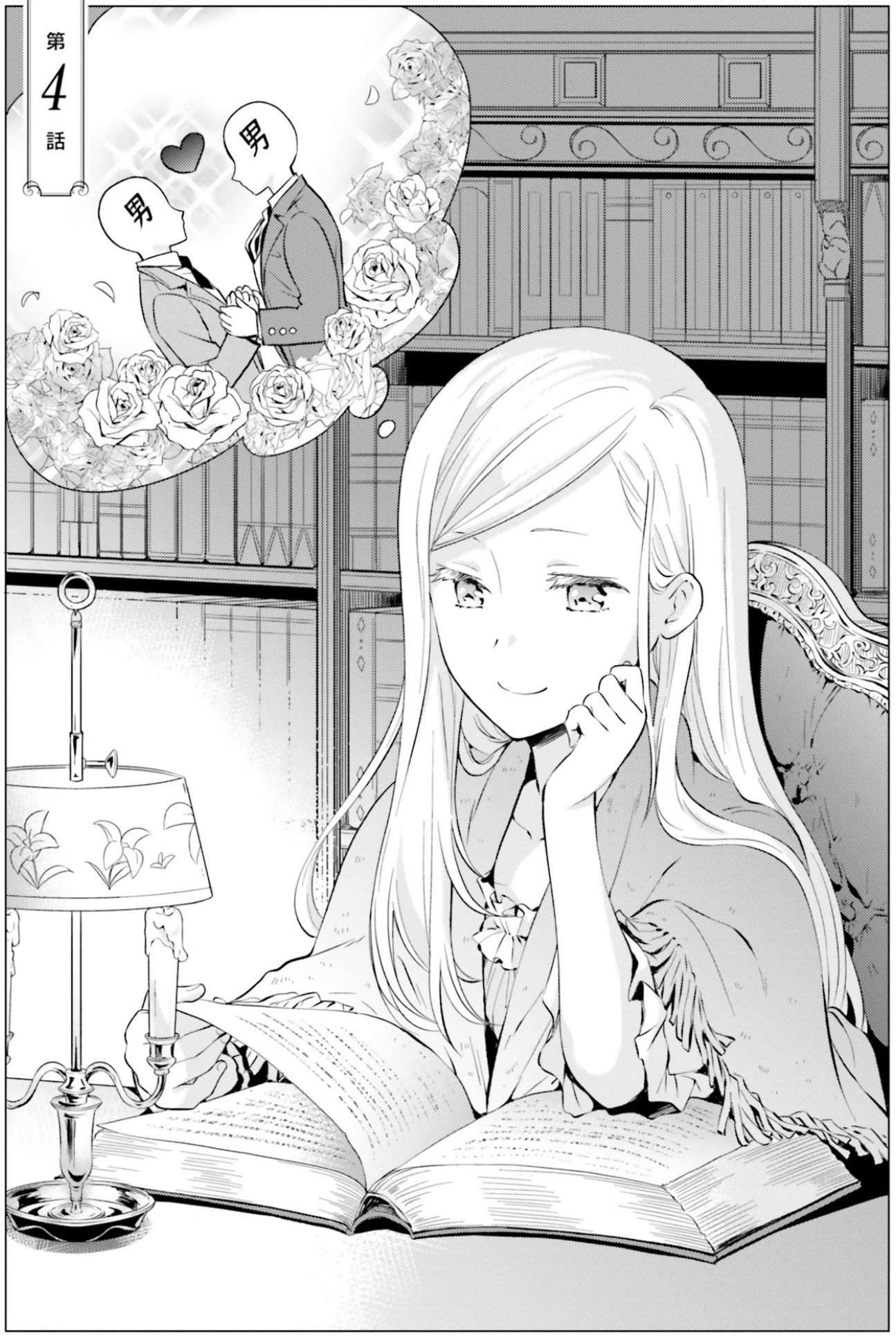
第4話
男
男

はっ
はっ

シル
はっ

夜道は物騒だ！
王城に泊まっていけ
館に帰るだけ
だから大丈夫だよ
セリウス

また明日
いつにも増して
過保護だな
セリウス

でも一応
おれだって
死ね！バークス!!
がはっ

それなりに
戦えるんだけどな
ぱん ぱん
パ4 パ4
ミ
見た目に反して
本当強いよな
お前
よっ
一言余計だよ
デレク
やっぱり
いたんだ
ああ
お前の愛しの
セリウスに守れって
言われてな
友だち使いの
荒いやつだよ
まったく

まぁ自力でなんとかするのがシルだな
さてこいつは――
ぐっ
…セリウスには内緒に…
できるわけないだろ？報告して尋問だ
…だよね

思うところはあるだろうが今日はセリウスのために王城に泊まってくれ

そうするよ

なー

遅かったな
待ってたぞ
悪い…
それで

犯人が吐いたのはまた
オクタヴィアの名か？

…残念
ながら

だが逆に
わざとらし
すぎて怪しい

シルを狙った犯人が
一様に首謀者は
オクタヴィア様だと
吐くなんて

そうか

どさっ

明らかな
作為が

——ただの
真実だと
したら？

は？

シルの命が
狙われているんだ…
少しでも疑いが
あるなら妹でも
除外すべきじゃない
それに
オクタヴィア
本人でなくとも
首謀者が例えば
その『恋人』だと
したら？

…『恋人』なのかも
定かではないが
ふっ
おいおい
そこからか？
お前にシルが
いるように
オクタヴィア様に
恋人がいても
おかしくないだろ？

だとすれば
オクタヴィアに恋人が
いるという噂が今まで
一切なかったのが妙だ
そりゃ聡明な方だ
完璧に隠し通して
いたんだろ
何らかの協力者を
『恋人』と呼んでいる
可能性もある
シルを狙う
ための って
言いたいのか？
ならなぜお前に
恋人がいるって
教えるんだ？
黙っていればいいのに

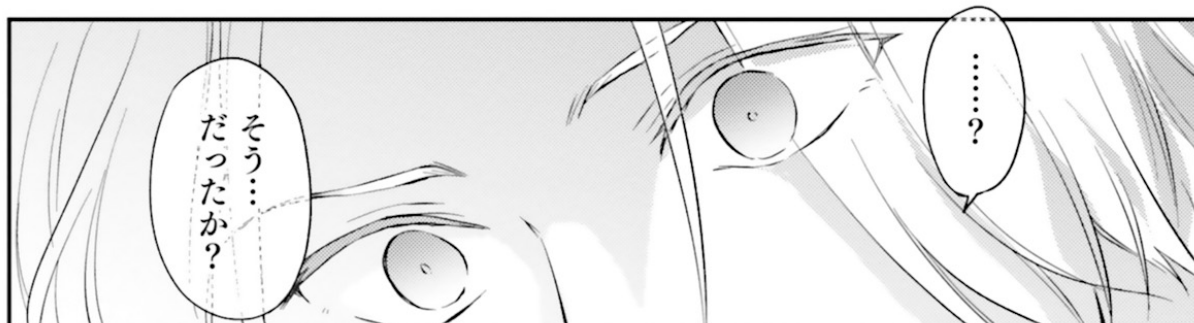
オクタヴィア流の宣戦布告かもしれない
…お前なぁそれは考えすぎだと思うね
おそらく名前を勝手に利用されてるだけだ
オクタヴィア様の名は出すだけでいい隠れ蓑になるからな
俺もそのやり口に惑わされているとでも言いたいのか？
シルとお前以外はオクタヴィアを警戒しているというのに
…お前がオクタヴィアを庇うのは
父親の…ナイトフェロー公爵のせいか？
たしかに父と姫様は親しいが

おれ自身はここ数年
オクタヴィア様と
ほとんど話した
こともない
むしろおれには
厳しい父があの方には
甘いのが気に入らなくて
いじめていたくらい
だっただろ？

……？
そう…
だったか？

ああ！
いじめていたのがバレて
父とお前に大目玉
くらったじゃないか
そのせいでおれは
長年 間接的に
オクタヴィア様
恐怖症…

…いじめ…
大目玉…？

…セリウス…お前
オクタヴィア様を
どう思ってる？
なんだ？
急に…
決まってる

昔から嫌いだよ
……
昔から…？
お前忘れてるのか？昔は冷たい態度のオクタヴィア様と何とか仲良くなろうとしてたじゃないか！
妹がかわいくて嫌がられても構ってただろ？
好きだったんだよ
──俺がオクタヴィアを好き…？

本当に
忘れてるのか？
じゃあ あれは？
おれが
オクタヴィア様を
わざと転ばせた時

お前激昂して
おれと殴り合いの
大喧嘩したじゃないか！
疑うなら
ケンカを止めた
おれの父に聞いて
みろ！

…冗談だろう？
俺が妹のために
激昂…？

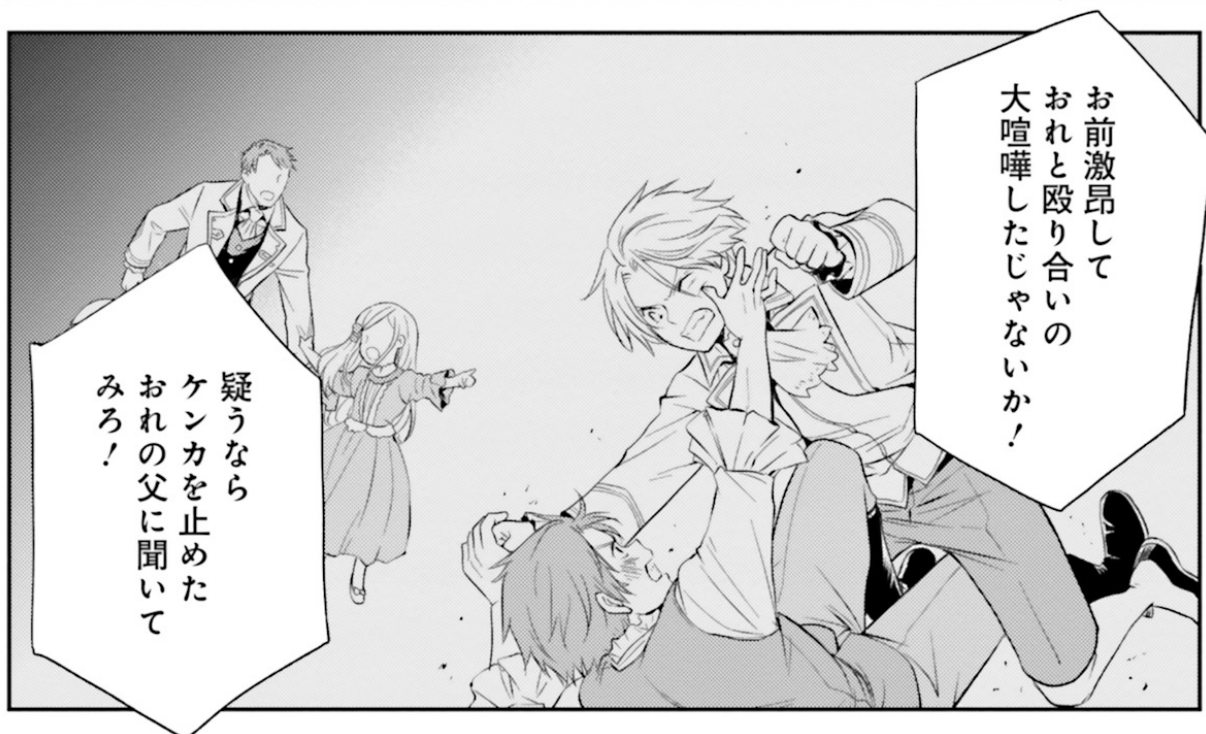
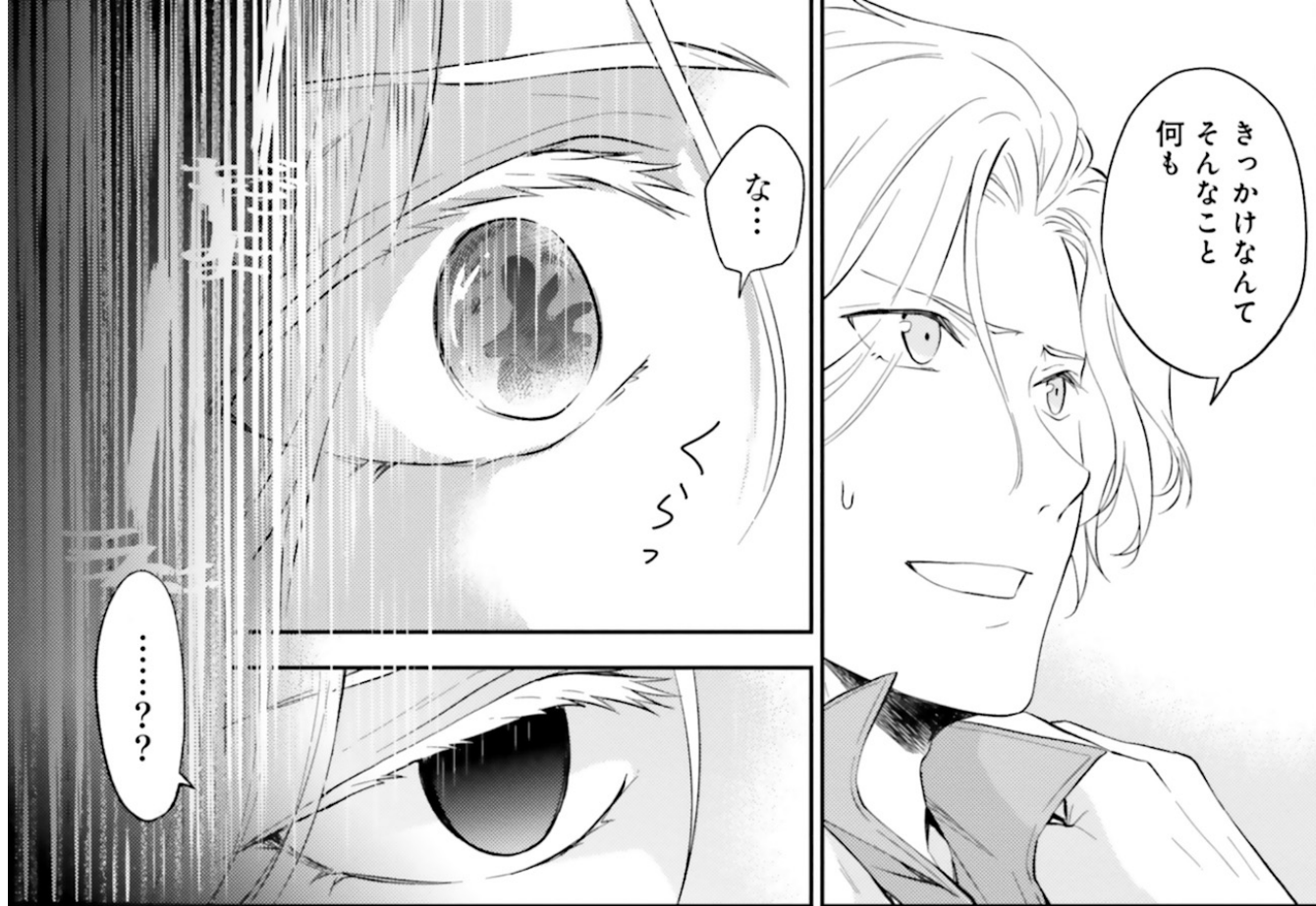
忘れたのは
いつからだ？
きっかけは!?

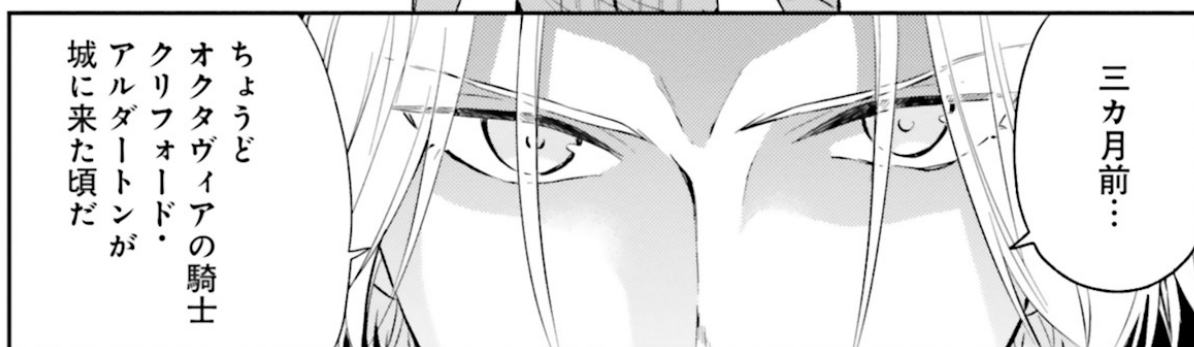
きっかけなんて
そんなこと
何も

な…
くらっ
……??

…いや
そんな記憶は
ないな
セリウス?

子供の頃の記憶なんて
曖昧になるものだろう
昔は妹と
仲良くなろうと
していたとしても
今は違うだけだ

いや
でも…
――そんな話より
今はシルの身の
安全についてだ

一年前のサザ神教との戦争中
指導者ナタニエルの死により
シルの命を狙う者は
いなくなったはずだった

ところが
三カ月前からまた
狙われだした

三カ月前…

ちょうど
オクタヴィアの騎士
クリフォード・
アルダートンが
城に来た頃だ

――味方だと？

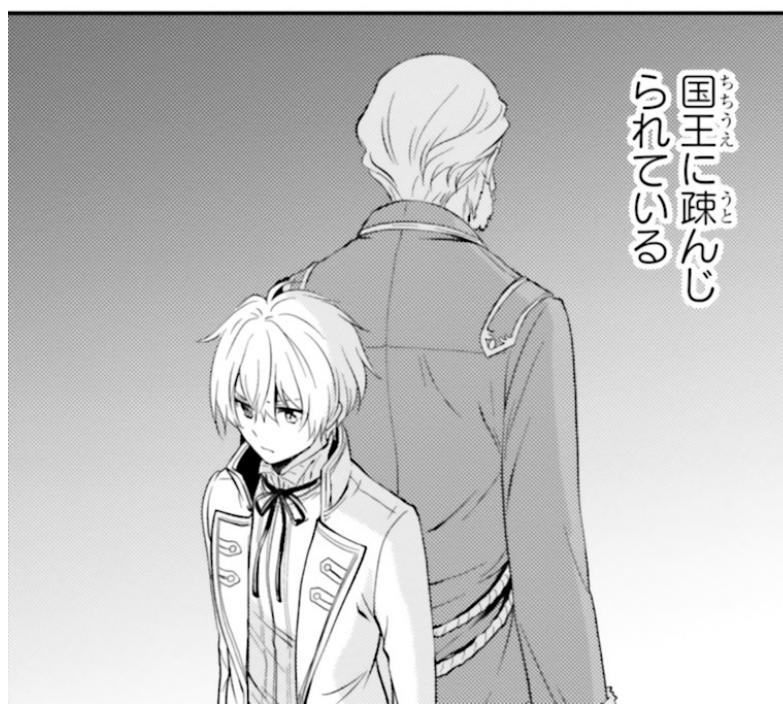
オンガルヌの使者が!?

オンガルヌの使者
我が王家に反逆し
シルを狙った指導者
ナタニエルを屠った男

なぜナタニエルが
シルの命を狙ったのか
理由を問い質すことは
もはや叶わない
しかしシルはもう
狙われることは
ないと思っていた

だがまた
何者かがシルを…
それがオクタヴィアで
ないと言えるのか？

三カ月どころか
もっと前から
オンガルヌの使者と
繋がっていたとしたら
ナタニエル殺害にも
別の意味が見えて
くるのでは？
例えば…

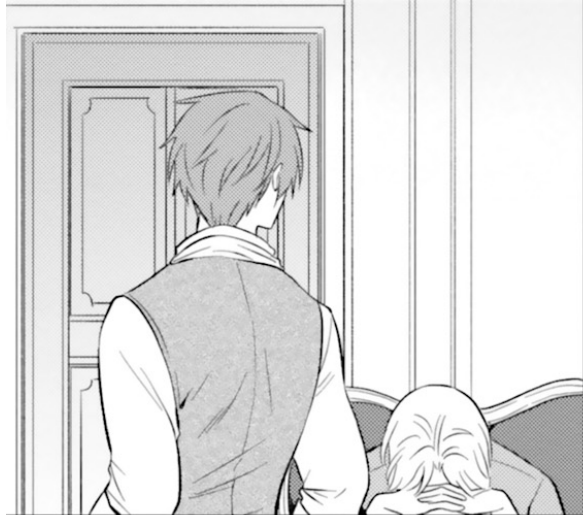
俺の死による
女王即位

アレクシスは策略によって
父上と公爵家の姫との間に
一夜の過ちでできた子

妹
姉
公爵家の姫
従姉弟
従兄弟

伴侶のエドガー様を
愛する父は
アレクシスを王にする
つもりはないだろう

つまり
継承権第一位の
俺が死亡すれば
オクタヴィアが
女王に即位する

だが　あの妹が
直接俺を狙うなどと
わかりやすい手段を
とるはずがない

だから弱点(シル)を
狙ってきた

弱点(シル)を喪(うしな)えば
俺もまた死んだも
同然だ
俺自身を殺す
までもない…
狙いは正しい……!

くしゃ
セリウス

オクタヴィア様の
おかげでシルが
助かったことが
何度もあるだろう?
これも忘れた
とか言わない
よな!?
──忘れては
いない

妹の助言のおかげで
シルに敵意を持つ者を
あぶり出すことも
できた
だったら
…

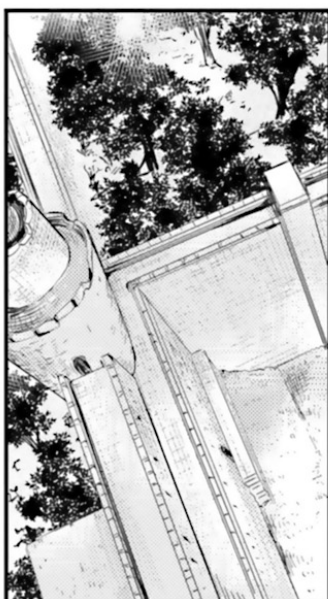
だがその情報は恐ろしいほど正鵠を得ていた

まるであらかじめ物語が出来上がっているかのように…

ぐっ

それでふたりの結婚を後押しし

オクタヴィア様が産んだ子は取り上げるつもりか？

お前も世継ぎについて小言か？
そんなことは考えていないが
——が？
…それが…できるなら…
セリウス…
お前本当に…
忘れているんだな…
肯定するとは思わなかった

翌朝
オクタヴィアが十三日後に
恋人の披露目の場を
設けることになったと
知らされた
アレクシス様ー
アレクシス様ー
どこへーー？
ふぅ…
…十三日後に
姉上の恋人が…
ハッ
!?

『偶然』だな
アレクシス
丁度よい

王としてお前に
密旨(みっし)を下す

♩ ♪
舞踏会行くなら
準備しないとね！

第
5
話

今の流行ですよ
わい
いえいえ！流行より殿下の好みを優先したこちらが良いかと！
わい
わい
わい
どちらも良いわね！迷うわ

きゃっ
殿下が準舞踏会に乗り気なのは珍しいですね
よい事ですわ
きゃっ
今回は特別なものになりそうなの
ふっ
…宝（オクタヴィア）を壊すつもりではあるまいな

オンガルヌ
おっしゃる意味がわかりかねますが
宝が壊れれば閉塞した我が王家に変化が訪れるやもしれぬ…だが
わたしは望まぬ命令だ…聞け
王は伴侶に同性を選び王統を存続させる役割は宝…王女が負う
なんとも歪な国だ
命令も何も私は護衛の騎士に就任したばかりです
笑わせるな
選ばれはしたが
望んでいたわけではなかろう？

どうでしょうか…
オクタヴィア殿下次第
だと申し上げます
まさか『主（しゅ）』を再び
得ることになるとは…
それも自分の意志で

…

アルダートン様
殿下がお呼びです
どうぞ
中へ

わざわざ悪いわねクリフォード

あなたに頼みたいことがあるのよ

殿方の意見も訊きたいの
どちらがいいかしら？
教えてクリフォード！どっちのドレスの方が…
彼氏ができそうか!!
もう恋人をお披露目する日決まっちゃったし
もてもて
準舞踏会中に彼氏㈵を作りたい！
ルストの弟のエレイルからの手紙で兄に会いたいなら準舞踏会で…とも書いてあったし
エレイル
少しでもルストに好印象を与えないと！
第一印象が勝負!!

さぁ！
(異性(ルスト)に受けそうな)ドレスを選んでちょうだい!!

ほろり
殿下がここまで信用なさる護衛の騎士を得られて…
わたし安心しました
はい

ほぅ…

……
…そうですね

殿下はいつもの扇を準舞踏会でもお使いになりますか？
え？

ええ
すっ

もちろんよ

特注の一点物で
舞踏会で使っても
恥じない一品です！

…まだ社交の場では
使ったことないけどね

最近まで
小説のオクタヴィアと
同じ白い扇を
使ってたんだけど

これが重いし
匂いがきつい

このふわふわな
癒しは手放せ
ません!!
ほわ
ほわ
……

どちらのドレスも
素晴らしいと
思います
しかし…

僭越ながら私が
三着目をお選び
してもよろしい
でしょうか？
クリフォード
が？

はい

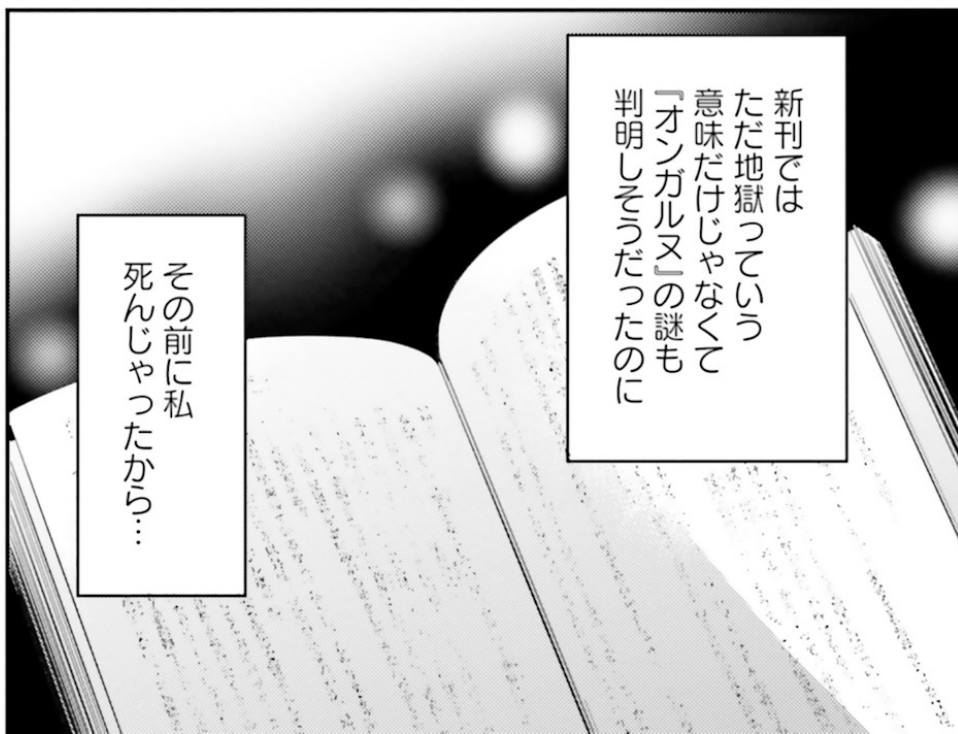
こ…この
クリフォードが
ドレスを…？
うず
うず
見て
みたい!!

いいわ！
選んでみて！
——は

シャッ
…
アルダートン様
着替え終わりました
すごく…
いいかも!!
ドキドキ
いかがでしょうか?

その扇の羽根のレヴ鳥はサザ神教における地獄を司る女神の使い魔に似ていると言われ

不吉な鳥と忌み嫌われています

そのため貴族で黒い扇を使われる者はおらず殿下お一人
民はそんな殿下への畏敬の念を込め『黒扇の姫』と
私にそんな中二病なあだ名が!?
ひぃいいい
いやぁああ恥ずかしいぃ～
だからあの時商人さんどん引きしてたのかー!!
え～
常識なの!?王女教育で習ってないよ!?
サザ神教の地獄が『オンガルヌ』と呼ばれているのは習ったけど!
…『オンガルヌ』って原作小説『高潔の王』の『ターヘン編』に出てくるキーワードなんだよね
新刊ではただ地獄っていう意味だけじゃなくて『オンガルヌ』の謎も判明しそうだったのに
その前に私死んじゃったから…
殿下

今回は黒扇を控えられては？
王城なら安全ですが外で使用してもし不幸が…
心配ありがとうマチルダ
けれどわたくしは『黒扇の姫』なのでしょう？
『黒扇』を持って登場することこそ期待されているのではないかしら
というのは建前で——
ふわ～ふわ
愛憎陰謀うずまく準舞踏会～（主に男同士で）～
この扇のふわふわな癒しがないと準舞踏会という魔窟から生還できる気がしないの!!
扇を捨てるより中二病的あだ名を私はとる!!
…それに
そういう危険から守るために護衛の騎士がいるのでしょう？

はい
『黒扇』を持つ殿下であればこそ私がお守りするにふさわしいかと
黒扇こそ…？
はっ
クリフォードもレヴ鳥の扇を気に入ってくれてる!?
わかる人には良さがわかるんだよね！
そこまで言ってくれるならレヴ鳥の羽根をあなたに下賜しようかしら

殿下からの
贈り物なら
喜んで

レヴ鳥の
羽根仲間
ゲット!!

やったね!!

黒扇が『武器』である殿下から私の『武器』への贈り物を頂けるのは光栄です
え？

扇が私の武器…

ご気分を害されましたか？
いいえ

ばさっ
その通りだわクリフォード！

…杞憂でございましたね
このように殿下が信用なさる騎士様がいらっしゃるのなら安心です
ドレスとてもお似合いですわ
はい！
ふたりともありがとう

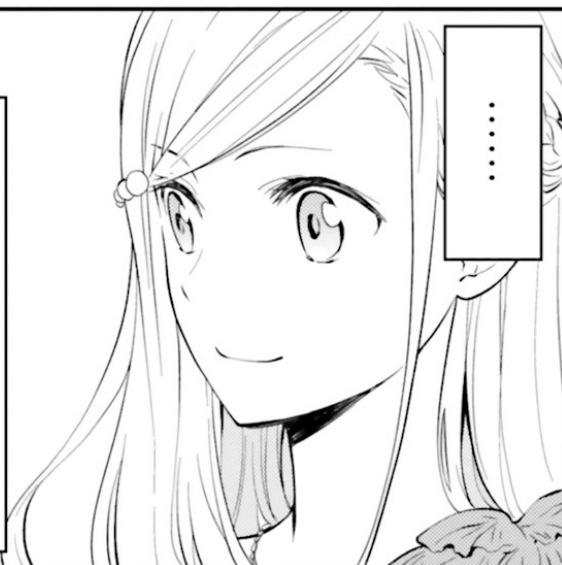
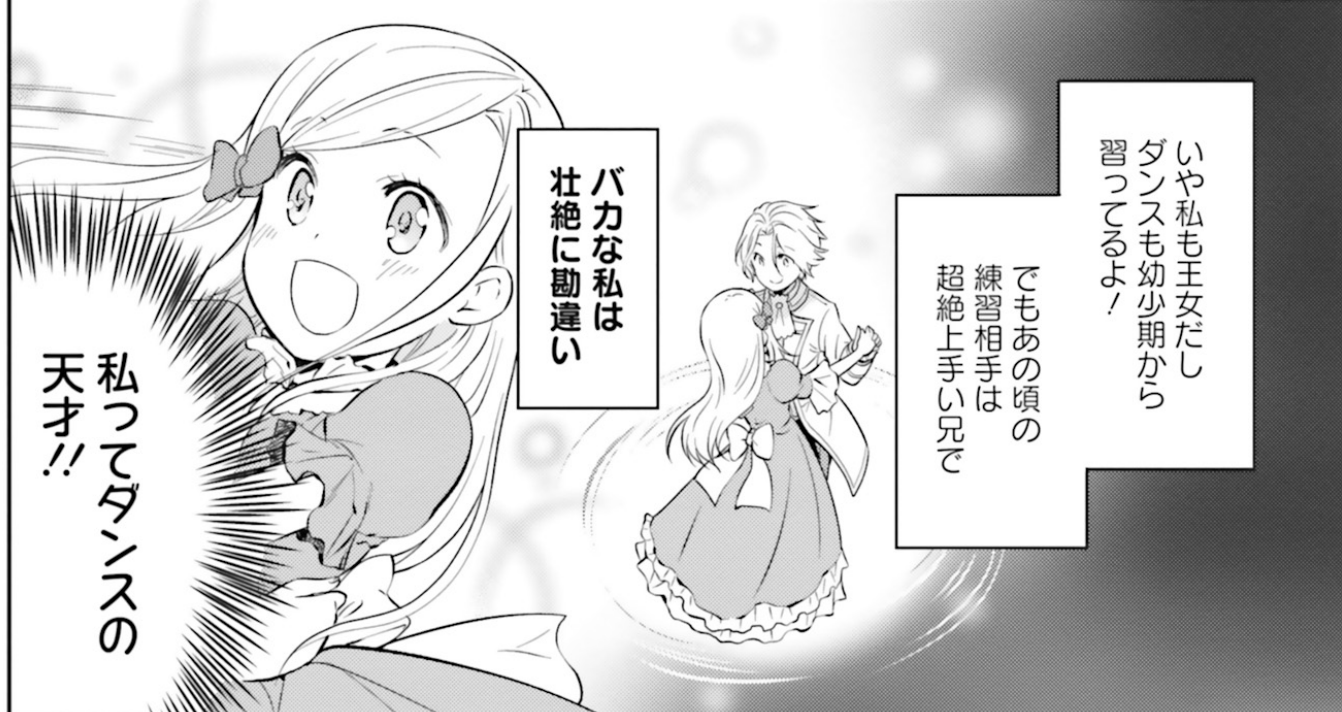
でも本当に素敵

これで明日の準舞踏会はバッチリ！

靴も踵の低いものにしたし

これならダンスで足を駆使しても疲れず安心…

……

………ダンス？

ダンスの存在忘れてたーー!!!

舞踏会のメイン

悲惨な結果に…

ガッ

べちゃ

後悔した私は
のちに商人の息子宛に
「ごめんなさい」の手紙を
書いた

返事は
こなかった…

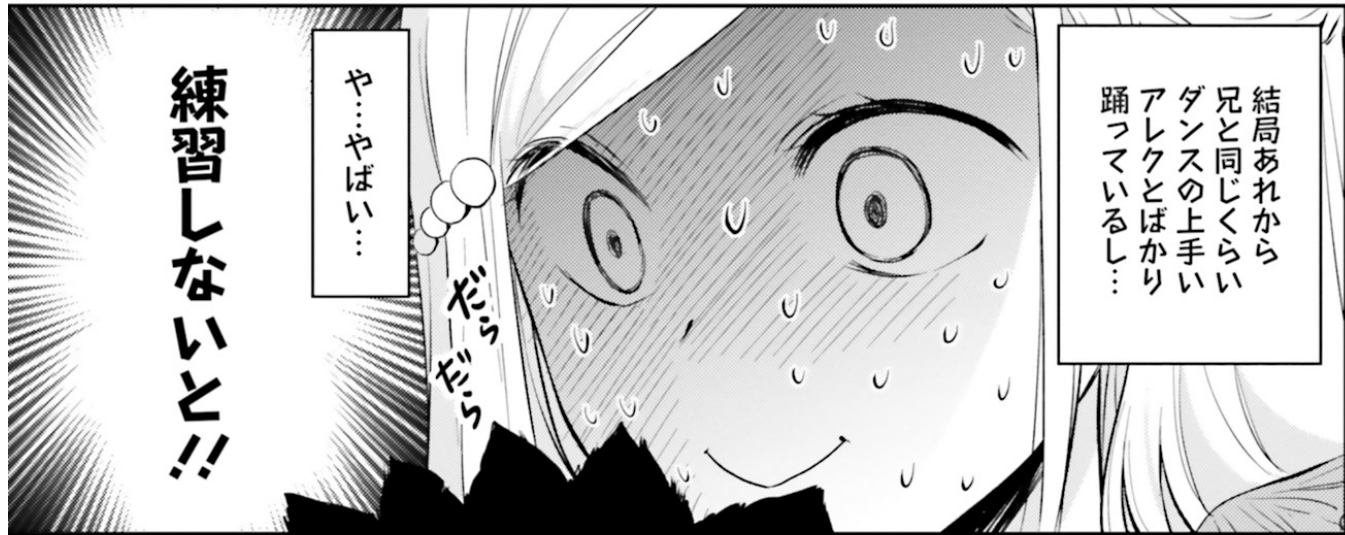
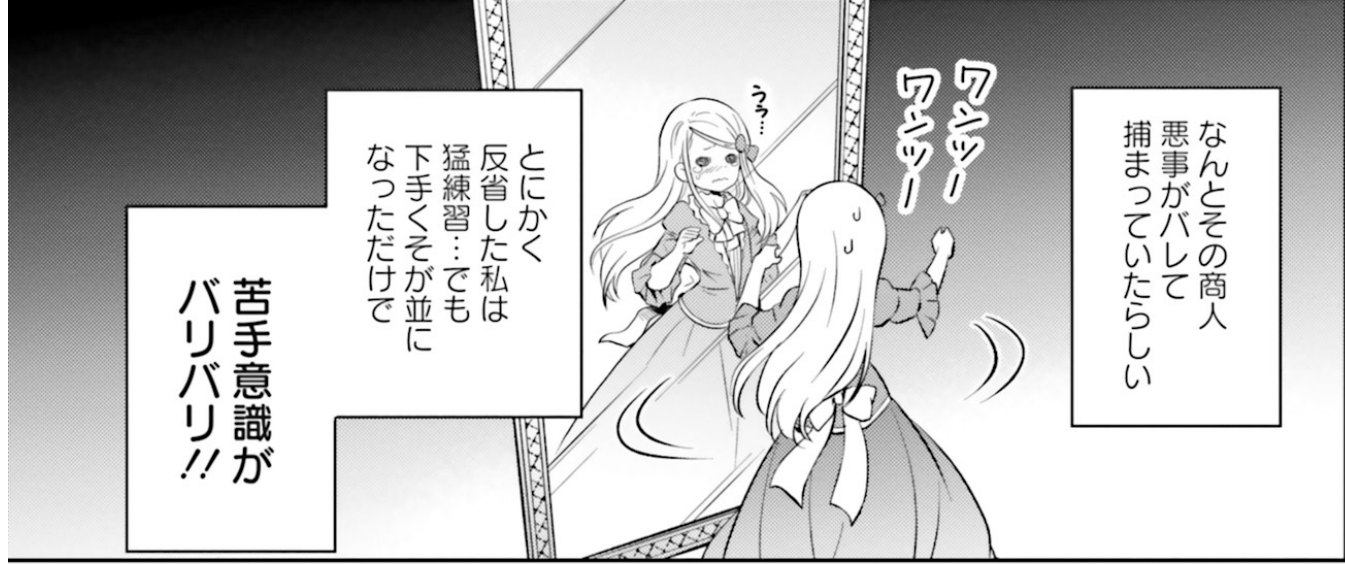
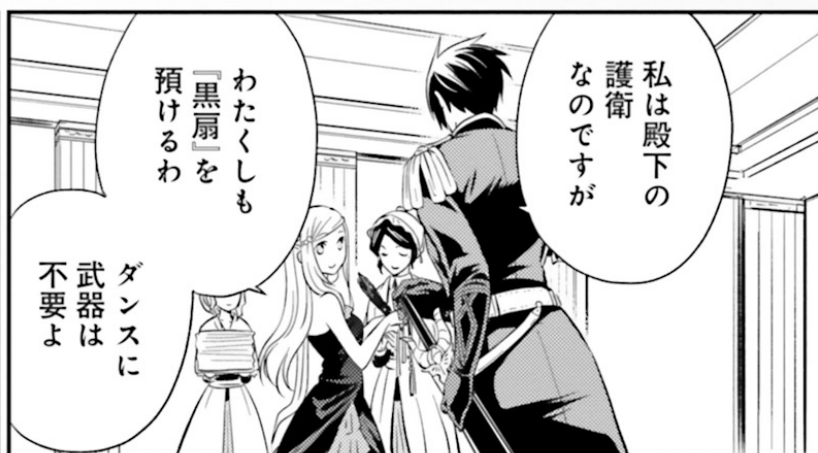
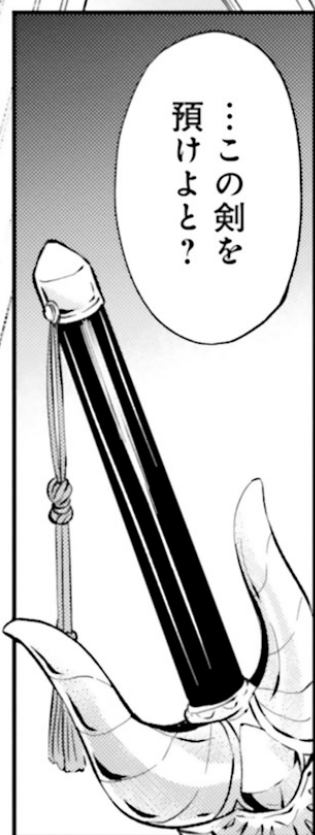
なんとその商人悪事がバレて捕まっていたらしい
ワンッーワンッー
うう…
とにかく反省した私は猛練習…でも下手くそが並になっただけで
苦手意識がバリバリ!!

結局あれから兄と同じくらいダンスの上手いアレクとばかり踊っているし…
や…やばい…
だらだら
練習しないと!!

アルダートン様殿下のこのお姿へのご感想は――
クリフォード

あなたダンスはできて?
――は…嗜み程度ですが…

合格!!
練習につきあってちょうだい!

…この剣を預けよと？
私は殿下の護衛なのですが
わたくしも『黒扇』を預けるわ
ダンスに武器は不要よ
今この場にいるのは４人
一番危険なのは剣を持つあなたではなくて？
…殿下のおっしゃる通りですね
ガチャ
…ぐ…

あら？
落ち着かない顔
なんか新鮮
武器がないと
不安かしら

手放している
時間の方が
短いもので
少しの間よ

殿下ー
音楽を
流しますよー

では
!?

タン
タタン
踊れてる！
大丈夫そう！

びくっ
あ
ぼっ
かか顔が近い近い!!
殿下？
ダンス中だし当たり前だけど！

いっ意識しちゃダメ！
経験上 護衛の騎士は
100％他の男のものに

あなたのことを
考えていたのよ

ぎゃ――!!
言葉
間違えた!!

私の
ことを？

えっとえっと

父上…陛下が
あなたを気にする
理由について

以前も陛下と
話したことが
あるのでしょう？

よし！
辻褄合った！

殿下の護衛に
就任する際に
少し…

殿下を心配
なさっていた
ようです

父上が
わたくしを？

私のような者を
選んだからでは？

陛下は殿下を
愛しておられ
ますから

父上が私を
愛している…？

家族とはいえ
直接 血は繋がらず
ほとんど交流のない
私たちに親子愛が?
気遣いは
いらないわ
クリフォード
レっ
気遣い
…ですか
笑うところ
かしら?
私に縁遠い
言葉をお使いに
なられたので…
…殿下
『従』は『主』に
嘘をつきません
そう
なのね…
じゃあ本当に
父上が…

そういえばわたくし
『主』らしいことを
何もしていないわ
何をしたら
いいかしら

そうですね…
では

『主』として私に
ご命令を

命令!?
え?
ええと…
要望のつもりで
聞いたのに
変化球がきた!
…何もご命令
くださらない?
ワゥ〜ン
え!? 何その眼差し!
幻が見えるんだけど!
ギャップ萌え!?
きゅん♡

もしわたくしが涙を流すようなことがあれば

周囲に知られないよう隠して欲しいわ

今後 兄絡み もしくは恋人探しで 悔し涙を流す場面が あるする気がするから！
ははは
やはり恋人など いなかったか
こんなかんじの
ははふっ
ええいいいい
私は一人で 閉じこもって号泣 したい派なので

もし他人のいる場で そーいうことになったら フォローよろしくね！
ふっ
殿下は予想を 裏切る方ですね
『主』が『従』に 与えるにしては ずいぶん可愛らしい

約束して くれるの？
約束など 不要です 我が『主』
お隠しします
それが命令 なのでしょう？
ええ… 命令よ

ガッ
クリフォード!?
殿下
私の後ろに
バタン
!?
失礼します!
アレクシス殿下より
言づけを――
びくぅ
ひいっっっ
オっつ

お？
なな何でもありません!!
あら あなた鍛練場でアレクの相手をしていた…
アレクから何の用？
は！実は…
陛下がアレクシス殿下に密旨を下されました
本日の出立は全ての者に秘密…ですが
アレクシス殿下はオクタヴィア殿下にのみ伝えたいと
！
はっ
はっ

アレクー!!

ランダルを残し他の者は行け!

しかし殿下

行け!命令だ!!

姉上！
お呼びして申し訳
ありません
いいえ！
出発前に会えて
よかったわ！

いつもと雰囲気の
違うドレスですね
とてもお似合いです
ありがとう
嬉しいわ！

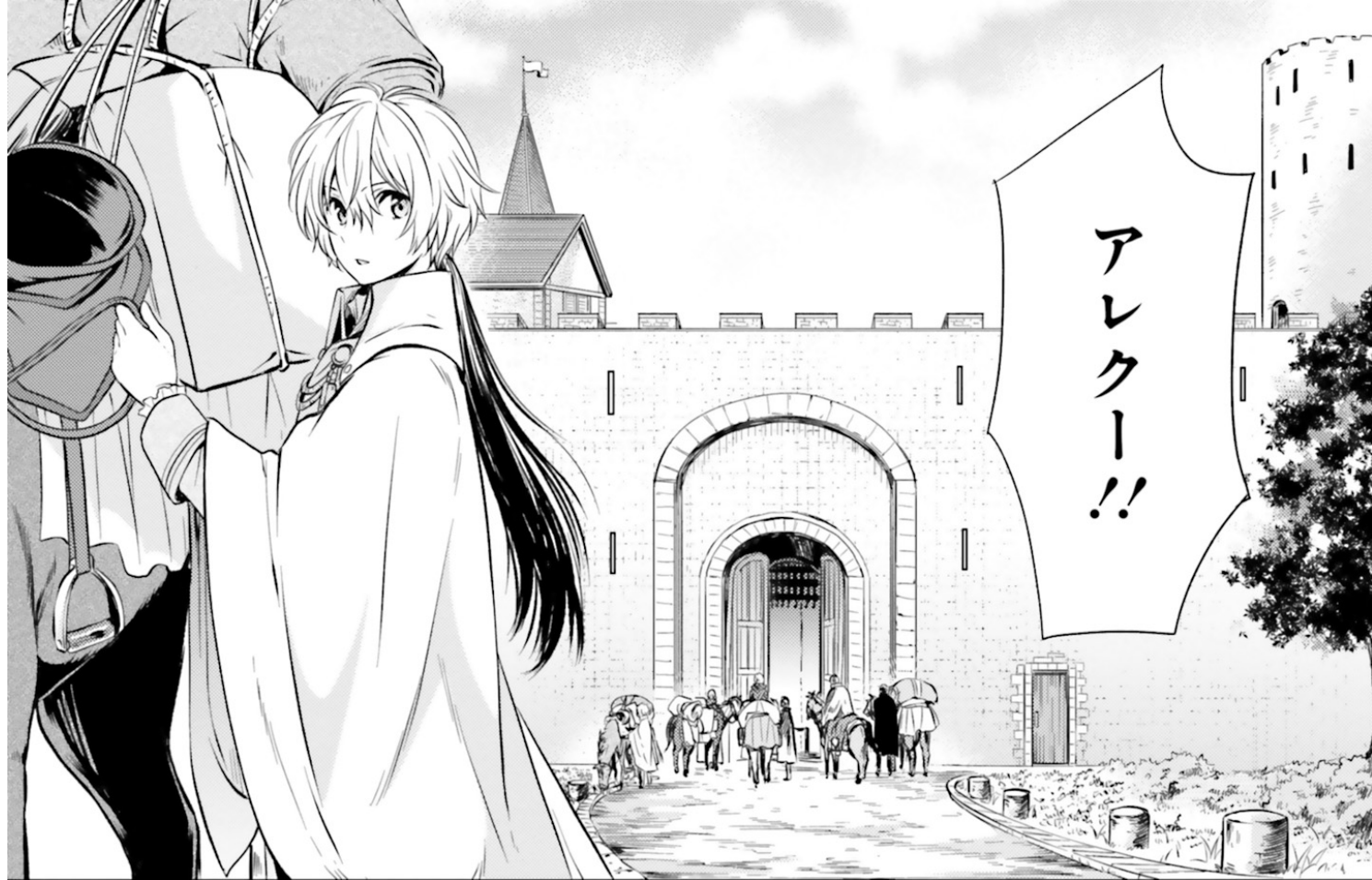
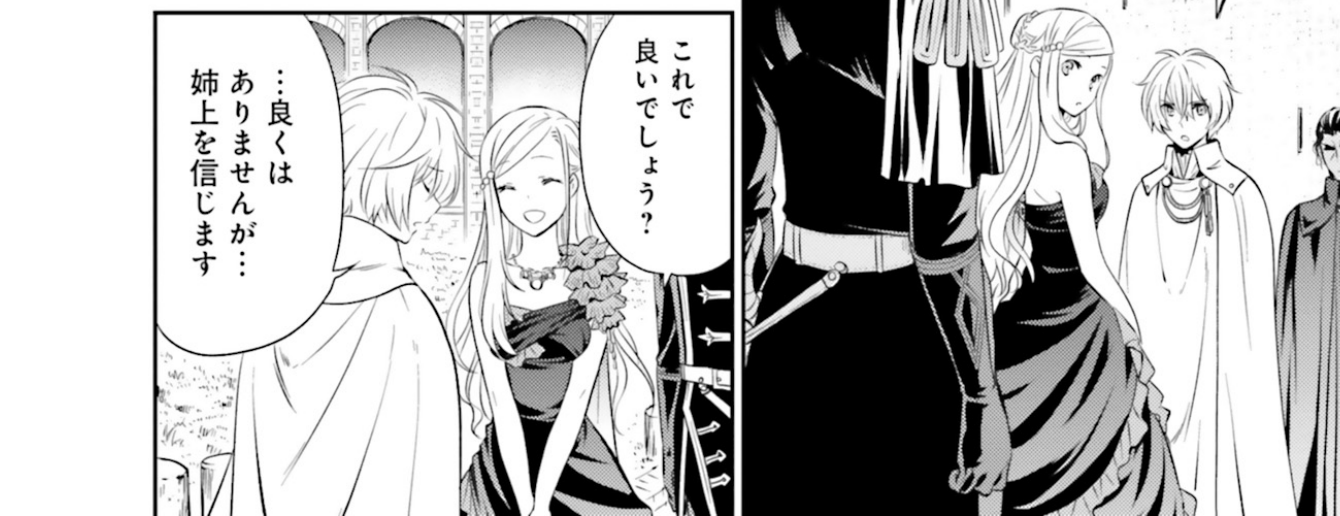
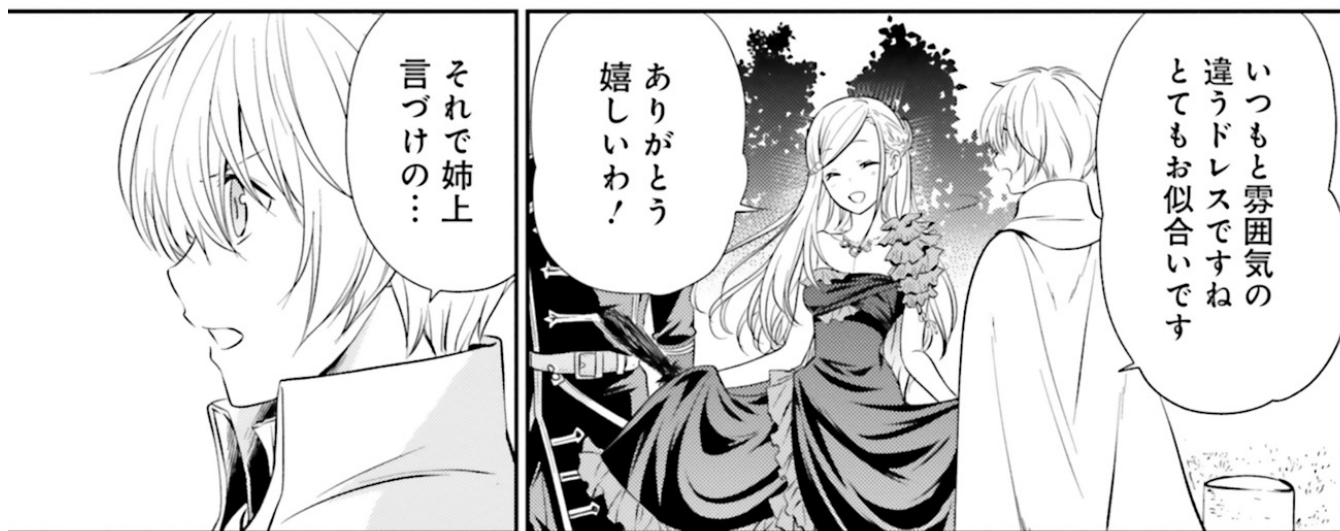
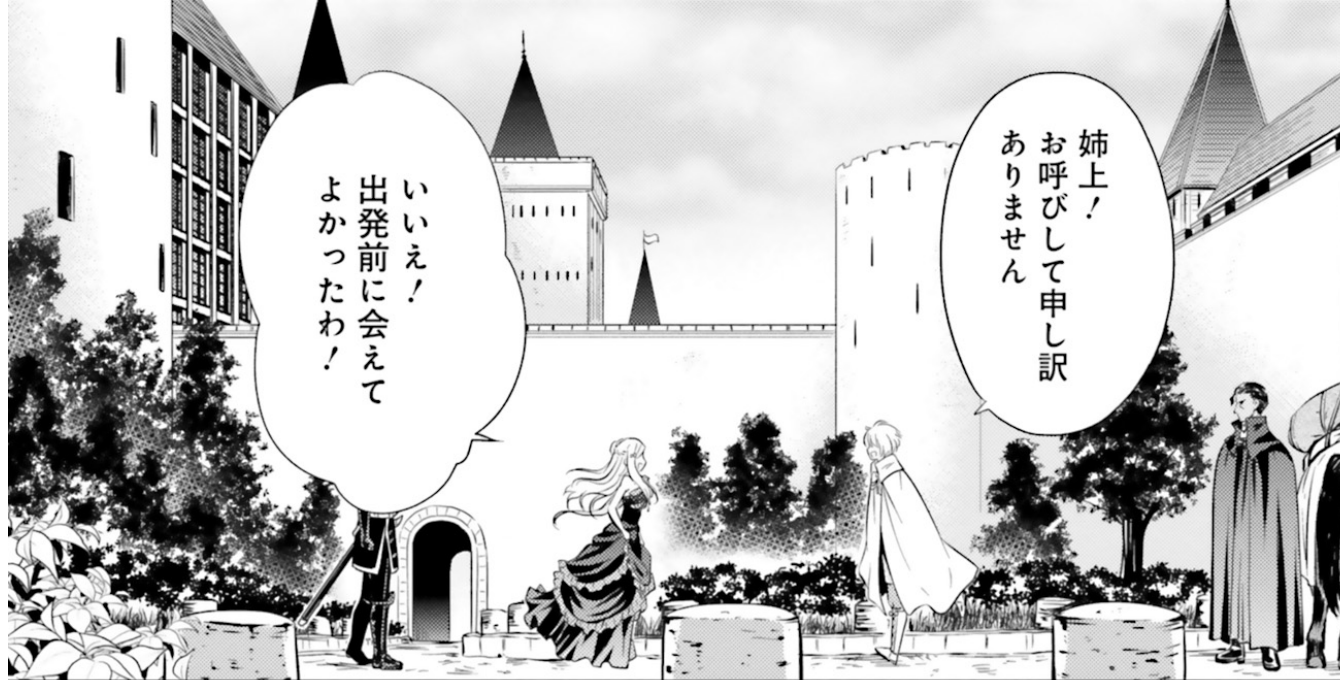
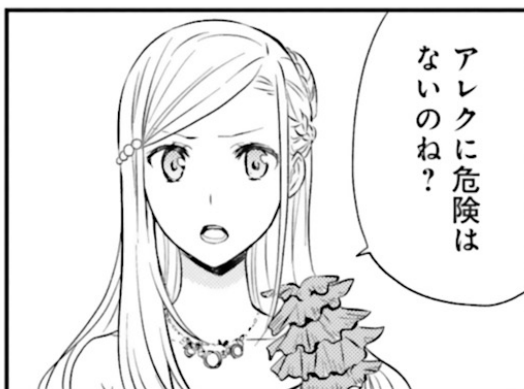
それで姉上
言づけの…

まずその者を
下がらせては
くれませんか？

この場で
見聞きしたことは
他言無用よ
は

これで
良いでしょう？
…良くは
ありませんが…
姉上を信じます

十日ほど城を離れます

表向きは体調を崩し城内で療養という形になります

どこへ向かうかは姉上にもお教えできません

そう…

なんか怪しい臭いがプンプンするけど…

内容なんてどうでもいいわ

今話したいことはあるかしら？
…ひとつだけ
姉上は…故キルグレン公に
お会いしたことはありますか？

キルグレン？
父上の叔父の？
ないわ？
なぜ？
…父上が私をキルグレンと…
いえ！たぶん考えすぎですね！
ぱ
そろそろ行きます
そう？
ではわたくしから旅立の祝福をさせて
私からも
ちゅっ
日本人的感覚だと少し恥ずかしいけどね

バチィ

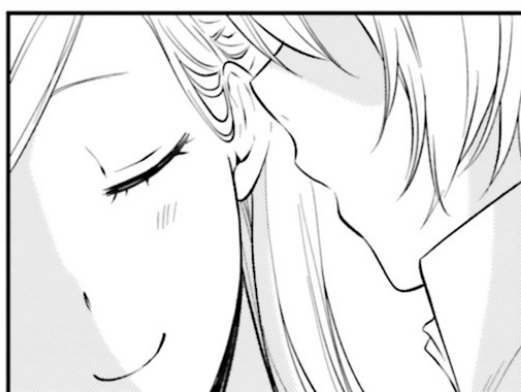
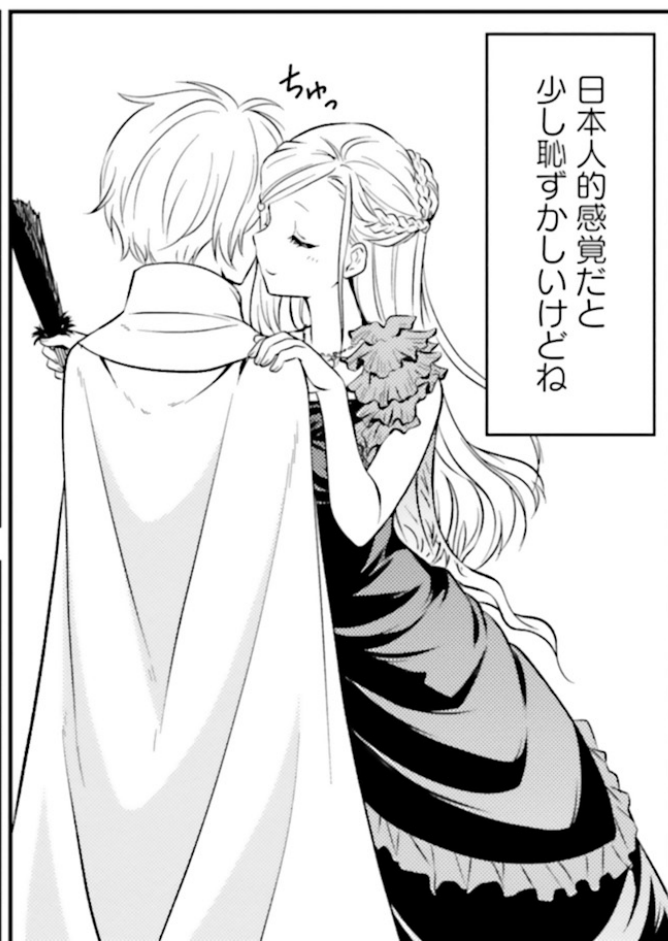
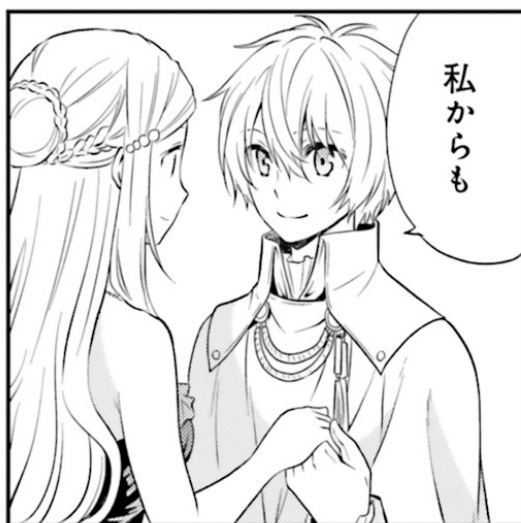
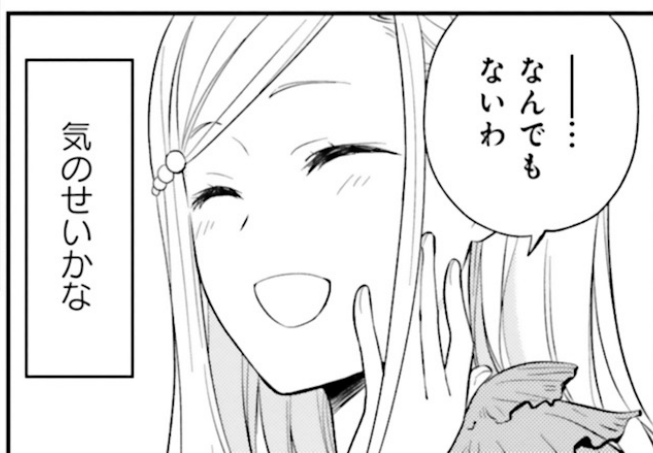
!?

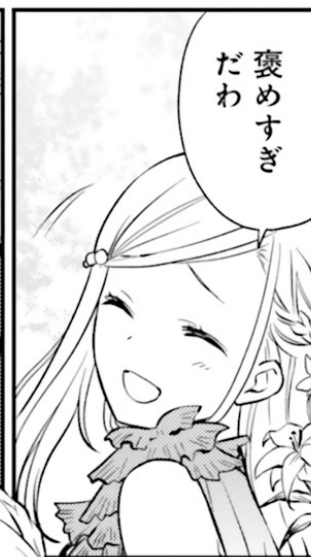
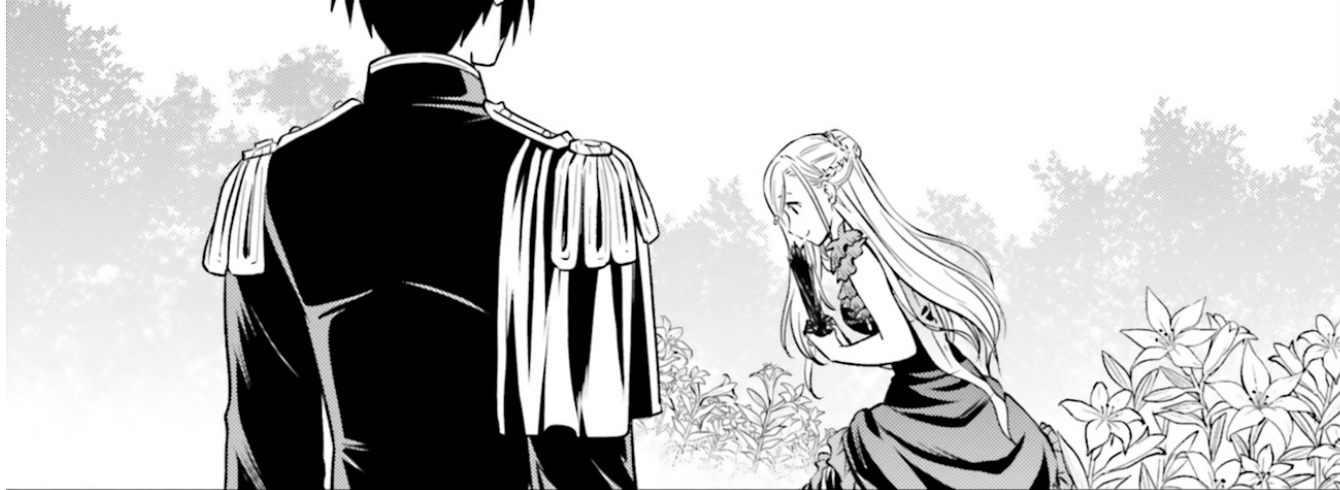
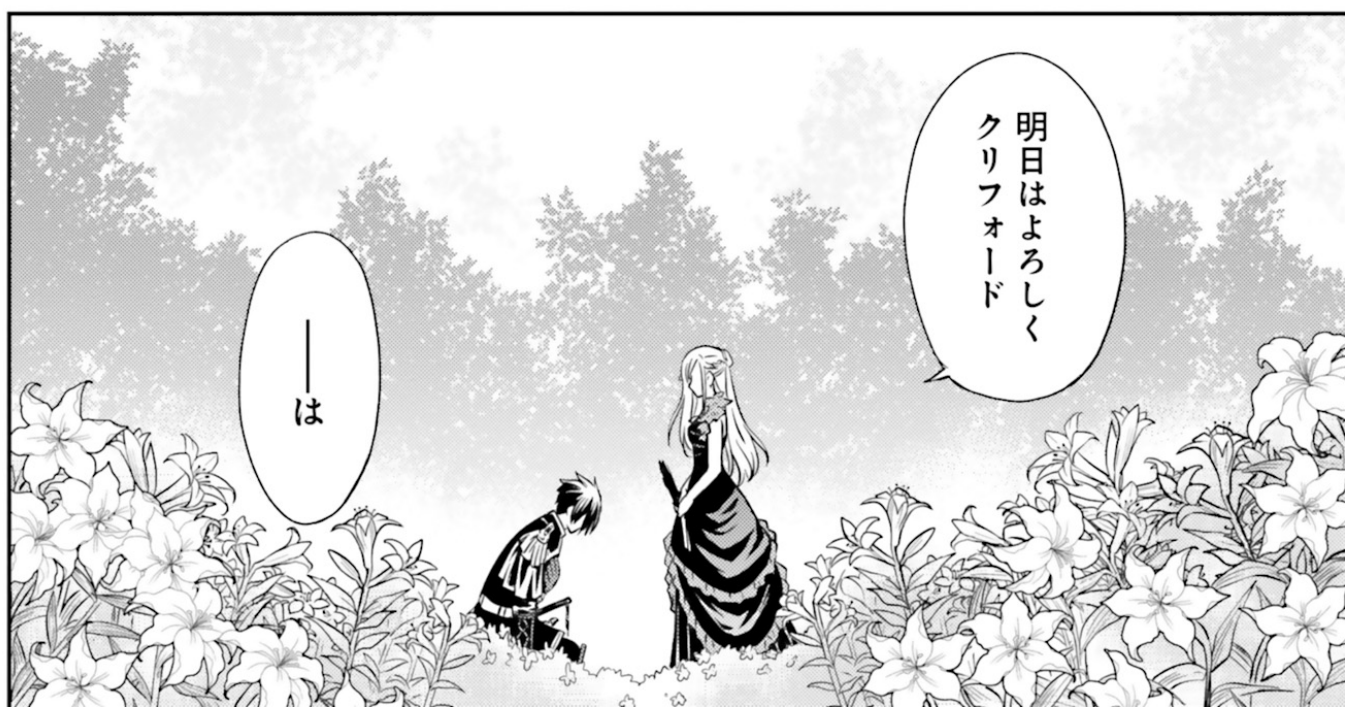
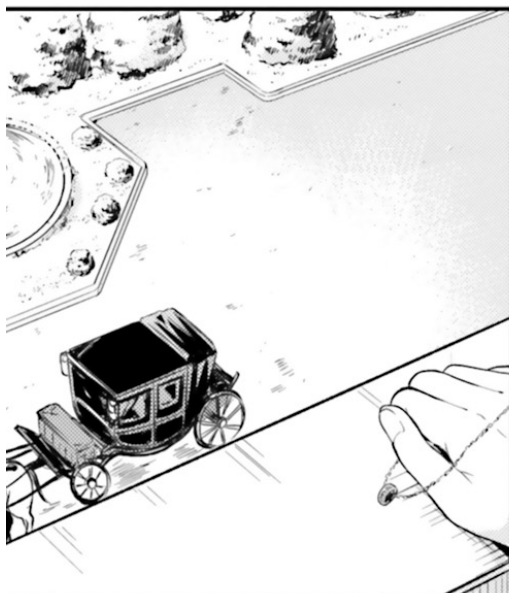
ばっ

姉上？

あ…あれ？
一瞬 静電気が
走ったと思ったん
だけど…
…アレクは
感じてない？
？

――…
なんでも
ないわ
気のせいかな

いって
らっしゃい
いってきます
姉上！

使用人用だから
王族貴族はあまり
近づかないけど
庭園の中で一番ここが
落ち着くな

庶民的で！

…やはりそのドレスは殿下以外に着こなせる者はいないでしょう
褒めすぎだわ
──ですが
かサ
明日 身に着けることはできないでしょうが
これで完璧かもしれません

地獄に咲く花（リーシュラン）ね… 『黒扇の姫』に相応しいと？

お気に召しませんか？

いいえ… わたくし宝石より

生花のほうが好きよ

ぐっ

私はご都合主義な解決担当の王女である 1

米田和佐

大好きなBL小説に転生した腐女子の王女・オクタヴィア。

この世界では、BL（♂×♂）ルールを保つために

"王女が政略結婚し、我が子を王に差し出す"

――ことになってるけど、そんなご都合主義なキャラは絶対イヤ！

「自分の運命は自分で決める！」

脇役王女が幸せを掴む、異世界転生ラブコメ

身内（あに）と恋人（おとこ）のラブシーンなんて見たくないってのー!!

cover illustration
Yoneda Kazusa
design
shindosha

平民出身くんの受難①

平民出身くんの受難②

私はご都合主義な解決担当の王女である 1

米田和佐

私はご都合主義な
解決担当の
王女である
1
米田和佐
Yoneda Kazusa
原作／まめちょろ
Mamecyoro
キャラクター原案／藤 未都也
Fuji Mitsuya
私はご都合主義な解決担当の王女である
1
原作／まめちょろ
キャラクター原案／藤 未都也